

平成26年 (2014年)

久米島町議会会議録

第5回臨時会 (7月24日)	1日間
第6回定例会 (9月9日~25日)	17日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成26年第5回久米島町議会臨時会会期日程	IV
平成26年第6回久米島町議会定例会会期日程	V
平成26年第6回定例会一般質問通告一覧表	VI

〈平成26年第5回久米島町議会臨時会（7月24日）〉

第1号（7月24日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議案第40号 銭田橋改修工事（上部工-1）請負契約について	3
日程第4 議案第41号 議決事項の一部変更について	5
日程第5 議案第42号 久米島町附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例	6
閉会	7

〈平成26年第6回久米島町議会定例会（9月9日）〉

第1号（9月9日）

出席議員	9
議事日程第1号	10
開会	11
日程第1 会議録署名議員の指名	11
日程第2 会期の決定	11
日程第3 議長諸般の報告	11
日程第4 一般質問	11
散会	73

〈平成26年第6回久米島町議会定例会（9月10日）〉

第2号（9月10日）

出席議員	75
議事日程第2号	76
開会	77

日程第 1	会議録署名議員の指名	77
日程第 2	議案第43号 平成26年度久米島町一般会計補正予算（第2号）について	77
日程第 3	議案第44号 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） について	90
日程第 4	議案第45号 平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） について	91
日程第 5	議案第46号 平成26年度久米島町水道事業会計補正予算（第1号）について	92
日程第 6	議案第47号 平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）に ついて	92
日程第 7	議案第48号 久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例について	93
日程第 8	議案第49号 議決内容の一部変更について	94
日程第 9	議案第50号 議決内容の一部変更について	95
日程第10	議案第51号 動産の買入について	97
日程第11	認定第1号 平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	101
日程第12	認定第2号 平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定 について	103
日程第13	認定第3号 平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認 定について	105
日程第14	認定第4号 平成25年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定について	106
日程第15	認定第5号 平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定について	107
日程第16	同意第7号 久米島町固定資産評価員の選任について	108
日程第17	報告第4号 平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報 告について	109
	散会	109

〈平成26年第6回久米島町議会定例会（9月25日）〉

第3号（9月25日）

出席議員	111	
議事日程第3号	112	
開会	113	
日程第 1	会議録署名議員の指名	113
日程第 2	認定第1号 平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	113

日程第3	認定第2号	平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定 について	113
日程第4	認定第3号	平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認 定について	113
日程第5	認定第4号	平成25年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定について	113
日程第6	認定第5号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定について	113
日程第7	議案第52号	久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する 条例について	117
日程第8	議案第53号	公の施設の廃止について	119
日程第9	議案第54号	銭田橋改修工事（上部工一2）請負契約について	122
日程第10	議案第55号	鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約について	123
日程第11		農業委員の推薦について	126
閉会			127

平成26年第3回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成26年7月24日（木）
 閉 会 平成26年7月24日（木） 会期1日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
7月24日	木	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第40号 議案第41号 議案第42号 ○閉会

平成26年第6回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成26年9月10日（火）
 閉 会 平成26年9月25日（水） 会期16日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
9月9日	火	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議長諸般の報告 ○ 議案審議 ○ 一般質問 ○ 散会
9月10日	水	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号 議案第52号 認定第1号 認定第2号 認定第3号 認定第4号 認定第5号 同意第7号 報告第4号 ○ 散会
		休 会		決算審査特別委員会
9月11日	木	休 会		決算審査特別委員会
9月12日	金	休 会		決算審査特別委員会
9月13日	土	休 会		
9月14日	日	休 会		
9月15日	月	休 会		
9月16日	火	休 会		
9月17日	水	休 会		
9月18日	木	休 会		
9月19日	金	休 会		
9月20日	土	休 会		
9月21日	日	休 会		
9月22日	月	休 会		
9月23日	火	休 会		
9月24日	水	休 会		
9月25日	木	本会議		<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第52号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 認定第1号 認定第2号 認定第3号 認定第4号 認定第5号 ○ 閉会

平成26年第6回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	仲村昌慧議員	1. 基地問題について	11p～23p
		2. 教育行政について	
		3. 幼稚園の統廃合について	
2	棚原哲也議員	1. 本町の浄水場の規模及び給水能力について	23p～27p
		2. 仲里漁港真泊地区から真謝漁港に通ずる海中道路の通行閉鎖状況について	
		3. 西奥武島西側海域及びイーフビーチ海域の海流の調査を早急にする必要があると思うが取り組み状況は	
3	島袋完英議員	1. 学生寮と学習センターの建設を	27p～37p
		2. 合併12年が経ちました。中間の検証はやらないのか。	
		3. 庁舎建設検討委員会の設置は	
4	喜久村等議員	1. 区長会の委託料について	37p～40p
		2. 町営住宅の外灯について	
5	玉城安雄議員	1. 町長所信表明について	40p～51p
6	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	51p～60p
		2. コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林の植栽について（河川等を含む）	
		3. 真謝の天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀について	
		4. 久米島一周線謝名堂から泊間の拡張工事について	
		5. 真泊部落の避難道路と駐車場等の計画について	
7	饒平名智弘議員	1. 那覇、久米島間の航空運賃について	60p～65p
		2. 鳥島射爆撃場の早期返還を	
8	崎村正明議員	1. 航空運賃の低減処置について	65p～73p

平成26年（2014年）

第5回久米島町議会臨時会

1日目

7月24日

平成26年第5回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年7月24日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	7月24日 午前10時4分	議長	喜久里 猛
	散会	7月24日 午前10時18分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席12名 欠席2名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	6番	安村 達明	7番	喜久村 等
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰	書記	
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長		
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長		
教育長		建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長		
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長		消防長		
福祉課長				
会計管理者				

平成26年 第5回久米島町議会臨時会

議事日程 〔第1号〕

平成26年7月24日（木）

午前10時00分 開 会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	3 p
第2		会期の決定	3 p
第3	議案第40号	銭田橋改修工事（上部工-1）請負契約について	3 p
第4	議案第41号	議決事項の一部変更について	5 p
第5	議案第42号	久米島町附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例	6 p
		閉会	7 p

(午前 10時04分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告します。2番幸地猛議員、9番崎村正明議員から欠席の届けがありました。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、6番安村達明議員、7番喜久村等議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日7月24日の1日間としたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、会期は本日1日間に決定しました。

日程第3 銭田橋改修工事(上部工-1)
請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第40号、銭田橋改修工事(上部工-1)請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

おはようございます。それでは、議案第40号、銭田橋改修工事(上部工-1)請負契約について。

銭田橋改修工事(上部工-1)について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

- | | |
|-----------|--------------------------------------------|
| 1. 契約の目的 | 銭田橋改修工事(上部工-1) |
| 2. 契約の方法 | 指名競争入札 |
| 3. 契約の金額 | 104,220,000円 |
| 4. 契約の相手方 | 沖縄県島尻郡久米島町字鳥島302
国洋建設株式会社
代表取締役 國吉洋一 |

平成26年7月24日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由

銭田橋改修工事(上部工-1)の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

なお、次ページに工事請負契約書の写し、そしてその後ろに上部工の側面図、平面図が添付してあります。

今回は6業者を指名して国洋建設株式会社さんが請負比率98.97%で落札しております。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明は終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私の方から2、3点質疑したいと思います。

この上部工の工事は、当初JVの発注だったと思うんですが、当初は1億7千万円ぐらいということで、この契約書を見れば単独の指名になっておりますが、そこまでに至った経緯ですね、話を聞きますとJVチャンピオンが辞退したとか、そういう話も聞かれています。この上部工-1という工事名ですが、その後の2もあるのか。その経緯をよろしくお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。この工事の発注においては、当初、いま議員から質問ありましたとおり、JVで島外の業者を6社指名して、そのうちの4社が辞退した経緯があります。残り2社についてもいろいろとその段階で進めることについては問題があるということで、その方も辞退したいということもあって、私は当初から地元でできるものは地元の業者を指名してやるという政策の方針もありましたので、そういうかたちでできないかということで、再度指名者委員会を開かせて、その中で議論させて今回のAランクの6社を指名して、それでやることに決定しております。

もちろん専門的なものについては下請けのかたちで島外の業者に発注することとなりますが、基本的には地元でできるのは地元でというかたちで今後も進めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

その指名のあり方なんですが、このように十分検討して、島の業者ができるものは島の業者というかたちで発注もよろしくお願ひしたいと思います。

それから、専門工事については、これからの入札になるわけですか。また、この残りの分については地元の6業者に発注ということになるわけですか、そこらへんお願ひしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

今回発注された部分はパネルブリッジ工法ということで鉄骨を、今まで生コンの流し込み工法でしたが、この方が耐震的に非常に強いと。久米島の銭田橋で3件目らしいです、県内では。今回の上部工はパネル工を工場製作のみの工事で、ほぼ鉄骨会社に下請けということで、下請け通知を全部そういうやり取りをやってやりますが、その会社がしかできない。これをある程度目処がついたら、いま積算してますけれど、9月頃にその取付工はうちの指名業者がやるということで実施を考えてます。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

建設業界も県の方にも地元発注、または行政の方も工事は地元発注ということで要請等もしておりますので、そこらへんよく行政の方も十分吟味していただいて、地元でできるようなかたちで工事の発注等をお願いしまして、私の質疑は終わりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第40号、銭田橋改修工事（上部工-1）請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第40号、銭田橋改修工事（上部工-1）請負契約については原案のとおり可決されました。

日程第4 議決事項の一部変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第41号、議決事項の一部変更について議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

（桃原秀雄副町長登壇）

○ 副町長 桃原秀雄

議案第41号、議決事項の一部変更について。

平成25年第7回久米島町議会臨時会で議案第59号をもって議決された「銭田橋改修工事

（H25-1）請負契約について」に係る議会内容の一部を下記のとおり変更したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

契約金額中「119,700,000円」を「130,577,400円」に変更する。

平成26年7月24日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由であります。銭田橋改修工事（H25-1）請負契約については、平成26年4月1日以降施行の消費税法及び地方税法等の一部の改正及び追加工事等による増額のため請負契約の一部を変更する必要がある、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。なお、次ページに工事改定契約書の写し、そしてその後ろに平面図がございますが、色塗りされているところが今回追加工事となります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

確認なんですが、下部工の追加ですね、脚台の。先ほども質疑したんですが、この影響によって、前の議会で平成27年度7月頃に銭田橋は開通予定と聞いていますが、前の議案も含めて、工期、開通の時期に影響はない

か伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

26年度事業で完了予定です。ですけれど、ちょっとだけ遅れるという見込みで、取付道路、両サイドの改修してから開通しようというスキルで今やっているんですけれど、ちょっとだけ遅れる可能性が出てきています。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

27年中には大丈夫でしょうか。

(「はい、大丈夫です」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第41号、議決事項の一部変更についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第41号、議決事項の一部変更については原案のとおり可決されました。

日程第5 久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第5、議案第42号、久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第42号、久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年7月24日提出

久米島町長 大田治雄

久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例。

久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を次のように改正する。

なお、大枠の中で左が改正前、右が改正後となります。改正後の大枠の中に、今回は高速船導入に関する検討委員会と、久米島町ロボットモビリティプロジェクト推進協議会の2項目の追加となります。

附則、この条例は交付の日から施行する。

提案理由であります。高速船導入の促進及び久米島町内における自動車による自動走行実証事業を図るため、地方自治法第138条4第3項の規定に基づく附属機関を設置する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第42号、久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第42号、久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時議会に付議されました事件は全て終了しました。

これで平成26年第5回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(午前 10時18分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号6番） 安村 達明

署名議員（議席番号7番） 喜久村 等

平成26年（2014年）

第6回久米島町議会定例会

1日目

9月9日

平成26年第6回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年9月9日（火曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月9日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	9月9日 午後4時20分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	8番	島袋 完英	9番	崎村 正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	上里 浩	
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長	保久村 学	
教育長	吉野 剛	建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	津波 実	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	真栄平 建正	
税務課長	上原 厚	消防長	上江洲 勝志	
福祉課長	田端 智			
会計管理者	儀間 由紀			

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

会議を開く前に報告します。本日は内山さんご夫妻、区長会から9名の方々から議会傍聴の申し入れがありましたので許可しました。内山さん、区長会の皆さんには傍聴規則を守っていただいて傍聴してくださるようお願いいたします。

ただいまから平成26年第6回久米島町議会定例会を開会します。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、8番島袋完英議員、9番崎村正明議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を行います。

お諮りします。本定例会の会期は本日9月9日から9月25日までの17日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。したがって、会期は本日9月9日から9月25日の17日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成26年6月13日から、私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成26年6月定例会以後の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略いたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第4、ただいまから一般質問を行います。一般質問の時間は会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。なお質問は質問席から一括質問、総括質問のあと一問一答方式で行います。それでは順次発言を許します。

12番仲村昌慧議員。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

おはようございます。12番仲村昌慧です。9月定例会において、3点質問いたします。まず基地問題についてであります。昨年12月27日に仲井真知事が辺野古埋め立てを承認しました。その直後の世論調査で74%の県民が辺野古移設に反対であります。また名護市長選挙においては名護市民は、辺野古移設反対を明確に示しました。にもかかわらず政府は、沖縄県民、名護市民の民意を無視し、辺野古への建設を強行しようとしています。知事が埋め立て承認したことについてと、辺野

古作業への町長の見解を伺います。

次に、教育行政について、教育長にお伺いします。7月10日に教育長に就任し、その後、議員全員協議会において就任の挨拶を頂きましたが、改めて教育行政についての教育長の抱負を伺います。

次に、幼稚園の統廃合についてですが、今年度から幼稚園の統廃合が検討委員会が設置されて検討されると聞いておりますが、幼稚園の統廃合について教育長の見解をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

おはようございます。それでは12番仲村昌慧議員の基地問題についての質問にお答えしたいと思います。私は町長としては沖縄21世紀ビジョンを基本とした沖縄振興に対するの現政権の政策を支持する意志であります。沖縄県民の80%近くが辺野古移設に反対している状況での建設作業に対しては強硬な面もあり、県民の思いに少なからず配慮すべきだと考えております。

後ほどについては、教育長より答弁お願いします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

(吉野剛教育長登壇)

○ 教育長 吉野剛

おはようございます。まずはじめに、私、今回、初の議会の答弁となります。いわゆる議会デビューでございます。そこで今の心境を少しだけ述べたいと思います。今、私はこ

こに登壇しまして、足ががくがく震えて心臓もばくばくしております。もしかしたら言葉も出ないこともあるかもしれませんが、そのときには議員の皆さんの思いやりのある温かい心で、優しく見守っていただけたらとお願い申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは早速、仲村昌慧議員のご質問、教育行政についての抱負についてお答えいたします。教育の目的はいつの時代も変わりなく、子供達に、知識・豊かな心・体力、いわゆる知・徳・体のバランスがとれた「生きる力」を育成していくことだと思っております。その中でも、私は特に、将来を力強く、そして逞しく生きていくための知識が最も必要な力だと考えます。ですから、子どもたちには是非とも、確かな学力を身につけさせたいと考えております。そのためにも、これまでの学校現場での経験を生かし、教師の授業力の向上、学校・家庭・地域の連携、そして、幼稚園教育の充実を図り、子供達の学力を高めていけるよう頑張ります。「島に誇りと夢を持った子どもたち」の育成、並びに久米島町の教育の充実に全力で取り組む所存です。

次に、幼稚園の統廃合に関する見解についてお答えいたします。幼稚園を充実させることは、小・中学校の児童生徒の学力向上に大きく繋がるものだと考えます。町内の幼稚園教育の現状として、各園の園児数におけるバランスが極端に悪く、仲里幼稚園と清水幼稚園が共に28名、他の4園については、その3分の1以下の園児数となっております。ところが園児数の多少に関わらず各園の配置教諭は、各園とも1名であり、保育内容によっては、各園の保育に差が出てくる可能性がござ

います。園児数の推計からも、今後も同じようなことが予想されることから、町内すべての園児が、保育面や安全面から十分な保育が受けられるような保育環境の整備・充実を図っていく必要があると考えます。その一つとして、幼稚園の統廃合を視野に入れながら、今後も検討をしてまいります。

(吉野剛教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

基地問題について再質問をします。私は基地問題について質問したんですが、町長は振興策についても答弁なさっておりますので、掘り下げて質問していきたいと思います。まず21世紀ビジョンを基本とした沖縄振興に対するの現政権の政策を支持するというふうに答えておりますが、現政権とは安部政権のことなのか、それとも仲井眞県政のことなのか、それとも双方なのか、それについてお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

お答えします。県政については勿論、仲井眞知事、そして国においては現総理大臣を自民党を中心とした政権についてを指示しているということであります。それを諸々、沖縄県選出の国会議員の先生方、これまでの久米島のいろんな事業に非常に力になっていただいたということも一つの配慮であります。全てが現政権が良いとは、私は思っておりません。いろんな問題もあります。ただ、島の振興、これからの発展を考えた場合に、どれがベターかというのを総合的に判断した元での

今回の答弁となります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

実は6月9日の新聞で町長は仲井眞知事の激励会に出席をしております。それで町民からのすごい反響があったと思います。私にも2件の電話がありました。町長は就任して1カ月、前町長は仲井眞知事の埋め立て承認に対して非常に残念であるというコメントをしているんですが、町長は現知事を支持するということなのかという、落胆したという電話がありました。今の答弁からすると現政権仲井眞県政を指示するということは、この新聞の見出しの12首長知事を激励、三選出馬なら支持するというのを、この記事の見出しのとおり理解してよろしいのかどうか伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほども述べましたが、辺野古の基地においては、私はそこの海を埋め立てしてやるということには非常に懸念を感じております。ただ、今ご承知のとおり普天間を1日でも早く閉鎖するにはどうすべきかというのが僕は焦点だと思っております。2カ年前にハワイの米軍基地を視察してきましたが、あの基地の造り方と、今、日本政府が進めている辺野古の基地の造り方が似たような感じであれば、私は今の普天間に比較するとかなり安心が担保される基地になるんじゃないかと思っております。ただ、きれいな海を埋め立てするというのに対しては、非常に懸念を生じております。

これは今の仲井眞知事についても非常に判断が苦渋の選択だったとっております。その裏には言わば沖縄のいろんな地域振興、本土との格差の是正を進めていくにはどうすべきかというのが一つの悩んだ一因になっておったかと思っております。

これからも我々、この戦後70年、平和国家として進めた日本憲法の下で、これまで維持されてきました。ただ、今現在、中国そして北朝鮮、韓国とアジアの諸国においてもいろんな問題が発生しつつあります。尖閣の問題にしてもいろんなかたちで、我々も今のままの平和の維持が本当にこれからも続くかという心配もあります。それをしっかりしたお互いの教育の元で平和憲法を維持しながら、ある程度の防衛力というのは僕は今でいう、お互いの消防団においてもそうです。警察においてもそうです。国においては当然、今の平和を目的とする自衛隊というのが、今後も継続して取り組む必要はあると思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

僕は、政治家は理念と信念を持って自分の意見を堂々と主張すべきかと思うんですよ。今、僕が質問したのは、この記事の見出しのとおり理解してよろしいのかどうかということなんですね、それについてお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

今現在この新聞の数字でも示しているとおおり41市町村の内の29の首長が仲井眞知事を支持しております。数字的にも公表されてお

ります。これは辺野古の問題だけを考えた場合には、それはそのとおりはいきません。さっき申し上げたとおり、諸々の、これからの沖縄、久米島の振興のためにどうすべきかということで、我々は21世紀ビジョンを現知事を支持するというので当時の集まりに参加しております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

じゃあ、支持するということでもありますね。

○ 町長 大田治雄

はい。

○ 12番 仲村昌慧議員

はい、それで6月9日に、町長の方にも町民からもいろんな反響の電話があったと思いますが、それについてちょっとお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

これは誰が首長になっても賛成する方、反対する方は出てきます。今回、私が就任したときもお祝いのお手紙を頂きました。それが先ほど仲村議員からありましたとおおり、この記事が出てから、当初の自分が出した手紙は破棄してくれということで、また手紙が来ておりました。私は先ほども申し上げたとおり、トータル的ないろんなバランスを考慮して島の振興発展のために、今後も考えを主張していくつもりでありますので、いろんなご意見もそれぞれの角度から今後もあると思いません。それはそれなりに、私はまたそれぞれの意見も繁栄しながら総合的なバランスで行政判断をして参りたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

いろいろな賛成、反対がある。その中で町長このように自分の考えを示したということはそれなりに町民は、それで判断していくと思います。知事が、辺野古埋め立てを承認したことに対しての知事に対する今、批判が74%で辺野古反対もう80%に上がっています。安部政権は、今、全国的には53%という高い支持率を得ていますが、沖縄県においては、この移設強硬をしていることによって、県民が反発をし、今、81%指示をしないという世論調査が出ています。

町長は、今の答弁の中で80%近くが辺野古埋め立てに反対している状況で建設作業に対して強硬な面もあり、県民の思いに少なからずとも配慮をすべきだと、この配慮すべきであるということ、中止すべきであるということなのか、それとも配慮して進めるべきだということなのか、町長、伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほども申し上げましたが、今の普天間の閉鎖と絡めて、国対国の提供施設として嘉手納それぞれの米軍基地は協定施設として提供していると思うんですが、少なからず国内のアジアの防衛を考えた場合に、地理的条件として一番沖縄の今の場所が良いということでの米軍アメリカ本土においても、そういう見方だと思うんですが、先ほど申し上げたとおり、今の中国、そして北朝鮮等の国のいろんな情勢が不安定している中で、本当に普天間を閉鎖して、その残り部分だけで国の防衛ができるかと言えば、私は非常に厳しいかなと

思います。とにかく基地を県外に分散させた場合の軍の指令機能、これが本当に上手くいくかどうかということ等のアメリカとしてはそういう問題もあるかと思うんですが、ただ先ほど申し上げたように、今の普天間よりは辺野古に造った場合には安全面、いろんな機能からして、僕は少しは県全体に対する安全度の度合いは薄くなるかと思っております。できたら僕は、県議の皆さんにも言っていますが、我々が視察してきたハワイの米軍基地をぜひ一度、県議の皆さんもご覧になって、その安全性を担保できれば最小限の基地のあり方としては、僕は今の普天間に比較すると辺野古の方が条件としては良いかなという、ただそれに全て賛成ということではありません。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

次に、町長、僕は最初に知事が埋め立て承認をしたことについての質問しましたよね。それについてはまだ答えていないんですよ。昨年12月27日に埋め立て承認したことに対して、県議会は公約違反に抗議し、辞任を求める決議を可決しています。私も公約違反だと考えております。それに対して町長は埋め立て承認したことに対する見解を、私は質問したんですけど、それに対して答えていませんので答えていただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

率直に言いますと、これまでの北部振興策のいろんな予算の投入、議員の皆さまもご存じのとおり、いろんなかたちでハード部門に

おいても北部振興策の中で道路の整備、そして学校施設、公共施設の整備、伊是名、伊平屋の離島にまで北部振興策の予算でいろんな箱物等も造られています。それはいろんなかたちで表には出ていないとは思いますが、これも基地移転の一つの条件として、予算で、国はこれまで示してきたかと思っておりません。基地に対する思いはいろんな捉え方がありますが、さっき申し上げたとおり普天間を1日でも早く閉鎖するには、変わりの基地が必要であるということでもありますので、これは国外、県外が一番ベターと思うんですが、今いろんな総合的、国対国の判断の元で今の辺野古というのは決定されたと思っておりませんので、これを私はもう現時点での進捗状況からすると非常に阻止するのは厳しい状況にあるかと思っています。さっきも申し上げたとおり全てが賛成するということではありません。とにかく知事に対しては苦渋の選択の元で、それは判断したものと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

じゃあ、知事の選択はやむを得ない選択だとそれを認めるということだと思えます。

町長はこれまで新聞のアンケートによる町長の考え方が変わってきていますね、町長ご存じかなと思うんですが、実は6月9日のタイムス、普天間飛行場の辺野古移設について見解はどちらとも言えないと答えています。7月12日の琉球新報、辺野古移設先についてどちらかと言えば支持すると、そのときは6市町村の市町村長が支持するということがアンケートに回答しております。それから8月20日タイムス、辺野古移設について、そして

海上作業については、町長は反対というふうに答えています。いったい町長は、賛成なのかはっきりしていないところがあるんですけど、これ今までの変化というのは、どのような変化があるのか、町長の考えをお聞きしたいなと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

今、仲村議員は新聞のそれぞれの記事を読んでいます、マスコミもかなり我々の思いとは、すれ違ったような記事の書き方をしている場合があります。全てがそれがベターとは、私も思っておりません。いろんなかたちでぱっとファックスで来て返事を回答を出さないというようなかたちで今回も何回か来ておりますが、それもその捉え方によっては、私の全然考えが違ってしまうようなことを書かれているようなこともあります。基本的にはさっき申し上げたとおり辺野古については、あの海を埋め立てすることについては、私は当初から反対ということではありました。ただ先ほど言ったとおり、もろもろの事情、それぞれの今後の展開を考えた場合には一つの選択としては、もう知事は苦渋の選択として、それは非常に厳しい判断をしたかなという思いがあります。今後についても、さっき申し上げたとおり、これからの我々の島の今後の子どもの安全安心を保つためにもいろんなかたちで、県をはじめ国と一緒に連携をしているような取り組みについてはやっていく必要があるかなと思って、それぞれの今後のアンケート調査とかいろいろあると思うんですが、かなりマスコミについては、それが変わって書かれる場合もありますので、それが全てベ

ターという解釈については、私はどうかかなと
思っていますので、よそしくお願ひしたいと
思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

じゃあ、辺野古埋め立ては支持するという
ことですね。辺野古移設は支持するといふこ
と。どうですか、町長。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

はい、先ほども申し上げたとおり基本的
には、あの海を埋め立てするものについては反
対ということで理解してください。ただ普天
間を1日でも早く閉鎖するためには国対国の
約束になりますので、県外が無理なのであれ
ば、県内のあの地に工法はいろんなかたちで
検討されると思うんですが、現時点での振興
策を考えた場合には、これもうやむを得ない
ような事情になっていると、私は判断してお
ります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

振興策のためには辺野古反対なんだけれど
もやむを得ない。しかし沖縄県民は今振興策
と基地問題を何が大事かという、もう約80
%の県民が基地問題が大事だというふうにと
えています。昨年1月に沖縄県の41市町村
の市町村長、そして議会議長、そして県議会
の各会派の代表が署名をした建白書、これコ
ピーして頂いてきたんですけれども、この建
白書、実はこれ2枚なんです。それ以外は
全て建白書の署名サインです。当然うちの議

長も町長も、その署名の中に入っています。
この建白書が東京行動によって安部総理に提
出されました。この建白書については自民党
本部の切り崩しによって、一部の議員が方針
転換をしましたが、町長は、この建白書の意
義について、どのようにお考えなのかお伺い
します。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

あのときの建白書、その県内の事情と大き
な思いとしては非常にそれは効果のあるもの
だと認識をしております。それが年月が経つ
につれて、いろいろ状況も変わってきました
が、当時の進行していた今の幹事長ですか。
照屋さん、あの方が当時東京で進行係として、
旗を振って先頭を切っておりました。私もそ
の集会に参加しましたが、あのときの県議の
皆さんの考え方が、ここ数日間で考え方が大
分変化してきたというのも事実であります。
これはさっき申し上げたとおり、諸々のいろ
んな国との調整の段階で考え方も変わってき
ているかと思うんですが、我々も全てそれを
支持するわけではありませんが、状況の変化
というのは確実にあるかと思っております。
そして今日の朝刊の新聞、私、今日一便で帰
ってきましたので見ましたが、名護市の議会
議員の皆さんの考え方も、2010年と、この14
年にはポイントとしては、反対が当時60.9%
だったのが今回は58.1%に変わっていると、
名護市の議会の皆さんも、この4年間では、
若干の数字の違いではありますが動きがで
ています。確かに地元が一番大変だと思うん
ですが、総合的に判断した場合に、どうなの
かというのが、今後ももう少し時間をかけて判

断していく必要があるかと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

じゃあ、今の質問に対して建白書の意義は少なからずとも失われてきているというふうを考えておられるのかですね。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

建白書の意義については、これは非常に有効な要請になったかと思っております。それをもって国はいろんなかたちで考え方も、私はいくらか沖縄に対する思いが変わってきているかと思っております。それも含めて非常に国としても苦渋の選択だと思っておりますが、今の普天間をどうするかというのが、僕は一番の重要なポイントだと認識しております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

前平良町長は建白書の異議について、署名した自身の考えも変わっていない。建白書の意義も失われていないと回答しております。町長も、今、自分の考えをはっきり示しましたので、私も実は町長が6月8日に知事の激励会に参加した前の日に、私は自治会館で「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」の議員会議に参加してきました。県内各市町村そして県議会の議員130名が参加しておりました。それから7月27日に宜野湾市で行われました結成大会にも参加してきました。その結成大会においては、いろんな方々からの意見が出されました。特に嘉手納前町

長の宮城前町長のコメントが非常に印象に残っています。建白書に対して思い起こしてまた一緒にやろうよ。原点に立ち返ろうではないか、基本的には沖縄は弱い立場、弱い者が仲間割れしては話にはならない。権力者は分断工作をやる戦争もそうだし、植民地支配もそう、今、沖縄が保守・革新で争う時期ではないと、一致団結して建白書の実現を目指そうではないかと保守・革新で一番喜ぶのは日本政府とアメリカだと言っています。

今、この基地問題、経済振興と、どちらを優先するかということではありますが、沖縄戦後69年間、他府県がいやがる米軍基地を受け入れてきました。復帰後41年間で米軍関係の犯罪が5,833件、それから航空機事故594件、原野火災が562件発生し、県民は長い間、基地被害に苦しめられてきました。にもかかわらず頭ごなしに基地建設作業を強行的に進めている今の政府、そして74%が集中する沖縄で基地を県内に移設する現状は本当にもう差別、沖縄切り捨てだとしかいいようがありません。

戦争では沖縄は捨て石にされました。有事の際には沖縄が標的になる率が非常に高いです。もうこれ以上の沖縄の犠牲は許されません。島ぐるみ会議は、そのためにもオール沖縄一致してやっていこうと今取り組みをしています。久米島でも辺野古に行って抗議の声を上げていきたいという声があります。私達も一緒になって、また辺野古に行って、この抗議、そして応援していきたいという考えを持っています。いろんな考えがありますが、今回の選挙の最大の焦点は、知事が埋め立ての承認した、この民意が問われる大事な選挙となりますが、基地問題については、このへ

んで質問を終わりたいと思います。

次に、教育行政についてであります。教育長は久米島町の教育の充実に全力で取り組むという教育長の姿勢に期待をすると共に、私達も応援していきたいと思います。教育長が2年前に、清水小学校に赴任したそのとき、改善センターで行われた新任歓迎会の中でのあいさつ非常に印象に残っています。

清水小学校を日本一の学校にする。非常に教育に対する熱意が感じられました。この2カ年間で清水小学校、聞く態度日本一、きれいな学校日本一、あいさつ日本一を目標にして取り組んでこられてきました。これまでの取り組んできた成果をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

3年前のあいさつ覚えていただきましてありがとうございます。終始一貫、3つの日本一ということで、子どもたちにもまた保護者にも地域の皆さんにも話してまいりました。それはあいさつ、そして人の話を聞く、聞く態度、そしてきれいな学校、この3つをぜひ日本一にしよう、それは本気でやります。本気でやっていこうということを子どもたちにも話しております。機会あるごとに、その話をしております。

そこでまず1つ目のあいさつなんですが、あいさつに関しましては、私、毎日雨の日も風の日も校門前に立って子どもたちを向かえております。最初の頃は半分ぐらいの子どもたちが自分たちであいさつをする。こちらからすれば勿論あいさつを返す子もいれば、そのまま素通りしていく子もいる。といったような状況ではございました。ところがそれを

毎日続けているうちに、今度は自分たちの方からあいさつをしてくる子どもたちが増えてまいりました。

今では6月までなんですが、まず100%に近い子どもたちが大きな声であいさつをいたしております。そういう意味では、子どもたちはあいさつに関しては、非常に意識が高くなったのではないかなというふうに思っております。ただしかし、朝のあいさつ、帰りのあいさつ、先生のあいさつということはやりますが、実際地域に帰って、あるいは家族に戻ってしっかりやれているかと言いますと、そこについては学校評議員のご意見または保護者の意見からも、まだまだそこは不十分じゃないかなというふうに伺っておりますが、しかし子どもたちは非常に元気よくあいさつをするようになっております。日本一までとはいかなくても近づいているのではないかなと思っております。

2つ目の聞く態度なんですが、聞く態度に関しましては、もうこれは学習の基本で学習の前提となるもので、これがやはりないと子どもたちは学校の授業もまだ内容もよく理解できないだろうということはずっと持っております。3年間、体育の県の指定研究を受けておりました。そのときにもまず1つ目は授業の中で先生の話、友だち同士の話をもっとしっかりと聞く、話をする人をしっかりと体を向けて静かに聞くということを3年間やってきていましたので、これについては非常に良くなっております。授業の中においても全体集会の中でも子どもたちは、私が話をするときはシーンとして誰1人として話をしないで聞くことができます。そういう意味でも子どもたちは聞く態度が、かなり付いてきたの

ではないかなと思っております。その結果が授業の中で先生の話と友だちの話を聞くことによって理解ができていっているのではないかなというふうに思っております。結果として諸テストにおきましても、毎年上がっているのは事実でございます。

3つ目ですが、学校をきれいにするといいところでこれについては今年3年目になって今度はこれを一生懸命やっというねということでこれを話をしているわけなんです、やはり自分たちの使っている学校の美化そして清掃また片付けそういったことについての意識はことある毎に話した結果、これも十分とは実は言えませんが、大分意識として子どもたちは学校をきれいにしています。

朝の活動、縦割り班でやっていますが、あんなにたくさんある木の葉が落ちるのですが、朝の自主活動終わった後は、実は正門から職員室のその通りまで、ほとんどいっていいほど枯れ葉が落ちておりません。そういうのも成果なのかなというふうに思っております。しかしまだまだこれは本当に序の口でして日本一に近づいているよというところで、もっともっと頑張っていけたらというふうに思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

3つの目標を掲げて、この目標に進んでいる非常に素晴らしいことだと思います。まずあいさつについてであります、地域、家庭においては、まだまだあいさつができないような状況、これは僕は大人に責任があると思っております。大人の方から積極的に子どもにあいさつをしていく必要があると思ってお

ります。それから聞く態度日本一、久米島の子どもたち非常に聞く態度が良いと、本島から来る方々が非常にびっくりするぐらい褒めています。非常に素晴らしいことだと思っております。

それからきれいな学校日本一、きれいな学校にするということは久米島をきれいにすることによって繋がっていきますので、そういった教育をぜひこれからもしていただきたいと思っております。

次に伺います。将来を力強くたくましく生きていくために確かな学力を身に付けさせたいと述べております。久米島の子どもたちの学力状況についてちょっと伺いますが、町の学力向上推進計画の中で、平成26年全国学力学習状況調査において町平均生徒の全国との差を小学校、中学校共に6ポイント以内にすることを掲げております。最近発表された全国学力学習テストの結果が沖縄は小学校で24位、中学校は最下位という結果が出ました。このことについて学校名を公表する自治体も出ておりますが、別に僕はそれはする必要はないと思っております。久米島町は全国平均そして県平均と比較してどのような状況にあるのか。細かい数字がなければ大まかでもいいし、答えられる範囲で答えていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

質問にお答えいたします。平成26年度、今年度全国学力学習調査は4月22日に行われました。6年生と中学3年生を対象に実施されその結果の報告が8月22日、県の方から届いております。その結果、本町の子どもたちで

すが、小学生は国語A問題の全国差マイナス1.9ポイント、算数A問題の全国差マイナス1ポイント、国語B問題の全国差マイナス5.4ポイント、算数B問題の全国差マイナス6.4ポイントとなっております。いわゆる基礎的な問題を図るA問題におきましては、ほぼ全国平均に近いレベルになっていると考えております。しかし、いわゆる活用力、説明する力などを見るB問題におきましては、まだまだ全国との差は大きい状況です。

次に、中学生におきましては国語A問題の全国差はマイナス5.2ポイント、数学A問題の全国差はマイナス8.3ポイント、国語B問題の全国差がマイナス4.0ポイント、数学B問題の全国差はマイナス8.9ポイントとなっております。中学校はかなりまだ全国との差は開いておりますが、過去5カ年間の中では全国との差が今回一番縮まった結果となっております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今教育長からの答弁の中で、かなりこれまでよりは学力向上されたというふうになっていると思います。私も学校評議員をして、よく学校の成績状況報告を受けます。約1年半前ぐらいでしたか、沖縄県那覇地区平均よりかなり低くて、県的にも下位にありました。しかし昨年暮れあたりから非常に良くなってきております。これも僕はこの要因として久米島高校との連携もあるんじゃないかと思っています。今、久米島高校の魅力化に向けて、これまで行政が消極的だったのが非常に積極的に行政が支援していただいて、行政そして地域、学校と一緒に取り組んでいる。

これも一つの学力向上に繋がっていると思っています。これからも教育長、学力向上には教育長の一番の目標に上げていますので、ぜひ取り組んでいただきたいなと思っています。

それでひとつ提案します。実は3月になると新年度に向けて施政方針が町長の方から施政方針が行われます。教育行政についても、これまで町長がいままでやっているんですね。これ沖縄県の慣例かもしれませんが、実は本土の方で教育関係については、教育長が施政方針を所信表明を述べております。今後、教育長の主体的な考え方で施政方針は教育長が行った方がいいんじゃないかと思いますが、いかがお考えでしょうか。町長、教育長双方に意見をお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

基本的には施政方針についても、それぞれの担当課に下ろして、その課をとおして上げてくるのがまとまって、私、町長の施政方針として上がってきます。細かいものについては全て担当課、教育課の方で調整してしております。今後についても他府県また他の市町村がどういう流れでやっているのか調査しながら改善すべきものは改善していきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

さまざまなテストがございます。2月までには県到達度調査というのがありますが、そういう基礎調査の結果を踏まえて、それを分析し、改善策なども年内にはできると思いま

す。但し、これをどのような形で学校、また町民の方にお知らせするかについては、また今後、研究をして考えていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

教育長へ、施政方針は各課に下ろすんですが、やっぱり教育長の生の声で施政方針を述べた方がもっと重みがあるような気がしますので、教育長は、この3つの目標を掲げて非常に取り組んできました。毎年、何か1つでもいいですから目標を掲げて取り組んでいただけたらなど、それが教育長の生の声で聞きたいなということでもありますので、ぜひそういう方向で検討していただきたいと思いません。

次に、幼稚園の統廃合について再質問をします。町内の幼稚園の現状として各園の園児数におけるバランスが極度に悪いと園児数の推計によると今後も同じようなことが予想されるということです。昨年6月の議会答弁で今後の園児数の推移として26年度が84名、27年度が91名、28年度が93名、29年度が80名、30年度が84名、そして25年度久米島で出生した数が71名です。この園児数だけからすると今の6園は1園でも十分だと思いますが、久米島の地理的条件からすると、そうはいかないと思います。今の6園を何園にした方が望ましいのか、教育長の見解をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

お答えします。今年度、統廃合に関して、幼稚園統廃合検討委員会というのを立ち上げ

ようと考えております。その中でどんな方法が良いのか、あるいは何園にするのか、あるいは時期をどうするのかといったことに関してはしっかりと議論を重ねていきたいと思っておりますので、その議論の中身によって、それは決定していければというふうに思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

当然、そう回答すると予想していました。しかし、前回の反省をこれは踏まえて、僕は今こういう質問をしているんです。検討委員会任せになってしまったら、なかなか前に進まない場合がございます。行政主導になるから検討委員会の意見を尊重する、これは当たり前だと思っておりますが、しかし意見としては述べてもいいと思います。教育長自身の主体的な今の考えですね。私はさっき言いました。生徒数からすると1園、しかし久米島の地理的条件からすると2園は必要でしょうと、私の考えです。教育長の今の正直な考えとしては何園なのか、そして時期的にはいつ頃したいのか。伺います。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

お答えいたします。この推計によりますと、30年までは本当に今の変わらないような状況でなっていますが、31年からは少しずつ減少していくのかなというふうには思っております。そこで今、何園にするかということに関しましては、現状が後5、6年は続くような状況ではあるのであれば、それは2園の方がより良いのかなというふうに考えておりま

す。その時期に関しましては、やはり検討委員会のいろんな意見は参考にしていかないと決められないのかなというふうに思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

行政改革プランの中で、幼稚園の統廃合は28年度から実施する計画をしています。それで小学校29年度からの計画をしています。ぜひその計画に沿って進めていただきたいなとあります。どうしてかというとは実は中学校の統廃合、今年4月から球美中学校が誕生しましたが、仲里中学校と久米島中学校の統廃合が持ち上がったのが平成20年の後半だったと思います。5年以上かかっているんですね。議会からも何回も指摘されて5年もかかりました。そのときに僕はあまり時間かけすぎるのは、予算の無駄遣いだよとすごく言いました。前回の反省を踏まえて、これまでもう2回、統廃合の経験がありますので、その経験を踏まえて仕事をスピーディーに進めて欲しいなと思います。この計画どおり実施時期は結論は早く出して、やるのは遅れてもいんですよ。その結論だけは早く出してほしいなというふうにして、前回の反省を踏まえて進めていただきたいということをお願いしたいと思います。

町長は6つの政策を提案して、その2番目に教育の再生を掲げています。その中で8年ぶりに現場からの教育長として起用しておるのは町長の公約を実現するために非常に期待していると思います。私たちも非常に期待していますので、ぜひ頑張ってくださいということをお願いして、私の一般質問を終わります。

ます。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで仲村昌慧議員の一般質問を終わります。

次に1番棚原哲也議員の発言を許します。

(棚原哲也議員登壇)

○ 1番 棚原哲也議員

1番棚原哲也でございます。3点ほど質問いたします。まず1点目に本町の浄水場の規模及び給水能力についてでございます。具志川、仲里両浄水場の1日の浄水及び給水量を伺いたい。2番目、両浄水場の浄水方式は同一の浄水処理方式か伺いたい。

2点目、仲里漁港、真泊地区から真謝漁港に通ずる海中道路の通行閉鎖状況について。同道路は真泊側から真謝漁港及び海洋深層水研究所、また隣接する商業地域に通ずる重要な道路であり、早期修復改修が必要だと思いがその計画を伺いたい。

3点目、西奥武島西側海域及びイーフビーチ海域の海流の調査を早急にする必要があると思うが取り組み状況をお伺いしたい。奥武島西側の砂洲の移動による船の航路（水路）が埋まり、漁業活動に大きな支障をきたしている。7月29日付けで畳石も国天然記念物に指定されているが、畳石周辺の砂洲の移動も激しい状態であり、また日本の渚百選のイーフビーチの砂も移動が激しく遊泳場所として年々悪化している。調査をし原因をつきとめ、保護及び改善対策を早急にとる必要があると思うが取り組み方をお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

1 番棚原哲也議員の3つの質問についてお答えします。まず1つ目、本町の各浄水場の規模及び給水能力についてであります。本町の浄水場においては各浄水場の日平均浄水量、給水量は具志川浄水場が、それぞれ日当たり1,344トン、有効水量が1,247トン、山城浄水場がそれぞれ日当たり1,484トン、有効水量が1,378トンであります。

浄水場の浄水方式については具志川浄水場が緩速ろ過、つまり砂を通してのろ過になります。山城浄水場については急速ろ過これは薬品を使って凝集沈殿する仕組みのろ過装置であります。

続きまして、2点目の仲里漁港、真泊地区から真謝地区に通ずる海中道路の通行閉鎖状況についての質問にお答えします。

現在、県の方で整備計画を進めております。平成27年度新規事業として採択される予定であると回答いただいております。計画としましては、平成27年度に測量設計、その後、工事を着手ということであります。この件に関しては直に私、農林土木の所長と掛け合って担当含めてその調整を終えております。

続きまして3点目、西奥武島、西側海域及びイーフビーチ海域の海流の調査を早急にする必要があると思うがどう取り組み状況はとご質問ですが、これに関しても県管轄の仲里漁港地域なので、農林水産部と協議した結果、砂洲が移動していると報告は受けているので、県としても海流調査を実施したいとのことでした。調査については1ないし3年かかる見込みということあります。なお予算についても数億の予算がかかるということ聞いております。これについても県の統括

官の方に直に行って交渉しての解答となっております。以上であります。よろしくお願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの答弁内容についての再質問を行います。まず1点目、具志川、山城両浄水場の1日の上水及び給水量を出してもらいましたが、今、定例会の同僚議員の質問に対し、流量を計測する計測設備は不具合が生じているとの答弁があります。出された数量はどのように計測したのかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

お答えします。毎月の水道料金が納付されるんですが、それに基づいての基になる数字は各家庭の使用水量それが基になります。これは久米島町全体を集計した数字が有効水量と言いまして、料金と反映される水量となります。それを割った数字が今回の数量ということで計算されております。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、山城浄水場の供用開始から26年具志川浄水場の供用開始から20年が経過しており経年劣化による施設の老朽化による上水及び供給の能力の低下はきたしていないか、お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

ありましたように20年、26年の経過しております。それに伴っての老朽化においては機器等での現在老朽化は、さほど見られません。管類での老朽化が著しく進んでいるんじゃないかと思われまます。管の破裂等が多々生じているという状況であります。能力については現在のところ給水に問題はないというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま管類、送水管ですか、管類では老朽化があるということで答弁ございました。近年、随所で給水施設からの水漏れ事故等があり、近くに枝栓の制水栓があるにも関わらず、制水栓が老朽化のため使用できずに復旧工事の期間、元栓で止水をし広範囲にわたり断水状態にしているのが多々見受けられます。枝栓の制水栓の総点検の必要があると思うがどう考えるかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

枝栓での制水ができない箇所についても生じております。そのために広範囲にわたって断水をしなればいけないという状況が現実であります。そのような部分も含めて、また今後、全体計画を見直ししていかなければいけないんじゃないのかなというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

一例上げますと、去った8月9日及び10日の両日、町の防災無線で山城から真謝地区の

町民に対し水道水の供給に上水能力が対応できないため節水協力の依頼がなされました。水道は電気、ガス共に町民のもっとも重要なライフラインであり、また儀間ダムの供用により水量は十分に確保されているにもかかわらず需要に対して浄化及び供給が対応できなければ施設の増改築を含め上水道施設の機能強化を図る必要があると思うが、今後の取り組み方針をお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

平成27年度、次年度に整備計画、その見直しの計画を発注する予定であります。その予算とまた財政あたりと検討していくんですが、今計画としましては基本計画、それを策定していきたいということで課内では検討しております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、浄水場の浄水処理方式についてでございます。具志川浄水場が緩速ろ過、山城浄水場が急速ろ過と違いがあるが、水質を調査比較したことはあるかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

水質につきましては、上水道の供給基準に全て達しております。緩速ろ過、現場の方々の話によりますと、具志川の浄水場、緩速ろ過につきましては場合によっては色の濁りが取れない場合があると、山城については臭いが取れない場合があると、そういった一長一短あるということでもあります。水質基準につ

いては全て満たしております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

町民の中からは具志川浄水場で処理供給されている水道水が良質の水道水だと聞こえております。同じ水道料金を徴収している以上、良質の水道水を町民全てに供給する義務が水道事業を営む行政にはあると思うがどう考えるかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

緩速ろ過と急速ろ過につきましては、一長一短があると思います。現在、急速ろ過につきましては全国の中でも70%余りが急速ろ過施設となっております。緩速ろ過につきましては一桁台です5%台ということで統計がだされております。そこらへんも踏まえて、またどういった浄化処理施設が必要か、今後検討していきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま、ろ過方式についての説明がございましたが、町執行部の方として町民から具志川浄水場での処理された水の方が良質で良い水だと、そういう声は聞いたことはないでしょうか。お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課 真栄平建正

はい、確かにあります。特に臭いについては具志川浄水場からの給水については臭いが

ないということで山城浄水場については臭いがあるということでの苦情を受けております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

両浄水場の利点欠点、今、課長の方から述べてもらいましたが、町民の声を聞いて先ほどから提案しております水漏れの時の対策、枝線の制水栓等の点検を十二分に行って町民に負担のかからないようにやっていただきたいと思っております。この件は以上で終わります。

次に、仲里漁港、真泊地区から真謝漁港に通じる海中道路の通行閉鎖状況についてでございます。この道路も真泊側それから真謝漁港側に橋の方式があると思うんですが、これが造られて約30年ぐらいたと思っておりますが、これぐらいの短期間でも橋が老朽化して通行ができないということで1年ぐらい前から通行止めの状態になっております。美咲地区については海洋深層水関連の営業所もたくさん誘致されております。そのために早期に道路の開通をしてもらうように要請していただきたいと思っております。

それで1点お伺いします。仲里漁港、真泊地区から真謝の漁港に通ずる海中道路について27年度以降整備する方向で整備計画を進めているとの答弁であります。この一帯の道路については町道ではなくて漁港関連道路として県の管轄になるのか、お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

この道路は仲里漁港の施設としての道路です。県の管轄です。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

はい、ありがとうございます。

次に、3 点目の西奥武島、西側海域及びイーフビーチ海域の海流の調査を早急にする必要があるとの質問に対する答弁がございました。この件につきましては、県としても調査実施の方針であると、調査には1年から3年を要すると、3 番目に億単位の費用を要する関係課で早期実現に向け調整するとの解答があるとのことですが、24年9月定例会、25年の6月定例会と同じ問題を取り上げてまいりました。3年目でようやく前向きな解答が得られております。この奥武島の周辺海域につきましては、壘石が今年7月29日付けで国指定の天然記念物に指定されたこともあり、調査費につきましては壘石及び周辺海域の保全保護の面から国費での予算付けが可能だと思われまます。調査に1年ないし3年を要することから、次年度27年度の予算確保に向けて、町としても県と連携し、長期に取り組む必要があると思ひます。町としての今後の取り組み方針をお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質疑にお答えします。先ほども申し上げましたが、先だって県の農林水産部の統括官、そして漁港課長も一緒にミーティングしてきました。この状況についてしっかり彼らも認識しておりますので、来年度以降の予算で調整したいということでもあります。とにかく一度、町単費でイーフビーチにおいては砂を補充したんですが、結果としては同

じ状況になっているということも確認しておりますので、再度、そこに構築物が造る必要があるのか、そのへんも含めての今後の調査になるかと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

この海域の砂州の移動、それからイーフビーチの日本の渚百選に指定されているビーチの現状からしても早期に調査は入れないといけません。調査を入れて、その結果、奥武島への海中道路、これが影響しているとそういう調査の結果その方針が出れば、その時点で奥武島の海中道路の奥武島側の橋桁方式への変更も含めて早急に取り組まないと、今奥武島西側の砂州がもう、あの海中道路側にほぼ寄ってしまっていて奥武島の船だまりの干潮時に、船だまり、漁船が出入りするのにも非常に支障をきたしています。早期に予算計上してもらおうように今後とも担当課、町長も頑張ってくださいと取り組んでいただきたいと思います。これで私の質問を終わります。

(棚原哲也議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで棚原哲也議員の質問を終わります。暫し休憩いたします。(午前11時15分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時24分)

これで棚原哲也議員の一般質問を終わります。

次に8 番島袋完英議員議員の発言を許します。

(島袋完英議員登壇)

○ 8 番 島袋完英議員

通告の3点について質問いたします。まず

1点目、学生寮と学習センターの建設についてであります。去年度から始まりました久米島高校の学生を増やそうということで里親制度を設けましたが、なかなか思うような状況にはなっていないと思います。現状では里親の希望者が増えないのではないかと私は思っております。それはやはり希望者はたくさんいると思うんですが、年寄りを抱えているとかいうのが一番の問題はそれだと思うんです。それで全寮制にしたらどうかということでこの学生寮をつくったらどうかということです。

それと、魅力化づくり、高校もプロジェクト委員もいろいろやっていると思うんですが、やっぱり全国的にアピールできるのは今スポーツの方で個別競技のやり投げだとか、そういうものがすごく宣伝されていますが、もう一つには、一番は進学率だと思うんです。大学への進学だどうなっているか、どういう大学に進んでいるか、何名合格しているか。そういうものを久米島高校はどんな学校かとみる中で、私はこれが一番生徒の選ぶ中で一番有力なのはこの進学率だと思います。それで学習センター、学習センターといっていますが、これは海士町を例えて言ってるんですが、実際は塾なんです。塾ですけれど、塾というと学校の先生方には少し抵抗感があるみたいです。それで海士町では学習センターという呼び方でやっていますが、実際は塾のことなんです。それを建設する考えがないのかどうか。

2点目に、合併、具志川村と仲里村が合併して12年が経ちました。しかし、新町建設計画でたくさんの合併したらこういうことになる、こういうことが達成できるというたくさ

んの目標を掲げていたと思うんですけど、それがどうなっているのか。12年経っても未だこれはどうしよう、この方はまだまだ追いついてないとか、そんな話もあまり聞こえないんです。それで行政の中で、それを検証すべきだという声がないのかどうか、それをお伺いします。

3点目、新庁舎建設検討委員会、これも先の議会で質問いたしました。出来るだけ早めに立ち上げますということでしたけれど、未だにそういう話も聞こえていません。どうなっているのか、この3点をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

(吉野剛教育長登壇)

○ 教育長 吉野剛

島袋完英議員のご質問にお答えいたします。今年度、久米島高校への島外からの入学者は5名おりますが、そのうちの4名が里親制度を活用しています。県外から沖縄の高校への受験は身元引受人との同居という条件があります。次年度も、基本的には里親制度を活用しての受験となります。しかしながら、なかなか里親を引き受けてくださる方々がいらっしゃらないというのが現状でございます。今後も説明会や訪問等を通して里親を引き受けてくださる家庭を探していく努力を続けて参る予定でございます。併せて、寮制度につきましても県教育庁との調整を重ねながら、学生寮の建設に向けて推進して参ります。

次に、進学率を上げることについてお答えします。現在、町内の中学校と高校は中高一貫教育をおこなっております。連携の内容としては、野球、バスケット、吹奏楽部等の部

活動の連携を始め、英語検定、オープンキャンパスの実施、地域行事への合同参加などがあります。そのような交流体験を積極的に行えれば、中学生が久米島高校の良さや魅力を感じ、自分の選択で進学する生徒が増えると考えております。

(吉野剛教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

8番島袋完英議員の2点目、3点目の質問にお答えします。まず2点目の、合併12年が経ちましたが、中間の検証はやらないのかという質問であります。合併の検証はやるべきだと思います。但し、一つ一つを検証するには時間と労力を要しますので総括的な検証に留めるべきと思っております。

2点目の庁舎建設検討委員会の設置はという質問ですが、平成26年3月議会での質問で、30年以内に起こり得る可能性が70%と言われる大災害が発生した場合、司令塔となる新庁舎建設についての質問に対して回答したと思っておりますが、他の公共施設の建設と優先順位や今後の庁舎建設基金の積み立て状況をみながら適当と思われる時期に調査建設検討委員会を立ち上げていきたいと考えております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

再質問いたします。まず、学生寮と学習センターについてですが、この寮制度というのはどのような制限があるのか。例えば、寮母だとか寮長とか、そういうのを置かないとい

けないものなのか。その寮制度について県の方から具体的に制限があるのかどうかお答え下さい。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

まず、受験制度の方から先にお話ししますと、県外から沖縄県への受験をする際には許可願いというのが必要なんですが、その中には身元引受人、そしてその人の同居というのが条件になっております。

学生寮に関しましては同じように身元引受人がいて、そして責任を持つというようなことであれば可能だと聞いております。

1日に県教育庁の方で、そのへんの確認をして参りましたが、久米島高校においても、そのような寮制度をつかった入学のことについては要請して参っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

大田町長の施政方針にも、町長も寮と学習センター、これはすごくやりたいと、こういうのをつくりたいというのがありました。その寮の建設について町長のお考えを聞きたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど教育長からもありましたが、先だって教育長が県の教育庁の方と調整してきております。若干のこれまでもお互いの認識のずれというものもいくらあったようでありませう。私が今指示して進めようとするのが、久米島中学校と仲里中学校の統廃合に伴って空

いた儀間にある教員社宅、これを今回の補正予算を計上しておりますが、その1棟を、5世帯ありますが、それを改修し、その1部屋を管理人、要するに寮母みたいなのを置いて、残りの4つの部屋で学生を受け入れるような仕組み、それを今指示して進めております。これは用途変更の手続きにおいても県と調整を進めております。

しかし、今後、この間の東京の説明会においても50名近くの関係者が説明会に訪れたようです。生徒が増えた場合は今予定している寮だけでは足りません。これは新たなまた建設、新築するか。また空き物件を再利用して使えるかどうか、そのへんも含めて議会の皆さんとの相談、そして関係団体、機関との調整も必要になっていきますので、今後はぜひ今教育長からあったように、確実に同居することではなくても、身元保証人を我々議会の皆さんもよろしいですし、1人で1人の生徒を引き受けるような仕組みづくりができればそれは可能ということになるようですので、そのへんもう少し調査しながら前向きに私も推進していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それと併せて、学習センターの建設ですが、これについては教育長の見解はどうか。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

学習センターに関しましては、高校だけに止まらず町民あるいは小学生、中学生も含めてそれが利用できるような公立図書館の建設もそれになるのかなといったところで、その

へんはまた検討委員会の中で検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

この両方は、ぜひ進めていただきたいと思うんですが、この建設には、とりあえず儀間の方の教職員寮を利用したいということですが、ゆくゆくはこれは島の活性化の一つの事業でありますので、一括交付金で物件を建てるか、あるいは買い取って、寮と学習センター併設したような、そういうものを建設する考えはないのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

お答えします。先ほども申し上げましたが、今いろいろと担当課を通して県との調整を進めております。その進捗状況をみながら、そして次年度の募集が何名ぐらいになるのか、それによって次のステップを考えていきたいと思っております。これもいろんな角度から調査を進めております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これはぜひ進めていただきたいと思いません。出来るだけ1つの建物に寮長がいるし、寮がある、そして学習センターもあるというふうな、そういう一括して管理できるような、そういうものを一括交付金で私はできると思っておりますので進めていただきたいと思えます。

次に、合併後の12年間の検証ですが、総括でやりたいというんですが、総括ということはどういうことですか。1つ1つ検証、項目

を挙げて、これはどうやっている、現在はどうかであるということをやっていないと、何も次のまちづくりにいい結果にならないんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまの島袋議員のご質問にお答えします。過去に検証を県の市町村課の方と連携してやるという経緯があったみたいです。ただ、検証するにはだいぶ予算と人等を投入しないといけないという部分があります。合併後の検証については全国的にみますと、各県の先ほどの市町村課をまとめる担当課、合併市町村の合併後の状況を調査してまとめていくわけなんです、県市町村課がその担当課になると思います。

平成の大合併によって久米島町が平成14年の7月に合併いたしました。その後うるま市、宮古島市が17年、南城市が18年、そして八重瀬町が18年と3市2町が合併している状況です。県下でも平成17年に旧合併特例法が改正され、前と比べて市町村の数が53市町村から42市町村になっております。平成の合併によりまして12市町村が減少しております。県においても合併市町村の検証をまだ未実施であります。

合併によって目指す方向性としましては、新しいまちづくりをしながら厳しくなった行財政をしっかりと立て直すという観点がございます。合併後にどういう動きをしたかといいますと、平成17年頃から国が打ち出したのが全国では行財政改革の流れであります。そして集中改革プランがそれであります。

全国の市町村だけではなくて県においても

行財政改革は推進されております。その結果、これまで国、県が担っていた事務が市町村に事務移譲されて、職員数が毎年削減している状況で、事務量負担がかなり増えている状況です。

県においても平成の大合併が一段落して、平成24年度から沖縄振興特別推進市町村交付金、一括交付金が創設されて合併後の検証に取り組む間もなく現在に至っているものと思われまます。

私も十分な調査はしていないんですが、合併市町村においても同じような合併の検証はされていないというのが今の現状であります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

12年経ちました。因みに、皆さんが、これは町長にもお聞きしますが、何が良くなって、明らかに悪くなっているのが何かははっきりしているのがありましたらお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

お答えします。基本的に考えますと、合併することによって学校の統廃合が進んできた。それも一長一短はあるかと思っています。小さい学校から大きい学校に来た生徒においては非常に良かったという評価も出ております。これも総合的にいろんなかたちで今まで取り組めなかった例えば祭りとかもそれぞれの旧村時代でやっていたのを1つにして大きなイベントとなって企画できているのも事実。またいろんな要請関係においても、これまでは両村の三役が調整して中央に要請にい

くとかいう非常に不都合な面もありました。それも今は一本化できるということはいい結果だと思っております。

ただ、気になるのが、それぞれの職員が当初両村の合併した時には250名いたのが今は190名余りということで職員の数が減ることによって、それに比例するように人口ももちろん新規採用が減るわけですから、それに伴う人口が減っているのも事実であります。

ただ、財政の面から言うと、それはやっぱり国のいろんな制限がついてきますので、合併することによって、それを何とか生き残っていたというのも一つのいい結果になっているかと思っています。

再度いろんなかたちで、これまでの国、県の流れとしても、今担当課長からありました一括交付金化されて合併特例債がうまく機能していないというのも事実あります。今後においても合併特例債も平成29年までつかえませんが、そのへんにさっきの提案がありましたような施設の整備もその予算をつかってできるかどうか、これも今後内部で検討しながら議会の了解を得て進めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

結局今ははっきり目に見えて何が良かったということが町民からも聞こえないですね、はっきり言って。というのは人口が毎年100名ずつ減っていますね。今年もそうなるでしょう、来年もですね。ですから当初掲げた合併後の25年後は人口が1万2千人と予想してやっていますね。これが逆の方向に悪い方向にいくといくらですかと聞いたら7千人ぐらい。

こういう状況で進んでいくとあと10年後には7千人ぐらいに落ち着くだろうというふうに私は思うんです。当初、合併協議会の場合もそういうようないろんな話をしたんですが、まるでもう合併ありきみたいに、常に上の数字だけとってやりました。今町長は合併したお陰で学校の統廃合もできましたと言うんですけど、あの当時統廃合の問題も私は持ち出しました。ところがそういうものを持ち出すと合併できないから、これは議題に乗せないでおこうという状況ですね。それと庁舎建設の件も出すと合併できない、まずは合併ありき。まずは合併してから考えるということでしたので、それが賛成が多くて合併になっているんですが、12年経っても結局忙しい、労力と金がかかるということで、せっかく新しい島をつくろう、町をつくろうと合併したんだけど、結局12年間の問題は何もあらい出さないで、次に向けるというのはおかしいんじゃないかと思うんです。

ですからこれは労力、金がかかろうが、やはり特に重要な部分については、人口の減少だとか企業誘致だとかいろいろあるんですね。そういうものについては重点的に検討していくべきじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

島袋議員のご指摘も最もですが、いろいろ我々は合併してそれぞれのいろんなプロジェクトの方でも進めている海洋深層水を活用した複合施設も今後の人口を増やそうという一つのきっかけとなると思っています。企業誘致も並行して今進めております。しかし現実としては非常に厳しい状況。これは一つの

例として参考に申し上げますが、幸地議員も言っていました、新潟県の佐渡島、向こうが周囲が400kmある大きな島ですね。それが10市町村が合併して1つの佐渡市になっています。これが人口ピーク時の12万が今6万に減っています。ただし産業としては稲作が中心で、そのものは維持しているのだが若いものは都会へ出て行くと。学校の生徒ももちろん。小学校もたくさんあって、統廃合を1つ1つ進めているようですが。見ますと、市内の地域でも大きな建物が周囲は草ぼうぼうして空きになっている本当にもったいないなという感じがしました。それぞれの方面をいろんな山地においても同じような現象が起こっているのも事実であります。これも合併の影響かどうか分かりませんが、それも検証する必要があると思います。

ただ、今回、国の新たな方針として地方再生という言葉がよく出てきております。そのへんも強ちに今後、東京一極集中ではなく地方にも目を向けていろんな支援策をするというのも現総理の下で新たな大臣ポストも設置して進めておりますので、そのへんもまた我々もそういうところと、うまく連携しながら久米島の再生についても進めて行きたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

分かりました。とにかく検証はぜひやるべきだと思いますのでお願いします。

次に、庁舎建設検討委員会についてであります。回答では公共施設の優先順位とありますが、私はいろいろ公共施設ありますが、まず合併して町民を新しい島になるんだという

そういう意気込み、気持を奮い立たす意味でも10年目の節目として本庁舎というのはあるべきだと思うんですよ。今ここが使えるからそれでいいんじゃないかということではなくて、これは1つのまちづくりの一環としてでもこういう事業はできるだけ節目にやるべきものではなかったかと私は思いますが。

例えば、町長がまちづくりというものね、まちというのはどういうものだと思いますか、町長。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。それぞれの思いはあると思います。確かに島袋議員と私の思いも違います。ただ私は、これまで37、38年行政経験しておりますが、必ずしも庁舎が立派だから、その地域の行政がうまくいくかというところではないと思います。それは職員のそれぞれの一人ひとりが意欲があって仕事することによって住民のサービスにも提供出来るかと思っております。ただ現状を考えた場合、今の財政状況からしますと、この庁舎をつくるよりもっと優先すべきものがいくつあるかと思っております。先ほどの学習支援センターももちろんですね。あと防災機能を備えた防災センターも今後は必要になってくると思っております。当面、耐震構造がこの施設においてはできておりますので、今回、後から合併した八重洲町が旧校舎を庁舎として使っていましたが、向こうは耐震構造になっていないということで、今回新たに東風平側につくることになっておりますが、そのへんの状況は違いますので、我々は我々なりの、これが支障があるということであれば

当然早く造るべきだと思いますが、当面は我慢して使って、優先順位を検討しながら具志川庁舎においても、それぞれの支所機能をもっておりますので、向こう側の住民にも不自由させないかたちで内部をいろんなかたちで変化させて住民サービスを展開していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私はまちというのは、その島の繁華街というか中心街、リゾート地とは違うと思うんですよ。どこでもじゃないんですけれど、リゾート地が島のまちになったところは、あまりないですね。リゾート地というのはやっぱりレジャー、バカンス、そういう人たちが集まって日夜遊べる、行動できるというのがある。その島のまちというのは住んでいる人たちが日常生活においていろんなお店があって買い物がやりやすい、そこへ行けば何でもあるみたいなの、そういうのが島のまち、繁華街になると思うんですよ。ですから、この島を将来どういう島にもっていきたいと思っているのか、町長のあれがよく分からないんですけれど、私は島づくりというのは、そういうのをはっきりして進めていった方がいいと思うんです。

合併前の話ですが、具志川の方のまちが、皆さんも分かるとおりに本当にさびれている。なぜか、これはそこに住んでいる商売人たちのせいだけではないと思うんです。どうして向こうの事業が進まないのかなど。これはまた一つに地権者の問題も持ち上げてくると思うんですけれど、私はそうではないと思います。もっと行政の方がまちづくり、そういう

ふうんと考えていたら、やはり同じように進んでいかないとあまりにも差がありすぎる。今はもう市街地の市は死ぬ字ですよ。こういう状況に今なっているんです。街灯もついてない通りもありますよ。ちゃんと何々通りという名前はありますが、街灯の灯りもついてない。これは一概に商売人だけのせいじゃないと思うんです。町長もそこ夜歩いたことありますか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。反論ではないですが、時代の流れとともに、いろんな形態の移り変わりがあると思います。例えば14、15年前まではマチヤグラーが繁盛していた時代。そこにそれぞれが買い物していった等があります。しかし現実として今コンビニが両方にできました。コープができました。消費者、利用者というのはちゃんとした安全で車が止めれる場所を求めていきます。

そしてもう一つの流れ、通信販売、インターネットが普及して、若い世代はだいたいインターネット注文で衣服、他の諸々の商品が買える時代になりました。それも時代の流れとともに現実として起こっています。いろんなかたちでどんどん時代は動いていますので、それに乗り遅れないように対策をとるのも我々一人ひとりの努力かと思っております。

ただ、一つ苦言を申し上げたいのは、中央通り会とか商店の前に店主の車が常時止まっていると。それじゃあ僕は消費者の皆さんは買い物に行きたくても、行けばまた駐車違反いろいろ指導を受けるとか、いろんな現実も

ありますので、そのへんも早めに振興通りの改修をやって、そこに駐車場も建設しようという予定も進めております。裏通り側についても2車線で県の方で用地買収も進めています。それも今島袋議員からありましたように、用地交渉が難航している場所もあります。これを早めにお互い議会議員の皆さんも一緒になって地権者を説得できるような環境づくり、それは我々も努力しますので、ぜひ議会の皆さんも一緒になって、これを進めていきたいと思っております。

よく言われることが、僕は具志川地域の出身ですから、具志川の皆さんからすると、ヌーガ事業やムル仲里ビケーにやっているとすることも聞こえます。これは僕は間違いだと思っています。各地域それぞれの、我々は道路事業も道路整備においても、例えばヤジャーガマの整備もしましたが、だいたいが見てないと思っております。そういうのも我々の広報不足もありますが、いろんなかたちでバランスよく工事も進めております。大原下線においても莫大な予算がかかりますが、それも今進めている状況であります。いろんな誤解もあるかと思いますが、行政は決して偏ってはやっていません。平等に進めていると思っております。よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

平等に進めているとは思いますが、目に見えてそういうふうに見えないものですから、住民はいろいろ言ってくるわけです。新庁舎の建設検討委員会も当分は立ち上げないということですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

庁舎建設委員会に関しては以前に建設委員会を立ち上げて基金の問題、本庁舎がまだ新しいという理由で当面の間は基金を積み立て状況によって検討していくということでしたが、今本庁の現状を見ますと、これから新しく建設予定の図書館、そして給食センターの老朽化による更新ですね。それからまたクリーンセンターが再度更新の時期にきています。そして各公共施設が老朽化して建て替え、取り壊し、新築の時期にきています。行政として全体を見ながらどこを優先的にやるかということ。例えば今、新庁舎に関しては、西原町が完成しました。先ほど町長の答弁がありました八重洲町がいま計画しています。八重洲町の計画としては25億円あまり。それを70%起債事業、借り入れでやるんですが、17億円の借り入れ、借金になるわけです。

そうした場合どうなのかといいますと、合併してからの新しいまちづくりもそうなんですけれど、旧仲里村、旧具志川村の部分で財政面は厳しい状況で、合併によっていろいろな支援策を上げるし、合併して新しい活力が出せるんじゃないかという目的もあったと思います。そういう観点からいきますと、だいたい行革とか皆さんのご協力によって財政を立て直してきた現状ではあるんですが、更に大型建物を5年以内に建てた場合、再度財政難に見舞われます。そうするとこれからの行政運営を考えると同じような行革を再度やらざるを得ないという部分で、現在をよくするためには、未来に負債を残していく事になりますので、そのへんを行政運営としてなるべくバランスよくやるためにはどうした方がいい

のかというのを、公共施設の全体を考えて、今後、進めるべきだと思います。

それともう1点は合併特例債ですが、震災によって10年に限定されていたのが5年延長されて15年つかえるようになってます。それが平成29年までなので、あと3年ぐらいしかないという終期がきております。合併特例債をつかって今後そういう事業全部はできないんですが補助事業でできる部分もありますので、しっかりした計画を今年、来年に向けて練って、きちっとつかえる合併特例債をつかってやれる分は取り組んでいきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

その検討委員会というのは私はすぐ建設にとりかかるということでもないと思うんです。5年後なのか10年後なのか今からやらないと、例えば豊見城市が今年から新庁舎建設課と課を設立して取り組んでいますね。それから西原町はできました。南城市が取り組んでいる。八重瀬町は着工かな。これもすぐは出来ていないと思うんです。ですからその検討委員会というのを立ち上げても別にいいんじゃないかと思うんですよ。これぜひやるべきだと思います。

その建設については、例えば豊見城市あたりは緊急防災減災事業債という事業を採用しているのがありますけど、それも検討しているんですか、そういうのもできるんですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

そういう部分に関しても、いま内部では細

かいメニュー等はまだ検討しておりません。そういうのが企画関係の部分がちょっと薄いということで、今年機構改革の中で議論しまして、全体調整とか今までの事業のやり方、あるいはどこがやるの、どういう事業を使ってというのがしっかりできるような仕組みづくりを機構改革の中で検討していきたいと思えます。

先ほどの緊急減災ですが、消防の広域化をやろうというときに、その補助メニューが出てきました。ただそのメニューに関しては事業もあるんですが、起債に関しても単年度の完成にする事業に限るということでありまして、広域の時もそれがネックになりまして起債事業に変わった経緯があります。

大きい事業に関しては単年度でできる部分に関してはそのメニューが使えるんですけど、2年度事業となりますと、その事業は不可能になるということで、そのへんも含めて検討していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

当分はそれは無理かもしれませんが、具志川庁舎は耐震災の、これには入ってないと思うんです。そこをどうするのか、またプレハブに変えるんですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

確かに具志川庁舎に限っては昭和53年建築だと思います。耐震構造に対しては昭和56年以降に建設されたのが新耐震基準を満たしている建物と思えます。それに関しても今回の補正計上しているんですけど公共施設を全

部調べまして、耐用年数あるいは耐久度を調査した上でそれを更新すべきか、壊して新築する方法だけではなく、長寿命化ということで補強を入れまして、耐久度を増してやる方法もありますので、それも含めて公共施設の総合管理計画というのが策定されるんですが、その中で方向性を示していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

分かりました。庁舎建設検討委員会は出来るだけ早めに立ち上げてほしいと要望して終わります。

(8番島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで島袋完英議員の一般質問を終わります。

これで午前の部を終わります。

休憩します。(午前12時06分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時27分)

7番喜久村等議員の発言を許します。

(喜久村等議員登壇)

○ 7番 喜久村等議員

7番、2点ほど質問いたします。区長会の委託料について、10年前に基本給が10%カットされたままになっているが、元にもどしてはどうか。

2点目、町営住宅の外灯について、現在、町営住宅の外灯の電気料金は各字が支払っているが、その料金を町がもつ事はできないのか。その2点質問いたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの7番喜久村等議員の質問にお答えします。まず区長会の委託料について、第1次行政改革の経費の削減の対象として職員の人件費をはじめ、カットした経緯があります。新年度予算に向けて各市町村の情報を参考にしながら調整していきたいと考えております。

次、2点目の町営住宅の外灯について、久米島町営住宅条例の22条で共同施設については入居者負担とする。と定めております。外灯はこの共同施設と解されますので入居者が負担すべきと考えております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

再質問します。こちらの委託料についてなんですが、今の答弁では新年度予算に向けて各市町村の情報を参考にしながら調整していきたいと思えます。とのことでありますが、他市町村の状況を調査したのか、その内容の説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

他市町村の状況に関しては、全市町村の調査は終わっておりません。ただ調査している中では、市町村の均等割と1戸あたりいくらかという積算だと思うのですが、そういう積算根拠がだいたいばらばらの部分があります。但し、予算額を各市町村の世帯数で割って試算してみたんですが、1戸あたりどれぐらいかかっているかという試算なんですけど、調べた範

困に関しては、うちの町は高い部類に入っています。因みに、類似市町村で今帰仁村さんの方が1戸当たり6千971円ですね。本町が7千992円です。本部町さんの方が5千699円、中城村がうちより高く8千291円です。西原が4千246円、他の市町村についても現在調べている途中であります。十分な調査はされておりませんので新年度予算編成に向けて調査し他の市町村とのバランス、あるいは過去の行革の中で均等割の分を5千円削減したと聞いております。そのへん含めて過去の部分を確認しながら、新年度予算に向けて調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

調査は半分ということなんですか、現在の調査のやり方では。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

担当課長の部分にもちょっと確認したんですが、調査に関しては、まだやっていないということで、今現在、申し上げた部分で各市町村担当の方に問い合わせている最中です。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

私は、この質問を平成24年6月の定例会に一般質問しています。当時の総務課長は、このように答弁してます。

本年度、行政改革推進室がスタートしました。今スタートの準備しているところがございます。区長手当については、当初基本給が5万円でしたが、10%カットして4万5千円

ということになっています。区長は議員がおっしゃるとおり、行政と地域を繋ぐ大変重要な役割を果たしていると思います。重要な役割になっているということ踏まえて、また過去にこの10%が減額したということも踏まえて検討したいと思っております。あと、他市町村との比較においても、委託業務の内容が市町村にかなりの差がありますので、そこらあたりも含めて調査しないといけない関係上、時間はかかりますが、その中で検討していきたいと考えています。できるだけ本年度中には結論、ある程度の方向性を出していきたいと思っております。という答弁をされております。2年も経っているのに、このできるだけか、その結果の内容は伝えるべきではないでしょうか。何もやっていないから結果は今出てくる、その半分になっている状況を踏まえて町長にお伺いしたい。このような対応のやり方に対して、町長はどのように思われますか、町長の考え方を伺いたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

答弁については、先ほど総務課長からあったとおりであります。今24年の質問に対しての進行が遅れているということですが、遅れたことに対しては大変申し訳なく思っております。ただ言えることは、それぞれの市町村それぞれの事情も違いますし、業務範囲内もいろいろと差があるのも事実であります。特に基地周辺関係の自治体においては、その基地収入の収益があつてかなり高額な手当を頂いている北部方面ではありますのも事実であります。先程来ありますとおり、これからの行財政改革の中で全体を見直す中で、

この区長委託事務については、私も見直しを若干必要と思っておりますので、これは新年度に向けて改善を図っていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

もう一つだけ町長に答弁をお伺いします。区長会に対しての委託業務に対して、町長の考え方、そういった考え方の趣旨をちょっとお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

委託業務に関しては、委託契約の中でも示されておりますが、行政がいろいろと調査するもの、そして資料の配布物関係、これは毎月区長会の中で依頼してやっております。その字によっては、また委託事務者を区長と別扱いでやっている事例も過去にありました。これも今担当課長からあったとおり、その地域と行政のつなぎ役として大変重要な役と認識しております。今後も上手く行政運営が円滑に図れるように区長とは連携して密にしながら進めていく思いでありますので、私の考えとしては以上であります。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

前向きな答弁でありました。区長は業務委託だけではなくて、行政と町民と重要なパイプ役として働いています。各字の区長の皆さんは、それぞれの字の長として、字の先頭に立って働いています。そこで生まれるのが字の活性化、そして町の活性化、または住民サ

ービスに繋がっていくと思います。町としても区長の重要な役目と働きについて、いかに重要であるか理解してもらって、早急に事務委託料をもとに戻してくれるよう要請いたします。

次に2点目の町営住宅の外灯について、再質問いたします。外灯はこの共同施設と解されますので入居者が負担すべきと考えています。という答弁ですが、各字には負担している字もありますが、町はどういう対応を取るのがお伺いしたい。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

各字どういうふうに対応しているかという部分ですね。これに関しては担当の方で調査いたしまして、他の地区に関しては入居者で責任者を決めまして、その責任者も輪番制でやっているみたいです。そこで徴集してもらって共同で使用している外灯等を支払いしているということです。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

過去に担当者が、各区長に来て、この外灯を設置するから電気料は字で払えと、そういうふうに迫ってやった例もあるんですよ。それで入居者と区長のトラブルも発生している区長の皆さん苦勞したと思いますが、今、美崎町営住宅ではどういうふうになっているんですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

今ご指摘がありました部分に関しては、字

根、真泊地区のA・B・C棟の件になりますか。これは宇根の区長さんに確認したんですが、確かに平成21年度に、その入居者の中の班長さんの方で立て替えされていて役場に再三再四、その要請とかいろいろやってみたいたいんですが、なかなかちががあかない状況で部落の方で支払いをしたと聞いております。我々も議員の質問があつて、はじめてその過去の部分もわかりまして、これではいけないということで、支払いに関しては入居者負担ということで、今後、指導していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

管理運営のまずさなんでしょうね。これは各町営住宅は各課のたらい回しで、今は建設課、今年は総務課と、そういうたらい回しになって、いろいろとこういうふうなミスが出てきて、住民と入居者、それに対する町に対しての、そういう要望とか聞かないようになってるので、ぜひ今後こういうことがないようにやってください。またこれからもちゃんとした管理運営をして入居者の安心安全な暮らしをできる町営住宅にしてくれるよう要請して、私の質問を終わります。

(喜久村等議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで7番喜久村等議員の一般質問を終わります。

次に13番玉城安雄議員の発言を許します。

(玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

私の方から質問したいと思えます。大田町長の所信表明から何点か質問したいと思いま

す。6月定例会の大田町長の所信表明から何点か質問いたします。

まず最初に、人口減少対策について100年の大計で臨む必要があるとし、具体例として産業の創出、雇用の確保が示されているが、その他、定住人口を増やしていく戦略とはどのようなことを考えているか伺います。

2番に久米島に人を呼び込み定住人口を増やすには、安心して生活できる環境づくりが重要であります。そのためには医療、福祉、教育、子育て支援等の充実が不可欠と考えるが、どのような取り組みをするか具体的に示してください。

次に3月定例会において、示された平良前町政の政策を踏襲しつつ各分野での所信が表明されているが、その中から3点伺います。

まず最初に福祉の充実から児童福祉について、認可保育所の支援強化により、待機児童ゼロを目指すとするがどのような施策が考えられるか具体的に伺います。

2番に公立図書館建設について、3月定例会では前町長は10月をめどに建設検討委員会を設置すると答弁しているが、図書館の必要性については現町長、教育長の見解を伺います。

3番に生活基盤の整備についての中から東日本大震災の後、全国的に上水道の浄水施設、水道管の耐震化、耐力度の問題が言われているが、本町では老朽化も含め浄水施設、水道管の状況はどうなっているか。また水は町民のライフラインである。安心安全な水の確保はどのように考えるか見解を伺います。よろしくお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの13番玉城安雄議員の質問にお答えします。2点ほどは教育長で答弁をさせたいと思っております。よろしく申し上げます。

まず、6月議会の所信表明の中で①についての質問にお答えします。私の所信表明において定住人口を増やすためには産業の創出、雇用などを申し上げたところですが、今後、全国の移住定住施策、実績を上げている先進事例を参考にして戦略を構築したいと考えております。また、沖縄県が平成26年度から8年間をかけて人口増加計画を打ち出しています。その、1つに離島過疎地域における取り組みが重点項目として掲げられていることから、久米島町としても県の施策と連携して移住、定住施策に取り組んでいきたいと考えております。

②また、具体的取り組みの1つとして公立久米島病院を中心とした医療の充実に努めます。

2つ目には、高齢者や障害者のニーズに答えた多様な支援サービスを身近に提供できる体制の充実強化を図ります。

3つ目には子育て支援の充実に図るため、国の新制度も活用しながら、待機児童の解消や保育の質、向上に取り組めます。また出産女性の支援充実についても取り組んでまいりたいと思っております。それから3月定例会の前町長の踏襲についてであります。①待機児童の現状として、0歳児が多い状況にあります。職員の配置基準や保育室の基準面積等が主な要因となっております。今後の施策としては、待機児童の解消に向けて新制度が、平成27年度から施行されますので、それに伴

い久米島町でも子ども・子育て支援事業計画を策定作業中ですが、その中で課題解決に取り組んでまいります。

次に②公立図書館建設については、6月の所信表明で公立図書館・町営塾の教育環境整備に取り組むことを表明しました。今後は、総合計画策定の中で公共施設の整備、推進に向けた方針を打ち出し、進めてまいりたいと思っております。

③の安心安全な水の確保についてお答えします。町の浄水場の供用開始は具志川浄水場が平成6年度、山城浄水場が平成元年度であります。目視による構造物の老朽化は確認できておりませんが、流量を計測する計装設備は不具合が生じております。水道管の耐震化はされておられません。次年度、上水道施設の耐力度調査、計装設備の機能調査を行い、上水道施設整備、基本計画の策定を検討しております。なお、水道施設は町民のライフラインとして最も重要な施設あると考えております。後については教育長より答弁させたいと思っております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

(吉野剛教育長登壇)

○ 教育長 吉野剛

玉城安雄議員のご質問中の教育の充実にについてお答え致します。本町の学校教育の目標は、幼児児童生徒一人ひとりに、確かな学力を身に付けさせ、生きる力を育むことです。その目標を達成するための支援として、大きく4つの取り組みを行っております。1つ目は、教師の授業力の向上を図る研修等の実施、2つ目に学習支援員等の配置による児童生徒

の基礎学力の向上を図る支援、3つ目に特別支援教育支援員配置による、特別な支援を要する児童生徒への支援、4つ目に基本的な生活習慣や家庭学習の定着を図る取り組みを行っております。

次に図書館の必要性についてお答え致します。図書館は、図書、雑誌、情報資料等を収集、保管し、利用者への提供等を行う施設です。町内全ての学校におきましても図書室が設置されており、児童生徒にとっては、主に読書活動や調べ学習等に利用しております。しかしながら、学校の図書室の利用だけでは、利用時間、蔵書冊数やジャンル数において十分な活用が出来ない状況がございます。放課後や休日であっても、都合の良い時間に、求める本や資料がいつでも利用出来る公立図書館は、子ども達にとっても、大人にとっても大変必要な施設だと考えております。

(吉野剛教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは答弁に沿って再質問をしたいと思います。まず1番目と2番目は関連づけて質問したいと思います。最初に人口減少対策なんですけど、人口を増加させる近道は社会増ですよね。島外の人を島内に呼び込む転入させるということが近道であるわけですが、移住・定住政策で実績を上げている先進事例を参考にするとして町長は答弁していますが、今行われている久米島高校の魅力化についても、我々、海士町への島前高校を視察して参考にして今着々と進んでいるわけですが、これに注目している自治体とかはありますか、伺います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま先進事例ということで、やはり参考にすべき自治体があります。先ほど質問にあった海士町の例もそうなんですけど、それ以外に大分県の宇佐市というところが、かなり実績を上げています。やはり移住、定住、これ歓迎する要素がいろいろ揃っております。そのあたりその要素がどういったものなのかを参考にしながら久米島町としての取り組みを行っていきたくて考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

先ほども申したとおり、その先進地域を視察するという事は非常に重要なことだと思います。この久米島高校の問題についても我々、議会行政一緒になって視察したおかげで共通認識として、どうにかしようという気持ちで取り組んで、今着々と進んでいるわけがあります。それもぜひ視察もしていただき、この将来、久米島の人口減少の一途ですが、ちょっとでも止まるような政策も考えていただきたいと思います。実際、望ましいのは生産世代で若者が転入してくることはありますが、それはそれなりの職がなければ移住とか転入ままならないんですけど、また働く場所がないから地元の久米島の若者が島外に行く実態も見逃してはならないと思います。もし本町に住むことを希望はするんですけど、職を斡旋して欲しいとかという希望があった場合はどのような対応を取っているのか、これから取るのか、あればお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

毎月、移住を希望する方が我々プロジェクト推進室の方に相談にいらっしゃいます。中には雇用の場をいろいろ聞いて来る方がおりますが、やはりその斡旋まではちょっとできない状況で、商工会とか、そういういったところに少し相談をしながらということをやっていますが、実は職の斡旋までには繋がっていないのが現状です。その前に移住を考える前にまずロングステイといいますか一月とかそんなかたちで住んでもらって実際に感じてもらう、その後決めてもいんじゃないかというようなことのアドバイス等は行っております。職の確保が一番重要だということ認識しておりますが、具体的なアドバイスは今できていないのが現状です。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

そうですね、やっぱりこの人口減少の対策は島外から呼び込むのも大事なことでありますが、若者のこれも大事なんですが、地元にいる若者の定住を基本理念として、また、まちづくりをすることで産業観光の発展に留まらず若者が生き甲斐づくりのできる場になることが大事ではないかと思っておりますので、ぜひそういうところも踏まえて、移住も踏まえて、また定着する場づくりですか、そういうのを踏まえて取り組んで欲しいと思います。この定住促進対策とか移住対策については全国にもさまざまな事例があります。それも参考にしながら取り組んで欲しいと思います。例えば、Uターン者、Iターン者、移住者等に奨励金を交付するとか、また結婚祝い金、

出産金等の対策も可能なものから順次予算化している自治体もありますが、そこらへんどのように考えるか、まず町長の見解も伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの議員の質問にお答えしますが、これはそれぞれの地域いろんな手法があると思います。私が今後、特に久米島の一次産業を伸ばすにはどうかということと触れますが今回、太陽の花さん花卉園芸組合、これが外部からの研修生を受け入れる取り組みを進めています。そういう人たちが、その実績を蓄積すれば、また久米島で定住して農業をやりたいというような方も出てくると思います。大いにそういういろんなNPOの政策を利用しながら、我々、一次産業を考えた場合には取り組む必要もたいへん大事なことと思っております。それぞれ県外においても、その地方地方でそれぞれのアイディアを出して外部から呼ぶような仕組みがあります。

特に議員も島根の海士町へ行ってわかったとおり個人有地であろうが島から出ている人たちの土地はその町の権利で、自由に貸して貰えるような仕組みづくりとかも取っていましたね。我々も島を出て行った皆さんの土地は皆さんが自由に使えるような仕組みづくり、特に農地の場合は耕作できるような、これも農業委員会との関わりがでできますが、そのへんも今後は検討する予知があると思っております。

他の産業においても同じように研修制度をどんどん取り入れて、外部から来た皆さんがそこで起業ができるような方向にやっていき

たいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

このように町長も人口減少対策については、もう100年の大計で臨むということを出しています。雇用の確保、企業の誘致等も含めてそのまましていたら町自体は衰退していくばかりだと思います。企業誘致も一生懸命やっているんですが、まだまだままならない状態ではあるとは思いますが、そこらへんもリスクは伴ってでも行政が働く場を確保する集中投資ですか、予算の集中投資、そういうのを思い切って取って、こういう雇用の場を確保して島から出ていかない、また移住希望者がいても仕事の確保ができるという状況を作ることによって人口の減少に歯止めもかかると思いますので、ぜひ100年の大計と言わず、直ぐ取り組んでやって欲しいと思います。以上、これについては終わりますが、続きましてこれも関連しますが、子育て支援について、答弁にもあるんですが、国の新制度を利用しながら国の新制度というのはどのようなものか、福祉課長の方からお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

ただいまの質問にお答えいたします。新しい制度は子ども子育て支援新制度という制度なんですが、主な内容としましては、これまでの幼稚園と保育所に加えて2つを合体したような認定子ども園の普及を図ることとなっています。それから地域型保育というのを新設して待機児童の多い3才未満児の保育を確

保していくということとなっています。その地域型保育についてなんですが、4つのタイプがありまして、家庭的保育、これは定員5人以下の保育で、小規模保育、これは定員6人から19人以下、それから企業などでの従業員を主に保育する事業所内保育、それと居宅訪問型の保育ということで、これは障害とか疾患とかある子どもたちの家庭での保育などがあります。

この制度の施行にあたっては子ども子育て会議というのを設置しまして、いろんな関係者で話し合っただけでなく、久米島町子ども子育て支援事業計画というのを策定することになっていますので、この関係者の意見をまとめて久米島の地域のニーズにあった子育て支援や質の向上ですね、それに努めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この子ども子育て支援については新聞等でも見ていると、なかなか専門家でもわかりづらいという報告もあります。久米島町では子育て会議というのを設置するわけですか。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

非常に取り組みが遅れている状況であります。まずこの会議を設置していろんな事業計画を策定しないといけないものですから年度内で早めに会議を設置したいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

会議を設置するという事ですので、ぜひ議論していただいて、子ども子育て支援をすることによって多くの若いお母さんたちが子どももたくさん産んで人口も多くなると思いますので、その方向でやっていってください。

次に医療の充実からなんですが、公立久米島病院は小児科とか内科、整形外科等は常設されていますが、今産婦人科が常設されてなく、出産は本島での出産となっています。妊婦検診とかは町の予算で、そういうことに関しては問題はないと思うんですが、本島でのお産の場合一律、今、出産助成金として10万円が支給されているわけですが、この条件に対して産前36週ですか、1カ月前に久米島から本島に出ていけないという状況にあると聞いています。この10万円という金額、出産までの1カ月間の金額として何年前に決めたか知らないんですが妥当か、どう思うか伺いたいと思います。

それに伴い1人目、2人目という感じで改定して3人目、4人目から出産祝い金を出して、もっと多くの子どもを産んでもらうという政策とか取れないかどうかというのを伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

今現在の出産助成金なんですが、交通費と宿泊費等の費用の一部に充てるということで10万円を支給しているわけですが、根拠としては、マンスリーマンションの1カ月借り上げた金額約8万、それと航空運賃ということでの10万円ということになっていますが、やはり子どもをどんどん産んでもらうと

いう、そういったいろんな施策を今後やっていかないといけないと思いますので、このへんまた財政とも相談しながら、より良い助成金にできるようなかたちで、次年度以降考えていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今のことについてなんですが、いろんな施策4人目以降は祝い金を出して子どもを多く産んでもらうとか、いろんなことがあると思いますが、そのへんのことについて町長の考えをお聞かせ下さい。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

お答えします。ただいまの議員からあるとおり、私もこういう制度を設けていきたいと考えております。今具体的な金額は示せませんが、より多く産める環境を支援するにはやはり助成金を作る必要はあると思っております。それはまた追って財政との調整もいろいろ必要になってきますので、とにかく初年度どうなるかというのはあまりはっきりは言えませんが、徐々にそういう支援対策を考えていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今人口減少対策と関連づけていろいろ子育て支援とか医療の充実とか今提案したんですが、一例を申し上げて質問したんですが、この医療と福祉教育環境が充実することによって、またこの島に住みたいという人もどんどん増えてくると思います。産業の創出、雇用

の拡大も踏まえて、今後取り組んで行って欲しいと思います。

次に待機児童の解消対策についてから伺いたいと思います。最初に現在の待機児童の数年齢別に示してください。できれば法人保育所もお願いいたします。

また待機児童の解消の新制度が27年度から施行されるとありますが、どのようなことができるのか伺います。先ほどの子ども支援と重複するようでしたら割愛してもよろしいですのでもずお願いします。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

9月4日現在の待機児童なんですけど、0歳児が中央保育園1、なでしこ保育園3、なでしこ第2保育所で2、合計で6名です。それから1歳児が中央保育所1、儀間保育園2と合計3ですね。あと3歳児がなでしこ第2保育園1、4歳児が儀間保育園1となっています。

待機児童の解消についての新しい制度というのは先ほど申し上げた制度の中で、久米島に合うようなものを取り入れてやっていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今の待機児童の件ですが、答弁の中でも待機児童は0歳児が多いような気がします。この答弁で設置基準とか保育室の基準面積が主な要因となっているとしていますね。待機児童の要因が、現状の施設の中で特に多い0歳児用の面積を広くして部屋の入れ替えとか広くして定員を1人でも多くする旨の工夫とか

したことがあるのか、要するに次年度から始まるこの中の解消じゃなくて、町単独でそういうのも検討されたことがあるのかどうか伺います。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

今ほとんどの保育所で0歳児の方が定員いっぱい状況で待機児童を無くするための弾力化というのがあって、この率をかけて定員以上の園児を増やしている状況にもありますが、やはりほとんど年長児の方に弾力化で使われていて、0歳児の方はほとんど定員ぎりぎりです。その内容としまして、0歳児については職員1人に対して園児が3名ということで、園児が増えれば職員も増やさないといけないという状況もあります。それを含めてまた基準に満たない保育施設というんですか、今1人あたり0歳児では幼児室というのが1.65㎡、ほふく室が3.3㎡必要なんで、今の現状の各保育所ではなかなか面積以上のものを増やせないという状況にあります。中央保育所などは今子育て支援センターとかを工夫しまして、その部屋半分分けて、別の子どもたち入れて、という工夫もやっていますが、そういうものもやりつつ、また増設必要であればまたそのへん財政とも絡むもんですから、これもまた次年度以降、新しい制度の中で、そういった補助メニューがないかどうか検討しながら0歳児対策については、次年度以降の新しい制度で考えていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この待機児童の問題については、本当は工夫次第では町長の答弁には、法人保育所の強化も含めてという答弁もあります。町の工夫次第では解消、今何名ぐらいですか、10名以上いますね。解消できる方法も工夫次第ではあると思いますので、ぜひこの国の制度に沿ってではなくてもできるような方法で取り組んでほしいと思います。

先ほどの答弁でも子育て支援事業の計画を策定している中なんですけど、ぜひそれにも待機児童の解消も含めて推進していただきたいと思います。特に0歳児を持つ親は一概に0歳児だけとは言えないんですけど、仕事あるのに子どもを預ける所がなく働きたくても働けない。また仕事辞めないといけない状況にもあるわけですよ。その計画の中に、私は以前に病児保育のことも言いました。途中で子どもが熱が出たら電話で連れて帰りなさいとか、そういうのも含めて、この計画の策定の中に盛り込んで、特にこの待機児童、働く親たちが苦勞もせず働けるような体制づくりにもって行って欲しいと思います。待機児童については以上終わります。

次に公立図書館についてなんですけど、町長の答弁では公共施設の整備に向け方針を打ち出すとしています。私も25年12月定例会において図書館建設について質問し、前町長は事業メニューを策定し、早期に取り組みをする旨の答弁をいただきました。また、私は図書館を設置した事態においての、アンケート結果を報告し、1つの例として検討して欲しいと伝えました。

そのアンケートの結果の内容を申し上げますと、まず1番目に教育委員会が必要性を感じたから。2番目に住民や各団体から要望が

あった。3番目に自治体の全体計画に記載されたから4番目に首長が必要性を感じ設置の判断をしたとなっています。今回の答弁では町長も必要性を感じ教育長も学校図書室では学習の限度があるとしています。子どもも大人にとっても求める本や資料等や利用できる図書館は重要であると思っています。前回の議会の中でも10月に図書館建設検討委員会を立ち上げるという答弁もありました。そのことについて今後の展開も踏まえて町長の見解を伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど担当課の方からの説明もありましたが、これは私、政策の中でも述べましたので強力にこれから進めていきたいと思っております。特に図書館の必要性においては本当に島の教育のレベルアップをするにも、そういう環境は非常に大事なものと思っておりますので、早い時期にその委員会を立ち上げて前向きに進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この図書館建設については、町民から各団体からも要望があります。以前からこの要望については大きなものがあるんですが、後回しになっている状況で、財政上からしても、やむを得ないこともあります。町民の読書の機会を増やし、生涯学習の場として、ぜひとも必要な場であると私も考えています。またいろいろな人からも、そういう話を聞きます。そこらへんを踏まえて、ぜひ前向きに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

続きまして、教育の充実についてなんですが、この件については先ほど教育長からも答弁があり、私も聞こうと思っているところなんですが、先ほど同僚議員の方から質問があり、学力結果のところとか、いろいろ答弁がありました。それはそれとして結果についてはいいんですが、この学力調査の結果、いろんな新聞等で公表する公表しないの議論がありますよね。私は慎重にやるべきだとは思いますが、これもし公表した場合に教育長、メリット、デメリットについて教育長はどのように考えますか例えばの話ですけど。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

全国学力学習調査のみならず、こういう諸調査に関する結果の取り扱いというのが県の方から6月にきております。その中でもあるんですが、まず結果に関しては、これはその市町村そして学校に任せるということです。しかし取り扱いの範囲としましては、個人が特定されるような、あるいは学校の中でどの学校がというふうに特定されるようなものにはなってはいけないというふうなものがあります。

久米島の現状を考えて見ますと今清水と仲里に関しては大きな数ですので、そういうことは無いと思うんですが、今後、比屋定であるとか美崎であるとか、ほとんど少なくなっていく中で、例えば2名とか3名になった場合には誰がというのも特定できるような可能性も出てきますので、学校に関しては学校名に関しては公表は控えたいと、但し久米島全体の平均の正答率というのは今後積極的に公表をしていきたいなというふうに思っており

ます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私もその点については慎重にあるべきだと思います。島全体のものとしては各子どもたちも意識を持つように公表はお願いしたいと思います。因みに教育長の考えはそうですが、教育長は教育委員の中から互選で選ばれているわけですが、教育委員の中ではどうですか。どんな意見がありますか。

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

○ 教育長 吉野剛

教育委員会1度だけ私参加したことあるんですが、その中でまだ結果がどうであるというのは今度の教育委員会の中で出したいと思います。今日は議会の方で出しましたけど、それと同じこと出したいと思います。

前の教育委員会の中でその結果をどう公表するのかわからないのかといったようなそういうような質問であったり議論といったものは今のところはございませんでした。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

そのことも教育委員会の中でもどんどん議論していただき学力向上に取り組んで欲しいと思います。教育長にとっては、これから4年間子どもたちの学力向上に向けて4つの目標、努力も掲げていますので一つひとつ着実にできるように頑張りたいと思います。

以上、これについては終わります。最後になんですが、生活基盤の整備についてから上

水道についてお伺いしたいと思います。先ほど同僚議員の方からも質問がありましたが、また同じような内容のところもあると思いますがそこらへんは勘弁してください。答弁では具志川浄水場が建設から20年、山城浄水場が26年経過しています。目視による構造物の老朽化はないが機器類に不具合が生じていると答弁にあります。最近、先ほども質問がありましたが、仲里地区で需要と供給がアンバランスになり節水協力の放送がありました。この原因は何か、機器類の不具合と関連があるのか、また原因究明のために調査をしたのか、その結果、担当課長よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課長 真栄平建正

まず原因につきましては、イーフ地区の漏水が原因でありました。それに伴いまして配水量が多くなったと、そして水位が異常に低下したということでありました。山城浄水場につきましては、毎日朝8時と午後1時、そして午後5時配水量と浄水量、そして配水池の水位、これを計測読み取りしております。送水量、配水量の3回の計測値はほぼ110m³これ1時間あたりとなっております。浄水場の水位は朝8時頃が2 m40cmほど、そして午後5時頃が1 m50cmほどが正常値、平均的は水位であります。そして8月29日の節水協力の放送につきましては、8月27日の朝の計測で1時間あたりの配水量が144m³となっております。そして午後1時と午後5時の計測では平均的な配水量には戻ったんですが、水位が回復できなかったという状況でありました。そして8月28日も配水量の増が見られ、

そして水位の回復はありませんでした。7月の各ホテルの水の使用料が25%増、そしてさらに夏休みの最終の週ということで、そういった水の使用料の増も考えられ、あるいは漏水の可能性もあるということで断水を避けるため節水の協力を防災無線でお願いしました。

そして原因究明の調査につきましては、昼間の目視調査、漏水であるか、漏水であるならば地区の特定をする必要があるということで8月29日、午後6時から朝7時まで1時間毎に排水路の読み取り調査を行いました。そして仲里地区の漏水の可能性があるとということで8月30日の深夜に機器による漏水調査をやる予定でありました。

漏水については朝の4時から5時に最低60トン1時間あたりのものが、29日の調査で62トン余りあったと10トンあたりの差が生じているということでこれは漏水だろうということで現場の方で判断しております。それにつきましては、表面に表れて来ない非常に透水性が高い地域であろうということで、また宇根地区の配水池、儀間地区の配水池についての配水量の差は無かったと仲里地区が原因だろうということで、その中でイーフ地区の非常に透水性の高い漏水が表に表れてこないところだろうということでの想定で30日に深夜機器による調査を予定し、そして修復工事を計画しておりました。

30日の昼頃にイーフ地区の住民の方から漏水があるということでの通報を受けまして、そして現場の方で対応を取っております。1時、2時の間については非常に水の需要が多いということで、それを避けて2時から4時の間に修繕作業をやろうということで、この

間に修繕作業を終えております。今現在は破裂した修復後、配水量、水位については正常値に戻っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

放送の件については夏休み時間中で25%の水利用のアップと仲里の漏水ということですが、なかなか原因も特定しにくいという話ではあります。先ほどの同僚議員からも質問ありましたが、配管等の老朽化の修復についてなんですが、その耐力度調査と計装設備の機能調査を行うという答弁もしておりました。これは次年度から行うと思うんですが、この整備基本計画を策定するという旨の答弁もありました。基本計画を策定し長期の計画で事業あたりを予算化して執行するかと思うんですが、どのような体制で事業を執行していく考えか、まずは担当課長の方からお願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正上下水道課長。

○ 上下水道課長 真栄平建正

次年度、基本計画を策定しまして、国庫補助事業の事業化に向けて検討していきたいということでもあります。現在、水道の方が3浄水場があります。その維持管理として2名の職員、そして1名の経理担当職員、正職員が配置されております。基本計画の策定につきましては、現体制で十分可能だと思います。しかし、実際に工事業実施になった場合に、今の老朽化に伴っての維持管理等が非常に増になっていくという今傾向がありますので、基本計画策定して、どれほどの事業量、あるいはどれだけの事業費、事業期間を要するの

かという総合的に考えまして、これについてはまた総務財政あたりとの協議を重ねていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今答弁にありましたとおり、私が見ても今の水道課の体制では日々の管理で、もし事業化した場合には当分執行が厳しいんじゃないかなと考えております。町の一般会計では毎年約15億円前後のハード事業の予算が計上されているわけですが、そのうち約10億円は建設課だと思います。そこにもし事業化されて水道事業の予算が計上され、この事業量が増えた場合に執行は果たしてできるのかと考えてしまうのですが、過程の話なんですが、今課長からもありましたとおり基本計画の策定までは、現状で大丈夫だけど、この事業に移った場合には、今の配置では厳しいという話もありました。長期的に事業を執行する場合には本当に対応できないおそれがありますので、この事業量を年度前に平準化して、この職員をまず適宜に配置して執行体制を構築しないと、また途中計画の段階で頓挫してしまうおそれがありますので、そこらあたりこの執行体制の構築について町長の考えを伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

私も旧具志川村時代に、水道課に5カ年おりました。そのときも特別会計から企業会計に移行、そのときに認可申請という手続きが必要でした。それも膨大なこれだけの設計書作っているいろいろやります。それはコンサルに委

託してやりました。料金改定と浄水方法の変更がある場合は認可申請が必要ですので、そのへんはまた今後必要となる場合にはそれなりの職員の対応も必要だと認識しておりますので、それはその時点で判断していきたいと思います。とにかく築20年、26年になっておりますので、そろそろ見直し、いろんな検討が必要と思っておりますので、これは住民にサービスが十分できないようなことにならないように今後もこの取り組みについては進めてまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今、町長も水道関係して、このことの仕事のあれはわかっているという答弁もありました。水というのは本当に町民のライフラインであります。それで答弁でも最も重要なことであるとしてます。この重要性も踏まえて安心安全な水を供給するために、本当に執行体制しっかり、もし事業に移る場合に構築してスムーズに事業に移行できるように取り組んでほしいと思います。この水道事業というのは特別会計で運営しております。一般会計からの繰入金もあり、本当に予算的運営上非常に厳しい面もあると思うんですが、沖縄県離島の場合は水源の確保から上水、配水、給水いろいろ運営するわけですが、この離島の宿命でもあります。安心して安全な水を供給するためにしっかりと頑張っていただきたいと思っております。

以上、町長の所信表明の中から何点か質問しました。今久米島が考えている重要な課題と私は考えています。町長をはじめ執行部、議会の共通認識として取り組むべきだと思

ます。最後に町長の答弁をいただいて終わりたいと思います。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先程来、質問にあったとおり。それぞれ担当課長が申し上げたとおり、今後についても皆さんと意見を共有しながら、この行政の発展のために全力を尽くして参りたいと思っております。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

どうもありがとうございます。以上終わります。

(玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後2時32分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後2時37分)

5番宇江原総清議員の発言を許します。

(宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

5番宇江原総清です。5点質問いたします。第1は鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。日本政府の安倍内閣は、「集団的自衛権」を閣議決定いたしました。戦前の大政翼賛会政治と同じような道を歩んでいます。このような中で、アメリカ軍は、ますます鳥島射爆撃場での実弾演習を強化するものと私はみております。そこで、私が懸念しているのは、1つ、潜在的環境汚染が推測されること。2つは、山が崩れ、島が海に沈むこと。3つ目は、好漁場でなくなること。4つは、片道100キロのところをドリスポイント

廻りで、航空運賃が高いことであります。町長に伺います。1つは今までの答弁決意が変わらないのか。2つ目は、早い時期が良いと思うかどうか。

第2は、コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽についてであります。私は自然再生する事が町の活性化の重要な一つと見ております。特に喫緊の課題だと思っております。現在、計画が進行中の謝名堂川の進捗状況、工法や町の想定しているイメージしたマップがあるのか。又、その他の河川や海岸線のマップはあるのか。町長に伺います。

第3は、真謝の天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀についてであります。本町教育委員会は、「出来ない言訳」から始まっています。天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀及び宮の改修についてどう進めていくか伺います。

第4は、久米島一周線、謝名堂から泊間の拡張工事についてであります。本件道路は、以前から道路拡張の杭打ちがなされ、当時の県土木建築部長にも要請をしました。課長は県土木建築部との情報交換や要請しておりますが、現在どうなっているのか。町長に伺います。

第5は、真泊部落の避難道路と駐車場等の計画についてであります。一括交付金での避難道路の進捗状況と同関連の道路と駐車場の設置はどうなっているのか。伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいま、5番の宇江原総清議員の質問にお答えします。5つの内の1つは、教育長に

答弁をしてもらいます。

まず1点目、鳥島射爆撃場の早期返還について、1つ目に、平成26年6月議会における発言については、鳥島射爆撃場の早期返還については、私も返還後の経済効果は計り知れないものであり、積極的に働きかけていきたいと考えております。

2、時期については県並びに軍転協及び地元の関係団体と連携し、できるだけ効果的なタイミングで実施できるよう調整していきたいと考えております。

2点目のコンクリート護岸についてであります。謝名堂川の進捗状況については、県担当課によると、平成26年度新規事業で採択され、現在、測量設計委託の発注準備中と聞いております。その後、平成27年度から用地交渉を開始し、順調にいけば、平成28年度から工事着手の予定であります。

工法については、測量設計業務が発注されていないことから協議はされていません。また、現在ところ町が想定している河川や海岸をイメージしたマップはありません。平成26年度作成の「久米島町防災マップ」はあります。

次に、4点目、久米島一周線謝名堂から泊間の拡張工事について、本道路整備に関しては、7月25日「県土木建築部と南部市町村との行政懇談会」で、当銘土木建築部長へ要望書を提出しております。県からの回答としては、「歩道や路肩が狭く、自転車や歩行者の通行に支障をきたしている」と認識しているので、事業化を検討していきたいと考えている。」と回答を頂いております。

次ページ目に、真泊部落の避難道路について、平成25年度で避難階段の設計を完了し、平成26年度において工事を発注する予定であ

ります。以降の整備については平成26年度に入り、全国的に土砂災害防止法に基づき、「土砂災害警戒区域」の指定が行われ、沖縄県より本地域も指定候補として上がっております。今後の整備については同指定との調整を図りながら進めて行く考えであります。以上です。後は教育長に答弁を求めます。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

吉野剛教育長。

(吉野剛教育長登壇)

○ 教育長 吉野剛

宇江原総清議員の天后宮の対聯に対する歴史的認識と奉祀及び慣習についてお答えいたします。対聯の歴史的認識奉祀につきましては、前回答弁のとおり、専門委員会として本町文化財保護審議委員会にて協議する予定であります。

天后宮の整備につきましては、県指定の文化財であることから、県教育庁文化財課に相談をしております。文化財としてどの程度の改修が必要かの調査を含め、今後も引き続き協議を行って参ります。

(吉野剛教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清

再質問をいたします。まず第1の鳥島射爆撃場の早期返還に関するものですが、町長は早期返還については、積極的に働きかけたい。と答弁していますが、どのような手法で、どのような人たち、団体を想定しているのか伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。実は9月3日に議員からの質問が出た後に関係団体を集めて意見交換しました。言いますと漁協、商工会、観光協会、海洋深層水の協議会の会長、そして久米島紬、それぞれの代表者を招いて意見交換しました。その中で、私としては、これは議会にも毎回質問もあって早期返還を求める地元の決起集会を開く必要性があるという認識の下で相談しました。

それぞれの立場から、それぞれの意見を拝聴して、今回はこの時期に開催することは適当でないという多数の意見があつて、私はもう少しいろいろな角度から、また軍転協等のこれからの会合等もありますので、その場で持つては引き続いて強力に返還を求めていりますが、ただ地元の決起集会においては、よりベターなタイミングを見ながらやっていきたいと、それは、もちろん議会議員の皆さんの賛同も頂かないとできませんので、そういう環境が整ったときは、やっていきたいという考えであります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

時期について、県、軍転協及び地元関係団体と連携して、できるだけベターなタイミングで実施できるよう調整したいという答弁をしておりますけれども、まず、県、軍転協及び地元関係団体との件については9月3日に集めて協議したと、時期が早いんじゃないと、言うような答弁でありましたが、町長が言われている効果的なタイミング、ベターなタイミングで実施すると。こういうことはどういうことなのか、具体的に例示していただき

い。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

はい、行政指導で私が音頭を取って進めた場合の、この関係団体の心配している、いわゆる風評被害、これが一番の懸念材料であります。海洋深層水を利活用して商品を造成している企業、そして観光のイメージ、商工会関連企業のいろんな島の物産、そういうものの今、海外進出して、これから販売を展開しようという中で、久米島がイメージ的に、いかにも今被害があるようなかたちで表に出た場合には、それが非常に彼らにとっては心配であるということ等が今回の意見でありました。それも私は慎重に判断しながら、いま答弁したとおり今後についてはしっかりした考えを持って進めてまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

いろいろと風評被害とか、そういうようなものを心配してと、こういうことを言っておりますが、後で詳しくこれについては伺います。なぜ鳥島・久米島射爆撃場の早期返還しなければならないかということも、私の方からもっと質していきますが、私は前の町長と同じように県とか軍転協に頼っていきすぎることと、やりますよ、効果的なタイミングを見てという台詞を使いながら、前の町長だって6年間やってないじゃないですか。しかもあげくの果ては、そういう台詞を6年間使いながら、言い続けながら、その間に鳥島射爆撃場の20年間の契約を議会や町民に嘘を

ついてまで騙して独断専行した、契約したんですよ。そういうような事例があるから、具体的な例示を示してやって欲しいということでもあります。

町長に確認を取りたいのは、要は町民総決起大会を実施すると答弁をしたのは、自らの政治理念に基づくものか、これについて伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

この件に関しましては、再三、宇江原議員からは議会のあるたんびに質問あがっておりますが、私としても前回のキノコ雲が発生した時も非常に危機感を持っていました。ただやるからには、それぞれの団体地域の理解がなければ、この大会は成功しないと思っております。私が旗を振って町民を招集かけても、そこに人の集まりが少なかったとか、ということでマスコミ等で取り上げられた場合にはいろんなかたちで問題化しないものについても問題あるよというようなイメージで取られた場合にも非常に困ると思えますし、それはいろんな角度から分析も必要でありますので、もちろん今、議会の皆さんには資料もお配りしてあります。この間、防衛局からの報告も聞いております。それについてもまた私から要求すべきは強く要求もしておりますので、トータル的な分析もしながら適当な時期に判断してまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

やる、やると言う台詞で、まさか逃げはしないと思えますが、私は鳥島射爆撃場の早

期返還町民総決起大会の開催は今すぐやって欲しいというふうを考えております。なぜかという、県南部福祉保健所の調査で、平成24年に久米島町の小児癌が5名もいるということです。これは大変なことです。町執行部は、これは前から私質問に対して、遺伝子診断の計画もないと。こういうことも前から答弁しておりますが、そういったのは国の責任において実施させるべきなんです。私は執行部自体が危機意識が無いと思っていますよ。それを痛感しています。

以前にも紹介しましたが、カナダ原子力委員会のホワイトシェルという研究所の実験結果ですが、 α 線 β 線などの低線量放射線によって遺伝子が傷つけられる、それがそのまま受け継がれると何かの機会に突然変異を起こすと。そして癌などの慢性疾患を起こす。生殖に関わる細胞なら代々子孫の生殖細胞に傷が引き継がれて何代目かの子孫に障害を発生させる。発育する胎児への脳障害は特に深刻だと。こういうふうに研究結果で解いております。我々は子孫に負の遺産を残すべきではないと、これが道理ではないんですか、道理だと思いますよ。また、

先月8月3日にNHK、終わり無き被爆との戦いのドキュメンタリーでは72才の女性が4才で被爆をした60年余り経ってから骨髄異形成症候群つまり多発性骨髄腫を発症した。これは放射能被爆との因果関係があるとされました。その理由は体内の放射能が染色体を傷つけた。切り放された染色体が他の染色体とくっつく、異形の染色体が発病させていると、こういう研究結果も出ている訳ですよ。

だから私は、早めに鳥島射爆撃場を返還させるための最大の手法として町民総決起大会

を開催せと、こう申しているわけです。

このようにして子どもたちを傷つけて、長年苦痛をさせながら命を落とさせていく。この負の連鎖を早めに断ち切るためにも町民一丸となって町民総決起大会を開催して、鳥島射爆撃場の早期返還を勝ち取ることはないでしょうか。

町長、改めて町民総決起大会を開催するのか伺います。もし皆さんが9月3日に集めた団体等にいろいろな意見とかあれば、私も町長と同行しまして説得しますよ。それを早めに開催するのか伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

お答えします。まず、第1案としましては、先ほど申し上げましたとおり、関係団体の代表の皆さんと意見交換しました。2つ目のステップとしては、議会の皆さんが宇江原さんは非常に、こういうかたちで質問されていいますがどういう考え方、方針があるかどうか、そのへんも議長はじめ意見を拝聴しながら、また区長会等の意見も拝聴しながら、第2段目の意見交換はさっき申し上げた団体も含めて再度やっても良い考えもありますので、それはもう少し時間をおいてやっていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

実は私はですね、町長9月4日に久米島漁協の幹部と面談をして、町民総決起大会の開催についての賛否を聞きました。その答えが1つは費用対効果があるのか考えたい。2つ目は、防衛施設局から補助金を貰って町民に

還元されている。3つ目は、大会を持つことによって、風評被害にならないか、これは先ほど町長もおっしゃってましたが、そういうことでありました。私は、この回答を聞いてびっくりしております。

そして私が懸念している4つの問題が久米島全体の不利益になることを、そう言う方たちが理解しているのかどうかということなんですよ。

私は事務局が結成された場合には、漁協も巻き込んで自然体でしかも胸襟を開いて鳥島射爆撃場の早期返還を求めるべきであって、その手段としての町民総決起大会を開催すべきだと考えております。

また、町民総決起大会の事務局も早めに立ち上げて、いざというときに開催できる体制を作るべきだと、こういうふうを考えております。町長、私が実行委員長になってもいいですよ。町長の意見を伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの宇江原議員の意見については、議長、副議長あたりとの意見交換もしながら、議会全体がどうお考えなっているか、判断して答えたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ぜひこれも、早めに実のあるようなものにするという主旨で積極的に行動していただきたい。見せかけのパフォーマンスはもういいですよ。そういうふうなかたちで積極的に取り組んでいただきたいと思います。次に本件の2つ目の質問で山が崩れ島が海に沈

むことについてであります。アメリカ軍は岩山の少しぐらいは残すだろうと、こういう希望的観測でものを言う人がおりますが、アメリカ軍は占領国という認識から日米安保条約とか日米地位協定これが無くなるまでずっと500キロ爆弾とかクラスター爆弾場合によっては劣化ウラン弾等を打ち込みますよ。500キロ爆弾の威力は大変なものですよ、そして排他的経済水域の問題も顕現化してきます。

そういうようなことで、私は非常に心配しているわけですが、どうも執行部の皆さんは悠長に構えているやに見受けられますが、今日朝配られた鳥島射爆撃場の平成22年から平成26年の航空写真図これを私は貰いました。要はあまり大きさが変わっていないじゃないか、あるいは高さも変わっていないじゃないかと、こういう声も聞こえましたが、とんでもない。皆さん方、岩がしかも密度が高くて、密度の高い岩を砕いて砂礫化した場合には体積、容積が大きくなるのは、当たり前なんです。要は、ハチャグミですよ。ちょっと大げさだけども、あれと同じ理論ですよ、体積容積が大きくなる。ここにトリックがあると思います。しかも岩がある時のアメリカ軍演習場として使用されていない時のことも昔の人から聞きましたが、あの頓原、その岩山と同じような、それより大きい岩があったと、これがだんだん無くなってきているわけです、それでも沈まないと、平成22年と平成26年同じだということが言えますか。

皆さん方、国家官僚ということであれば、すんなりと受け入れる、こういう体質になっていますよ。僕はこの官僚というのは、この連中に対しては、眉唾物だと見ております。そういうような意味から、たいへん、島がだ

んだんだんだん沈んでくる。そしてこれがい
ろいろな爆弾の種類が打ち込まれてくる。こ
ういうことに懸念をしているわけです。

次に伺うのは4つ目の片道100キロのと
ころをドリスポイント回って航空運賃が高い
ということでありませう。執行部はこう言っ
ておられますね。仮に鳥島射爆撃場が返還
されてもJ T A側からは必ずしも賃金が低減
される要因はならないとの回答を得たと、こ
う言っております。執行部の皆さんがその
言葉の裏、根拠なるものを取りましたか。伺
います。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

前々回、宇江原議員の質問の中でも同じ
ような返還された場合、片道が100キロか
ら短くなる分、燃料費の削減によって航空
運賃が安くなるんじゃないかということ
でご質問あったと思います。私自身、赴
任してからまだ確認はしていないんです
が、いろいろ過去の担当課長等に聴取し
た部分に関しては、一概に距離が短くな
ったからということで、その運賃に全
面的に跳ね返るのではなくて、着陸す
るためにはどうしてもドリスポイント
を通っていかないといけない部分と各
訓練空域があるんでどうしても、その
空域自体を迂回していかないといけな
いということで、必ずしも料金の低減
に結びつかない。試算したあとでな
いと航空会社としては答えられない
ということをお聞きしております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

この件については私はもう何年も前
から追求してきましたが、皆さん方は
これご覧にな

っていますか。これJ T Aの資料なん
ですよ。これの中にJ T A、R A C、
ルートマップと、こういうのがあり
ます。沖縄本島的那覇から慶良間
列島のずっと南をとおってドリス
ポイント通って、今度は又上がって
いくわけです。だいたいぶ旋回して
いく、これがこういったかたちで
飛行しているのは久米島だけなん
ですよ。なぜかということに疑問
を持っています。私は今まで柔ら
かく皆さん方に質してきましたが、
こういったものを勉強していくと、
やはり久米島というのは異常だ
なと、こういうふうなものを実感
しております。町長J T A、R A C
のドリスポイントを遠回りしている
のは、先ほど言ったように久米島
だけなんですよ。そしてしかも50
キロ多く飛んでいるんですよ。直
線コースでは100キロ。私も経験
ありますが15分で着きます。と
ころがドリスポイント回りすれば
30分近くかかる。これだけでも
足し算引き算分かる人であれば直
線コースで100キロ飛んで行く
べきものを150キロ飛ぶ、15分
時間を有するのが約30分近くも
要すると、これは誰が見ても高
い運賃になりますよということ
です。

私も何回か、以前にもJ T Aの
幹部にもそのことについて尋ね
ましたが、非常に歯切れが悪い。
ただこういうことも言っていました。

鳥島射爆撃場がない方がいいと、
こういう言葉もいただきました。
だからその意味は何かということ
も私は直感では感じてはいるん
ですが、あとあと、それは質して
いきたいと思っております。

そしてもう一つ長い距離をいく
ということは想定しているのは
渡名喜村の入砂、これがあるか
らじゃないかと思いますが、これ
があつて鳥島射爆撃場が返還
されても運賃の低

減には繋がらないと、こういう言い方をしている人もいますが、それよりも先に自分の目の前のハエから追っ払えばいいんですよ。段階的にそういうようなものをもっていくと、こういう認識が必要ですよ。場合によってはJ T Aの幹部を議会と執行部の参考人として、招致したらどうかなということまで考えております。

鳥島射撃場の問題の根底であるのは、私は普天間基地の辺野古移設問題と同じく人口の少ない反対の声を上げにくいところに押しつけていることなんです。つまり弱者いじめなんです。そういうことを私は認識する必要があるだろうと思っています。

次に、第2のコンクリート護岸の撤去についての再質問でありますけれども、謝名堂側の工法は測量設計業務が発注されていないことから協議はされていないということです。私は自分たちが住んでいる地域を、土木建築部に任すなとこう言いたい。河川についても町のイメージ図、想像図を作ってもらいたい。

平成15年1月1日に施行された自然再生推進法の制定趣旨は1つ生物多様性の確保を通じて自然と共生する社会の実現と地球環境の保全。2つ目は地域主導のボトムアップ型を進めるとしています。私が心配しているのはこの法律を無視して、県が独断専行でやるんじゃないかなということでもあります。それでこういう自然再生法の趣旨を十分理解しながら町の河川の自然再生マップを作成して、県の方にも提示していただきたいと思います。課長と町長、答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

町長答弁にもありましたが、防災マップの中には土砂、洪水、津波、高潮しかありません。避難箇所、今、宇江原議員が言ったみたいな河川、洪水、氾濫とか、その危険度によって、例えば河川地域1級、2級、その他については一応マップは必要かと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

海岸線についてもお互い議論を交わしながらいろいろと良きマップを作っていただきたいと思っております。

次に第3の真謝の天后宮の対聯に関しては、答弁のとおり、ぜひ町文化財保護委員会における積極的な協議と行動を取ってもらいたい。また天后宮の改修についても前向きな意見で、県に対応していただきたいと思えます。このように文化遺産の復元によって、町の活性化と精神的な依拠が諮られると思っております。町長と教育長、バットは振らなければボールが当たりませんよ。積極的に相手の方とも協議しながら、ねばり強く対応していただきたい。私も力になれるならそのようにやっていきたいと思っておりますので、ひとつよろしくをお願いします。

ここで教育長の対聯に関するものと宮の改修それについて意見があれば伺います。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

宇江原総清議員のご質問にお答えします。まず1点目、町民に天后宮の歴史認識をさせることについてということなんです。対聯の歴史認識につきましては、文化財保護委員

会の協議の後、町の見解を周知して、今回、町の広報誌等で広報したいと思っております。

次、奉祀についてなんですが。これにつきましては天后宮は地元ではブサードという事で呼び慕われております。ウマチーの開催場所としても利用されて現在も利用されております。また先人たちが冊封使一行を救出したという証としても今後も大切に保存していきたいと思っております。

改修につきましては今月の3日に博物館の文化担当者が県の文化担当者と天后宮のこれまでの修理履歴を確認したあと、実際に天后宮の状況調査を行っております。

調査の結果、専門業者に再度調査させ最終的な修理箇所を調整していく予定です。現在の状況として壁対、壁には強度がありしっかりしているということです。ただ屋根の瓦は葺き替えした方が良いのではという指導がありました。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ぜひ実現を見させてほしいと思っております。今、神仏とか自然に対する畏敬の念が失われてきていますよ。ぜひそれを復活させて精神的な心のより所とさせていただきたいとこういうふうに思っております。

それから第4の久米島一周線道路拡張工事の件ですが、答弁では当銘土木建築部長へ要望書を提出したとのことですが、県の記録にも具体的に掲載されているのか。また県の班長クラスも、このことについて承知しているのか伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

現在の南部土木事務所では把握されておられません。そのあと本庁に行って計画調査班長と以前に計画はされたというのは認識はされております。但し、球美中学校の前の道路の規格で、そのままのラインで基本設計、宇江原議員もわかりますとおり、くい打ちあの写真を証拠写真として本庁へ持って行ってこういうふうに行われていますよと、これ2008年頃やられているんですが、この規格の道路はできませんと、今、県本庁から言われているのは、歩道整備をやりたいと両サイドですね。そういうことで今調整をやっている最中でございます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ぜひ町長と一緒に強く要望をしていただきたいと思います。

第5の真泊部落の避難道路と駐車場等の計画についての再質問であります。この区域を避難場所として指定されていますが、同時に文化自然公園の発想も持って欲しいと、私は思っております。計画図もこれは作成して県に提示すべきではないかというふうに思っております。全体的にそうですが、本町の仕事というのはオートメーション化して、部品を作れば良いというような形であると私は感じております。そうでなくて物づくりの喜びというのを体感で感じてほしいと、こういうことを要望いたします。そのためには積極的な行動を期待したいということです。このソナミというのは前にも説明しましたが、非常に風光明媚な場所でもあるんです。しかも、

そこには涙石とかヒータティ石、こういった歴史文化がある。昔はヤブツバキ、これもたくさんありました。クロキも上等なのがいっぱいありました。私も一部取ったんですが、そういったものを、例えばツバキの森にするとか、こういうようなかたちで再生していくということを、ぜひやってもらいたい。避難道路と同時に、そこは自然公園ですよと文化的自然的公園ですよというようなイメージを持つような対応をしてほしいということを町長の答弁を求めたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

宇江原議員の思いも実現するように、私も担当かと上手く調整しながら防災面においては非常に重要なものと思っておりますので、これはまた再度内部の方でも調整して推進してまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

これで宇江原総清議員の質問を終わります。

(宇江原総清議員降壇)

続けていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員の発言を許します。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 10番 饒平名智弘議員

2点ほど質問します。那覇、久米島間の航空運賃について。現在、島民は県の補助で離島カードを利用し、安く乗れている。しかし、離島カードのない久米島出身の子供や親戚、友人などは島に帰って来たくても、航空運賃が高くて帰ってこれないという声がとても多く聞こえる。町は、J T Aや県に島外の方々

にも航空運賃を安くする要請をもっと強く行い、実現に結びつけて欲しい。

2点目、鳥島射爆撃場の早期返還を。鳥島は実弾射撃がずっと行われている為、島の原形がなくなりつつある。この状況が今後も続くと島そのものが無くなるのではないかと私は思う。かつては、魚がたくさん捕れる漁場であったと聞く。現在はマグロ船の通り道にもなっている。久米島にとって、大事な場所であるので、早期返還を強く要望する。

また、鳥島射爆撃場の演習があるために、漁船や飛行機が遠回りしている状況にある。那覇、久米島間の航空運賃が高くなっている原因になっていないだろうか、町長に伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

10番饒平名智弘議員の質問にお答えします。まず1点目の那覇、久米島間の航空運賃について。小規模離島については、沖縄県が行っている沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業により、島出身者等を含めて、割引の対象になっていますが、本町は小規模離島に該当しないため、島出身者等は割引の対象とならず、航空運賃が割高となっています。また、宮古島、石垣島については、航空会社の自由競争により格安の運賃となっています。このことについては、平成25年7月25日付けで久米島町の離島住民航路運賃の軽減を求める委員会と賛同団体12団体連名により、8,931人の署名を添えて沖縄県知事及び沖縄県議会議長あて、久米島町も小規模離島に含めるよう要請をしたところです。沖縄県の回答は、

久米島を小規模離島に含めると年間5億円程度の財源が必要になる等の理由により困難であるとの回答でした。航空運賃の低減については、今後も他の方法も含めて、粘り強く取り組んでまいります。

2点目の鳥島射爆撃場の早期返還の答弁になりますが、鳥島射爆撃場は島の周囲を黒潮が流れ、環礁が発達し、豊かな漁場です。返還されれば観光や漁獲高の増により島に多大な経済効果をもたらしてくれます。鳥島射爆撃場の返還につきましては軍転協の最優先要請事項として位置づけられていますので引き続き、県・軍転協及び島内関係団体と連携しながら積極的に取り組んでいきます。航空運賃の問題は平成25年6月議会においても答弁しましたが、仮に鳥島射爆撃場が返還されても、J T A側からは必ずしも運賃が低減される要因にはならないとの回答がよせられております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

再質問を行います。町は今後も小規模離島に含めるように県へ要請は引き続き強く行ってほしい。また、島民の航空運賃の割引は県の補正で成り立っています。決してJ T Aが航空運賃を宮古、石垣に比べては安くはしてないと思います。また、J T Aにはぜひ企業努力はしてほしいと思っております。宮古島や石垣島は航空会社の自由競争により格安の運賃になるといっていますが、J T Aは宮古や石垣路線のように安くしても採算がとれるのであれば、久米島路線にもぜひ採算がとれる低額まで下げることは可能ではないかと

思う。

町はJ T Aへ運賃の低額を強く要請してほしいと思いますが、町長の考えを伺えますか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。先ほど述べましたとおり、12団体が連名で要請はやりました。実は私、早めにもう1回、その団体集めて要請する必要があると思っています。その他、この間、球美の日の時にJ T Aの役員の金城さんが見えておりましたが、彼にも新たな久米島の今の運賃を解消するために、もっと知恵を出して商品をつくってもらいたいという要望をしました。向こうも検討するということがありますので、要は、県が今財源が一般の皆さんも全部フリーに離島割引きを対象にした場合は5億円から8億円かかるということも言っておりますので、それを何とか工面してもらいたいという要望を、できたら10月いっぱいに関係団体集まって再度要請したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

いま町長からもこの件も努力するという話を聞きますが、結果的にこの3、4年、何も出ていない。宮古、石垣は安いときで往復1万円を切るという話も聞いております。久米島は往復で1万6千円ぐらにかかっています。宮古は定額では4万円ぐらいの料金が1万円を切っている。久米島は1万5、6千円から1千円、2千円しか安くしていない。私が一番思うのは、J T Aになんで宮古、石垣はこんな安くして引き合うのに、この久米島は引き

合わないのかということをもっと強く要望すべきだと思う。久米島は距離も近いし150ですよ。石垣400、宮古は300kmぐらいある。それなのにただ競争がないことで、この久米島だけが高いというのはとってもおかしい話なんですよ。競争がなければ独占していくらでも高い料金をやっていいのかという話になっており、町長もっと頑張ってJ T Aには粘り強く飛行機運賃の低減は要望すべきだと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

皆さんもご承知のとおり、J T Aが赤字になった場合、最高4千万円ぐらいだったかな。町が負担しております、赤字補填をですね。今現在はR A Cが飛んで、R A C社は黒字、その黒字でJ T Aが飛んでる分の赤字を補填して、いま町からの負担は出ておりません。これを一定料金にやった場合、トータルで赤字になった場合、それもまた行政が負担するかたちになります。そのへんの判断ももう少し考えながらやっていきたいと。ただ、要望すべきものについては、J T AはJ A Lのホームページ上でインターネットで早割、特割の運賃を安いのを買える仕組みに、これは改善してきています。それも一般の皆さん、特にお年寄りにはなかなかできませんので、そのへんまた我々としても、もっといい方法がないのか、そのへんも含めて検討させたいと思っております。議会も一緒になってこの運賃軽減については再度要請は一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

町長から早割、特割という話が出ました。これに関しても久米島は全然優遇されていません。宮古、八重山は3日、4日で1万円、7千円とかある。久米島は9千円ぐらいなんです。元の値段が久米島は半分以下なんです。この久米島が高いというのは本当におかしい話です。課長、この料金設定、石垣はいくら、宮古はいくら、久米島はいくらが最高になっているのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまの件ですが、まずJ T AとR A Cの料金設定だけに関して申し上げます。皆さんもご承知のとおり、普通運賃については那覇ー久米島が1万2千700円、那覇ー宮古が2万900円、那覇ー石垣島が2万8千100円となっています。これに対して運賃は月々によって変動がありますので、8月18日の料金で調べてみましたら、那覇ー宮古、那覇ー石垣島で一番安い運賃が4千500円となっています。これについては特便割引21というのがございまして、21日前に買うと、これだけの金額で買えるということがあります。この特便割引1と3と21があるんですが、この3つについては宮古島、石垣島はあるんですが、久米島にはないということで、この分が各航空会社の自由競争に対応するための料金設定となっております。

これに対して久米島は先得割引というのがあります。これは28日前に買うやつがあって、これが9千200円、最も安い航空運賃となっています。従って、比較するならば9千200円と

4千500円を比較すると久米島が割高であるということになっています。

因みに現在の離島住民等交通コスト負担軽減事業による住民の運賃は5千100円、そんなに大きな差はないんですが、住民以外の皆さんからみれば非常に航空運賃の割高感があると思っています。

先ほどの数値はJ T AとR A Cに限っての数字でございましたが、それ以外の航空会社も含めると、これは1カ月後で調べてみると、那覇－石垣、那覇－宮古ともにスカイマークの3千900円というのがございます。これに対して全航空会社含めて、久米島も含めると、久米島は最も安いものが7千800円となっています。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

この件に関して町長に伺いますが、今の課長が言ったこの料金設定、早割とか、それを聞いて町長はどのような認識をもって、これからどうしたいかというのをぜひ伺いたいです。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど担当課長から料金の細かい説明がありました。私は今のままの要請ではJ T Aグループがなかなか首を振らないということになりますので、新たな航空会社の参入、これをもう少しちゃんとしたコンサルを入れて、その試算、計画表を立てて、第2の航空会社が参入できるような環境整備をやろうかなという考えをもっています。あくまでも1社のかたちでは、宮古、石垣のような料金設定を

僕は絶対やっていかないと思っております。

そのへんを含めてもう少し時間かかりますが、そういうことも視野に入れてやっていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

いま町長から答弁ありますが、この久米島は、島外から来る人が本当に少ないです。観光にしても競争できる料金ではない。島の活性化のためには、島民だけが安く乗れるんじゃないなくて、島外の人でも安く来れる島にしないと、絶対この島は活性化しないと思う。言葉は悪いんですが、みんな飛行機乗って金は那覇の方でつかってるような感じがします。那覇からの久米島に金をつかう人があまりいないです。そのへんも含めて飛行機運賃はぜひ安くしないとこの久米島の活性化はないと思います。

次に、鳥島射爆撃場についてなんですが、宇江原議員からもいっぱい言われて、私が言うのは少ないんですが、町長に、鳥島射爆撃場の返還要請に対する取り組みとして具体的にどんなことをしているか、また軍転協の方にどういう働きをしているのか。それと、県や軍転協に任せっきりじゃなくて、町も早急に鳥島が返還できるように取り組んでほしい。さもないと島そのものがなくなる可能性があります。私は5、6年前に見にいったときに本当にショックを受けました。沖縄防衛局に任せることなく久米島町としても島の写真を撮り、測量したりして、それを元に県に返還要求を強くやってほしいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの再質問にお答えしますが、軍転協というのは具体的に申し上げますと、軍用地を保有している市町村が加盟している団体であります。これは以前までは国の方に鳥島射爆撃場の返還要請については文言に入っておりませんでした。これは前町長の時に強く要望して、その要請事項の返還の一部に含んでおります。これは大きな進歩だったと思っています。これは現にその防衛局または国には内閣総理官邸に直に総理大臣に要請します。私も2回ほど民主党の菅総理の時代に直接私の言葉で、この射爆撃場の返還を求めるということを強く要望しました。そういうことで明らかに文言の中に要請事項の一つとして入っておりますので、これは今後とも継続して強く、総理が代わろうが、また再度発言できるような取り組みを進めてまいりたいと思います。

一番共通してもらいたいのは、島ぐるみでやれるような仕組みづくり。そしてこれが返還がなければそれに伴ういろんな要求をしていくと。今いろんな交付金、8条9条交付金の予算も実際はもらっていますので、そのへんも全体的なバランスを考えながら判断していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

私も、この資料をもらったんですが、はての浜かなと最初思った。普通に島には見えない。もうこのぐらいこの島は砂漠化してると思うんです。それに対して町長はどのような認識であるか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

実はこの写真もこの間、防衛局から毎年報告も義務づけております。その一部参考資料としてもらいました。これでも分かるとおり、砂の色については、はての浜も一緒ですが、台風のある年、ない年では砂の動きも変わってきますので、その若干の動きはあります。ただ航空測量を入れた場合の高さについてはこの4年間さほど変化はないということを聞いています。干満の測量する時期によっては若干の面積が動くということも事実あるようですので、そのへんは我々としても理解していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

分かりました。

次に、飛行機運賃に関してなんですが、入砂、久米島鳥島射爆撃場があるがために、那覇と久米島は約100kmぐらいしかないですが、実際は飛行機は150kmぐらい飛んでいる。時間も燃料も余計にかかっていると考えられる。そのために航空運賃が高くなっている一因ではないかと私は思う。また、久米島町は実弾演習の被害を受け、また、航空運賃も高い、久米島町は大変な思いと、とても大きい負担をしていると思う。そこで私は町長に、この演習場があるために久米島の飛行機運賃も高いということをもっと国や県に町民の声として積極的に伝えてもっともの言うべきだと思います。

ちょっと話は飛ぶんですが、飛行機運賃が宮古、八重山より高いこと自体がとてもおかしい話で、演習場があるために飛行機の迂回

もしないといけないという絶対要因があると思うんです。そのへんも踏まえてもっと鳥島射爆撃場、久米島射爆撃場に対してもっと強く、迷惑してるということはもっと言わないと駄目だと思います。そのへん町長としてどう思いますか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど担当課長からもありましたが、さっき出たようなドリスポイントの周り、一定の角度から進入していくというのが基本原則らしいので、そのへんが今の訓練場との関わりがどうなのか、もう少し分析しながら判断したいと思います。会社側としてはその角度を保つために迂回も必要と言われておりますが、それが果たして本当のものかどうか、もう少しこのへんもですね。出来るのでしたら私はJTAの幹部を招へいして議会と執行部も含めて意見交換したいなど。今後の役員会の中でそれを提案していきたいと思います。お互いがいま、それぞれの思いで誤解もありますので、それが事実がどうなのかというのを働きかけていきたいと思っています。

一番僕がいま気になるのは、島出身の皆さんが観光ではなく里帰りの時に非常に負担がかかると思うんです。観光の皆さんは格安料金の商品の中で観光に来ておりますので、そんなに影響はないと思います。島出身の皆さんが16日、盆とかに来るときに5、6名いたら10万円以上かかるというような負担になりますので、そのへんをどう商品調整できるかというのもJTAの職員にも投げたいと思いますので、それがもう少し解消できるような取り組みを早めにやっていきたいと思いま

す。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

だいたい話は理解はできますが、鳥島、久米島射爆撃場に関しては、たいへん迷惑がはかかっております実際に。本当に音もすごい。飛行機の騒音もすごいし、飛行機運賃も高いということで、もっと国、県にものを言わないと絶対に分からないと思う。町長には、いつも口酸っぱく言って、そうすればもっといい方向に向かう可能性もある。最後に、私、この鳥島は見て本当に大変だと思う。先輩の宇江原議員も言っていますが早期返還を町民上げて取り組むべきだと思うが、町長の考えを伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

饒平名議員の今の最後の言葉にもありましたが、私はもう一つの方法として、久米島選挙区の県議の皆さん3名ですよ、いま、招へいして、これも地域としての行政事項としてやりたいと思っています。それと関係する国会議員の先生方も含めて、今後その問題を解決するためにやっていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

これで饒平名智弘議員の質問を終わります。

(10番饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

次に、9番崎村正明議員の発言を許します。

(9番崎村正明議員登壇)

○ 9番 崎村正明議員

議席番号9番崎村正明です。饒平名議員と重複するところもありますので、ご了解下さい。答弁内容によってはしつこく質問させていただきます。

航空運賃の低減処置について。久米島～那覇間の航空運賃が宮古島、石垣に比較して、かなり高額であるがどのように認識しているか。そして、今後の対応処置はどのように考えているか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

9番崎村正明議員の航空運賃の低減処置についての質問にお答えします。久米島～那覇の航空運賃については、割高感が強く、結果として観光客や島出身者等の久米島との交流を阻害している要因となっているものと認識しています。現在の航空運賃制度は、航空各社の自由競争により値段が決まるようになっていて、そこに行政が介入する余地はありません。行政は自由競争が起こるような環境作り、すなわち、複数の航空会社を就航させる取り組みが必要だと考えています。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

ただいまの答弁によると、久米島～那覇間は割高感が強く、結果として観光客や島出身等の久米島との交流を阻害している要因となっているものと認識しています。と答弁をいただきました。まさにその通りだと思います。私も航空運賃の高額さに大きな要因があると思っております。

また、お盆などで帰省した島外在中の方、観光客の皆様からもいろいろな場所で航空運賃が高いということで苦言を言われました。久米島町の議員は何をしているのか。久米島町の職員は何をしているのか。執行部の皆さんも言われたことありませんか。その件について町はどのように考えているか。対応策と最近の観光客入域数の統計的な数字はどのような状況か伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

崎村議員がご指摘の観光入域客の低迷についてはいろんな要因がございますが、まずここ3年の観光入域の推移をご報告します。平成23年度、これは東日本大震災が起きた年でございます。これにより過去最低の7万9千651人まで激減いたしました。そして平成24年度は8万3千94人、平成25年度が8万7千421人と順調に回復してきておりまして、今年度平成26年度の目標は9万2千人となっております。ほぼその目標に向けてこれまで順調にきております。

航空運賃の問題については、先ほどの饒平名議員、崎村議員のご指摘のとおりでございますが、久米島町の割高感というのは非常にみんな強くもっています。

先ほど町長からもご答弁がございましたが、これまでの取り組みとしては離島住民等交通コスト負担軽減事業の町民への適用についてもございますし、続けてやっていかなければいけませんし、あと複数航空会社の参入に向けても、これからかなりハードルは高いんですが一つひとつ粘り強く取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

ただいまの答弁によりますと、数次的には観光入域者数は前年比では順調に増加傾向になっているが、もちろんその数字には町民はふくまれていないと思うんです。我々町民が利用する航路、海路、逆に我々が町民が利用する航路、海路、どのぐらいの人が利用するか。把握できていればいいんですが、答弁をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

平成25年度の数字で申し上げますと、一般定期便だけで入域が海路が2万5千165人、空路が11万2千510人となっています。これは定期便だけです。若干チャーターとか季節運行の路線がございますが、定期便ではただいま申し上げた数字でございます。これは片道、入ってくる分だけでございます。往復というとその2倍になります。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

この件に関しましては後ほどの質問に関連性がありますので質問いたしました。ちょっと重複しますが、饒平名議員の答弁内容からピックアップしていただくんですが、沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業の要請を行ったようですが、本町は小規模離島に該当しないため島出身者等の対象にはならないようですが、該当する条件と該当しない条件の説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

沖縄県では小規模離島の定義として、公立高校があるということと、公立病院があると、その2つの条件がないところが小規模離島に該当する。あるところは小規模離島に該当しないという定義でやっております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

ということは久米島は中核ということで考えてよろしいですか。というのは公立病院というのは何床でしたか、30から40ぐらいの病院だと思っております。ほとんどが本島の病院で入院している方が多いと思っております。更に高校の進学ですが、約3割ぐらいが島外の高校へ行っているこういった現状を説明できなかったのかを答弁お願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまのご指摘の部分については、久米島町の空路運賃の軽減に関する要望書の中で文章化してうたっています。読み上げます。沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業では高等学校や中核病院のない島を小規模離島と定義して、小規模離島については交流人口を負担軽減の対象としている。要は観光客も郷友会も含めて対象にしているわけです。久米島町には公立病院が設置されているがお産もできない病院、簡単な手術ができない病院を中核病院といえるのか甚だ疑問である。少なくとも中核病院とは県立北部病院や宮古病院、八重山病院程度の機能を持った病院を中核病院と呼べるものと考えている。

また、高等学校についても県立久米島高等学校が設置されているが、学科が2学科しかないため30%前後が島外の高校へ進学している状況であるというようなことで、この現況の違いを強く主張してきました。今後もこれは粘り強くやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9 番崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

この件に関しては、とりあえずしつこく要請行動で、行動で示してもらいたいと思えます。

更に、割引運賃で一部どのような割引、例えば一部実現したという、どんな割引があるか説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

割引運賃につきましては、現在の離島住民等交通コスト負担軽減事業につきましては、元々平成22年度以前に元々あった離島割引というのがございます。これは航空会社の努力でやっていた分です。離島割引というのがございました。その料金が8千400円となりまして、これに対して、いま県が一括交付金を活用して片道3千300円を補助しまして、8千400円－3千300円が今の5千100円の離島住民等交通コスト負担軽減事業の運賃となっています。

それ以外の割引については航空会社がそれぞれ設定していますが、先ほど饒平名議員のご質問でお答えしましたが、宮古島、石垣島については特便21とか特便3とか特便21とかいう多様な割引制度があるということで、

本町にはこれらの割引がないということでもありますので、この割引制度の拡充についても今後また航空会社に対して粘り強く要請していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9 番崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

先ほど町長でしたか、先特割引と特便割引があると誰かから説明うけたんですが、そのへんもう一度すみませんが、説明を。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

類似の割引があってもちょっと分かりづらいんですが、先特割引というのは久米島にも提供されているんです。これは久米島町が9千200円、これは8月の料金です。そして宮古、八重山が4千200円から6千500円の間、一番安いのが4千200円です。高いのが6千500円。石垣島がこの先特割引が一番安いのが4千300円から高いのが6千200円。同じ割引制度であっても割引率がかなり違うということがございます。

○ 議長 喜久里猛

9 番崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

次の質問に移りたいと思います。宮古と石垣あたりは多数の航空会社の競争とかなり安い割引運賃で非常にメリットを受けているが、久米島だけが取り残されていると思えます。航空運賃の問題は抜本的には解決策というのは航空会社の競争の導入が不可欠だと考えていますが、J T A以外、例えばANA、スカイマーク、ピーチ、他の航空会社への要請行動と引き続き各種割引運賃の設定の要

請、離島住民等交通コスト負担軽減事業への要請は同時進行し取り組んでいかなければならないと思うが、今後可能性はあるのか答弁をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

出来れば早いうちに今後は久米島町航空路線問題対策協議会を立ち上げて、この問題に取り組んでいきたいと思えます。これは町内の行政機関、各種団体それぞれ網羅して組織して、そこで総決起大会なりを開催して、その決議を携えて運賃の低減の問題であるとか、離島住民等交通コスト負担軽減事業の適用の拡大の問題であるとか、あるいは複数の航空会社の参入の機運づくりに取り組んで対応していきたいと考えています。

それから、複数の航空会社の参入にあたっては、どうしても航空会社が参入する条件づくりが必要であります。その1つが、まずは久米島町の魅力を高める。要は久米島町に旅客の需要があれば供給も出てくる。これは卵が先かニワトリが先かという議論にもなりますがその反対も言えるということで、まずは久米島町の魅力づくりを増やす必要があるだろうと思っています。いま1年間の航空の利用者が22万6千261人です。飛行機の利用者です。往復で22万6千261人ですが、これが搭乗率が70%ぐらいです。やっぱりもう少し搭乗率を高めていかないと複数の航空会社が参入してもこれはもたないということです。

それから、もう1つは、町民の団結というか熱意というか、そういった熱意がなければなかなか非常に大きな課題だと思っていますので、町民のもう一つの航空会社を入れると

いう取り組みが必要だと思っています。

あとは、ハード面においては給油施設の整備であるとか、そういったものも必要になってきます。

戦略的なもの、先ほど町長の方からコンサルの活用というのがございましたが、これも一つの戦略的な取り組みとして専門家の力が必要になってきます。あとは沖縄県との連携。これについても今月の17日に第1回目の県の観光振興課の方と勉強会をやる段取りで進めていますので、沖縄県との連携ですね。これはなぜ沖縄県との連携が必要かという、沖縄県の観光振興計画、平成33年度までに1千万人を達成するという目標を掲げていますが、その1千万人を達成するには那覇空港だけでは駄目なんです。直接本土あるいは外国から宮古、石垣、久米島の空港に直接はいる路線も開設していかないと、この1千万人の達成は難しいところがございますので、そういったことも含めて、やっぱり町民が一体となって取り組めるような組織づくりも含めてやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

ただいまの答弁で航空会社の要請は条件整備をしてからということで理解をいたしました。

次、引き続き現状というか、引き続き割引運賃と離島住民等交通コスト負担軽減事業の要請はいつを予定しているのか、答弁は明確にお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

この2つについても、久米島町航空路線問題対策協議会を立ち上げて、その中で雰囲気盛り上げて、その決議文書なりを携えて航空会社、沖縄県も行った方が効果的でないかと考えていますが、それはまた皆集まってご相談の上、方法については詰めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

ただいまの課長の答弁はあまり私に熱意が伝わりませんので、これはやはりリーダーである町長の政治力だと私は思っております。政治の力でなんとかできないものか、町長の答弁を期待しております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほども申し上げましたが、いま担当課長からもあったとおり組織づくりをして、それでもってお互いが共通認識の元で、出来ましたら10月いっぱいぐらいには航空会社、県に要請したいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

11月に県知事選が控えております。その前にぜひしつこく要請した方が私はいいいと思っております。

複数の航空木社を就航させることにより自由競争も生まれ、航空運賃も安くなり、更なる割引運賃と離島住民等コスト負担軽減事業への交流事業への拡大もクリアすれば観光客も多くなり、島出身の帰省も多くなることにより交流ができ、久米島の活性化になると

思うが、ぜひ実現に向けてやる気、本気を出してほしいと思います。

ここからは付随しての質問をさせていただきます。旅行社の観光誘致は今までのやり方は旅行社独自のホームページを作成して誘客するかたちをとっていましたが、最近ほとんどインターネット予約で旅行社を通さず自分で予約するという最近のかたちとして変わってきているようですが、対応策はできているのかお伺いしたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいま崎村議員がご指摘のとおり、最近インターネットを通して旅行を申し込むというスタイルはかなり増えてきております。本町につきましても平成25年度からウェブプロモーションを実施しております。これは具体的に申し上げますとじゃらんネットに広告を出して、そこから飛行機の申し込み、宿の申し込みをしていくというタイプのものがございます。これをいたしました。これだけの結果ではございませんが、結果としてインターネットを通して旅行に来た方が3千名ぐらい25年度増えています。前年度に比べて増えています。

今年度のつきましては、じゃらんだけではなくて楽天トラベルも含めて両方にウェブプロモーションをかけております。両方に広告を出して、そこから久米島に申し込みができるかたちでやっております。

そのウェブの中にフェイスブックとかいろんな工夫がございますが、そういった取り組みを行っています。今後とも、26年度については両方かけて、ここまでのところは非常に

伸びてきているという報告をホテルから受けております。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村 正明議員。

○ 9 番 崎村 正明議員

久米島の新しい情報を発信し、観光振興につなげてほしいと思います。

平成24年度に中央ツーリストが撤退し、航空券の購入が空港か、インターネットを利用して航空券を購入する方だと私は思っておりますが、高齢者の方は大変だと思うが、旅行社を誘致する考えはないか、ご答弁お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

中央ツーリストが撤退した後に、実際、非常に不便になっています。全てというわけではありませんが、ほとんど空港のカウンターで買わなければいけないということで、特に仲里地区は非常に距離がございますので遠いということでもあります。

平成25年度だけでみると、1年間で空港で発券したチケットの数が7万7千ございます。これは往復で7万7千になりますが、ほぼ8割ぐらいは空港で買っているという計算になります。それだけ若い人についてはインターネットで予約してから空港に行きながら買うということで、それほど不便は感じないかもしれませんが、お年寄りの方、インターネットを使えない方については、今ご指摘のとおりたいへん不便を感じているということで、以前の議会でもご質問がございましたので、それを踏まえて、今、ある旅行社と場所と町の施設を使ってどうかということで打診をして

いますが、今、チケットを売っても航空会社のキックバックが2.5%しかないんです。1万円売っても250円しかないということで、仮に1万件売ったにしても250万円しかないということです。ですから1人の人件費もないということで非常に厳しいところです。

更に加えて、新たに旅行者登録をすると航空会社と取り引きする場合高くなる、保証金が必要になってくるということもありまして、既存の旅行社の支店として、町の例えばイーフ情報プラザだとかの一部をつかってできないかということをしているところなんです。それに併せて旅行業管理者の資格をもった人が必要ですので、これについては全県募集をかければどうにかできるんじゃないかと思っておりますが、そこも含めて大きな2つの課題がございますので、今後とも実現して少しでも町民の利便性が高めることができるように取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村 正明議員。

○ 9 番 崎村 正明議員

ただいま課長の答弁にいろいろと、旅行社というのは航空券の販売だけの代理店ではないと思うんです。例えば、旅行社は航空会社、ホテル、レンタカー、観光施設などと契約し、ツアー商品、ホテルパックなどを企画するのが旅行社だと私は考えております。例えば那覇から宮古島、航空券運賃の往復でノーマルで3万4千200円、これは往復割引です。ホテルパックだと1泊2日で1万4千800円、これは往復の航空運賃、ホテル代、朝食がついております。そして那覇から石垣、ノーマル料金で4万4千600円、ホテルパック1万5千800

円、それも全てホテル、朝食、飛行機代も含んでおります。那覇から久米島、航空運賃の往復でノーマル料金で2万1千円、ホテルパックにすると1万2千800円。これだけの料金を泊まれるんです。

旅行社というのはそういった契約して売り上げを伸ばすのが本来の目的だと私は思うんですが、今知りたいのは、例えばそういった料金設定のいわばノーマルがそれだけ高いのにこれだけの計画ができるという、その航空会社とホテルとか、そういった観光施設だとか、そういった料金設定のからくりとか、システムが分かる方がいればご説明お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ホテルパックの仕組みということですか。ホテルパックは皆さんもいろいろおつかいになっているかと思いますが、久米島で一番安いのが1万3千円とか1万5千円という商品がございます。これについては旅行社がその飛行機の席とホテルの部屋をまとめて仕入れ、あるいは契約して、それを組み合わせて販売してこの金額になっていると思います。おそらく1万3千円ぐらいでしたら航空運賃もおそらく往復で6千円とか7千円、宿泊代も4千円、5千円ぐらいで出しているかと思いますが、現実的にはそういった商品が出ています。これは各旅行社工夫してやっておりますので、細かいところは把握しておりません。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

旅行社を誘致すれば、もちろん高齢者もた

いへん喜ぶと思うんですが、町民が久米島から那覇に行くのがかなり安くつくと思うんです。こういったことを加味してとりあえず施設でも観光協会どちらでもいいんです要は、町を主とした施設を利用して旅行社を誘致しても私は採算性が取れなくしてもそれぐらいのサービスは私は必要だと思っておりますがいかがなものでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

崎村議員がおっしゃるように、確かに旅行社というのはチケットを売るだけではなくていろんなツアー商品をつくって、それを売ることによって収益を上げるということだと思います。確かに誘致することによって久米島発のいろんな商品がつかれるということにおいては、逆にまた町民の全体的な利便性も向上するものだと考えていますが、その参入するしないの判断は、久米島でどのぐらいの商品をつくって売ることができるかということがその判断になると思いますので、そこらあたりはそれぞれを誘致する旅行社の判断になりますので、こちらとしては出来るだけその条件整備ですね、町がどこまでお膳立てすれば来てくれるのかということで接点を探っていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

旅行社の誘致を期待いたします。

時間がかかなり余っております。最後に町長ちょっと目を合わせてほしいんですが、去った7月に国の天然記念物に指定された奥武島の経緯の説明と、8月二十何日でしたか、チ

ャーター便の運航決定について説明を受けまして私の一般質問を終了させていただきます。

(9 番崎村正明議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

関連ということで。

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

奥武島の壘石の天然記念物については先だってマスコミ発表があったとおり、また球美の日には現場で集合写真を掲載して、昨日の新聞でしたか取り上げていただきました。それによって、またそれに関心ある皆さんは県外からも見たいという気持で観光に訪れる可能性もあります。

あと1点、F D Aの新たな航空会社の参入ですね。これは2カ年前に大坂の事務所が音頭を取って久米島、宮古、離島に直行便を飛ばしたいという打診がありました。私が観光協会の会長をしている時分のそれがあって、当時その航空会社と県の職員が久米島へ来て、島のそれぞれのリゾートの現状の視察をさせて、久米島の観光スポットを全て回ってもらって帰っております。

その時にF D Aさんの航空会社は、久米島は商品づくりができるということで持ち帰って、そして内部での検討、そして旅行会社との交渉いろいろやってきております。それが今回実現して12月に8本飛ばす決定をしております。これは三角路線、直に静岡から久米島に来て、久米島で1日目を降ろしてくその日は返ると。2日目に来た飛行機が久米島でお客さんを降ろして、1日目に降ろしたお客さんを乗せて宮古に飛んでいくと、宮古で降ろして飛行機は回送で帰ると。3日目に飛ん

でくる飛行機が久米島に降ろして、宮古に飛んで、宮古に降ろしたお客さんをまた元の地に返すと、そういう三角路線を使って調整したのが今回の商品。これが成功すれば来年以降はもっと増便して、場合によっては僕の思いとしては、その地方空港から地域の修学旅行を呼べるような仕組みづくりまで展開したいなといま考えております。まずは第一段階、これは皆で歓迎して成功させて、今非常に魅力あるのは、離島から離島へ行って、三島、三角路線を回れるような仕組みづくりが可能ということに航空会社は魅力をもっているの、それはぜひ成功させたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

これで9番崎村正明議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れ様でした。

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号8番） 島袋 完 英

署名議員（議席番号9番） 崎 村 正 明

平成26年（2014年）

第6回久米島町議会定例会

2日目

9月10日

平成26年第6回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成26年9月10日 (火曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月10日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	9月10日 午後0時32分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	10番	饒平名 智弘	11番	山里 昌輝
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	上里 浩	
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長	保久村 学	
教育長	吉野 剛	建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	津波 実	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	真栄平 建正	
税務課長	上原 厚	消防長	上江洲 勝志	
福祉課長	田端 智			
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第6回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕
平成26年9月10日(水)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	77p
第2	議案第43号	平成26年度久米島町一般会計補正予算(第2号)について	77p
第3	議案第44号	平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	90p
第4	議案第45号	平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	91p
第5	議案第46号	平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)について	92p
第6	議案第47号	平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	92p
第7	議案第48号	久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例について	93p
第8	議案第49号	議決内容の一部変更について	94p
第9	議案第50号	議決内容の一部変更について	95p
第10	議案第51号	動産の買入について	97p
第11	認定第1号	平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	101p
第12	認定第2号	平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	103p
第13	認定第3号	平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	105p
第14	認定第4号	平成25年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定について	106p
第15	認定第5号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定について	107p
第16	同意第7号	久米島町固定資産評価員の選任について	108p
第17	報告第4号	平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	109p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。ただいまより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、10番饒平名智弘議員、11番山里昌輝議員を指名します。

日程第2 平成26年度久米島町一般会計
補正予算(第2号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第2、議案第43号、平成26年度久米島町一般会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

おはようございます。それでは議案第43号、平成26年度久米島町一般会計予算(第2号)の概要について申し上げます。

予算書をめくっていただきまして、平成26年度久米島町一般会計予算の補正予算(第2号)概要につきましましては、歳入歳出それぞれ4億715万7千円を追加し、総額81億7千256万6千円といたします

歳入歳出の主な内容についてご説明申し上げます。歳入につきましましては、予算書の6ページをお開き下さい。

9款、1目の地方交付税が3千894万1千円の増額となっております。内容としましては普通交付税において1千717万4千円の減額、特別交付税においては5千611万5千円の増額となっております。

また、普通交付税につきましましては、当初予算編成時には把握することができなかった補正係数や単位費用の増減に伴う減額となっております。特別交付税につきましましては、離島航路運航安定化支援にかかる町負担額への交付税措置分となっております。

続いて12款、1目総務費使用料では具志川改善センター使用料の過年度分として13万1千円を増額としております。

次に13款、国庫支出金では5千216万8千円の増額となっております。主な内訳としましては1項1目の民生費、国庫負担金で障害者医療費国庫負担金として510万円。3項1目の総務費国庫委託金で沖縄離島G空間シティ構築事業国庫委託金として4千500万円となっております。

次に15款、県支出金では8千541万8千円の増額となっております。増額の主な内容としましては7ページになりますが、1項1目民生費、県負担金で障害者医療費県負担金として255万円。2項1目総務費、県補助金の沖縄振興特別推進交付金が5千413万7千円。5目商工観光費、県補助金の多言語観光案内サイン整備事業補助金として2千160万円、地域観光資源創出支援事業補助金として593万2千円。3項5目土木費、県委託金の空港管理委託料として274万6千円となっております。

次に17款、1目の基金として275万円の増額となっております。

続いて18款、1目財政調整基金繰入金では

2千503万8千円を減額しております。

次に8ページになりますが、19款、繰越金では前年度繰越金として3億3千94万1千円を計上しております。

次に20款、諸収入として1千206万9千円を計上しております。内訳としましては1目雑入で公共施設の建物損害補償保険共済金として130万3千円、離島の低炭素地域づくり推進事業助成金として1千万円を計上しております。

次に21款、町債では9千22万3千円の減額となっております。主なものとしましては6目商工債の離島航路運行安定化支援事業へ充当する予定であった辺地対策事業債を1億220万円を減額しております。また7目土木債では水産加工施設関連道路整備に要する費用に充当する合併特例債を750万円を追加計上しております。11目臨時財源対策債を387万7千円を追加計上しております。

続いて歳出について主な説明を申し上げます。9ページになりますが、1款、議会費では85万2千円を追加計上しております。内容としましては議員視察研修旅費となっております。

続いて2款、総務費、これ10ページになりますが、2億7千360万9千円の増額計上となっております。増額となった主な内容は11ページの1目一般管理費の非常勤職員事務事業において臨時職員にかかる社会保険料として313万7千円、基金運営事業では財政調整期金への積立金として1億7千24万4千円。3目財産管理費の公共施設等総合管理計画策定事業としての委託料、これは12ページになりますが、300万円。また13ページの14目プロジェクト推進室のふるさと納税基金への積立金として

250万円。

次に14ページになりますが、総合計画策定に係る委託料580万円、離島の低炭素地域づくり推進事業に要する旅費44万6千円、委託料1千5万4千円、久米島高校魅力化を推進するために実施する外部専門家招聘事業として委託料556万3千円、沖縄離島G空間シティ構築事業として旅費37万6千円、委託料4千510万円を計上しております。

次に25ページになりますが、3款、民生費では1千183万円を計上しております。主な内容としましては、1目社会福祉総務費で国民健康保険特別会計への繰出金として207万9千円。

26ページになりますが、3目障害者福祉費で更生医療事業にかかる扶助費として1千20万円、障害者福祉計画策定にかかる経費として委託料151万2千円。

また27ページの方になりますが、高齢者保健福祉計画策定にかかる経費として127万8千円となっております。

次29ページになりますが、4款、衛生費では794万1千円の計上となっております。主な内容としましては、2目予防費の予防接種事業において公立久米島病院へ予防接種業務を委託するために必要な経費の医薬材料費を511万4千円を減じ、委託料に1千124万8千円、計上しています。

30ページの2目環境衛生費について、クリーンセンター運営事業では運転管理委託料として157万6千円を組み替えにより計上しております。

続いて31ページになりますが、6款、農林水産費では1千761万3千円の減額補正となっております。減額となった主な要因としまし

ては、5目農地費の農地管理事業では団体営水質保全対策事業として130万円。

平成27年度新規採択希望地区調査業務委託として45万円、カンジダム遊歩道改修工事と銭田川浚渫にかかる工費として合わせて275万円を計上しております。

また33ページの林業振興事業では委託料150万円を手数料39万円そして賃借料へ76万円、備品購入費で35万円組み替え補正を行っております。

次に34ページの2目水産振興費の水産加工施設関連道路整備事業にかかる委託費300万円と工事費2千70万円を減額し、土木費へ所管替えしたことによります。

次に35ページになりますが、7款、商工費では3千141万3千円の追加計上となっております。主な内容としましては2目商工費の海洋深層水開発支援事業において、ふれあい館の冷房修繕費として77万円、3目観光費の県補助事業として実施する多言語観光案内サイン整備事業にかかる委託料400万円、工事請負費2千万円を計上しております。

また35ページの下の方から36ページになりますが、地域観光資源創出支援事業としまして旅費12万5千円、広告料69万6千円、委託料577万1千円を計上しております。また5目の道路バス運営事業ではバスの修繕にかかる費用164万円を計上しております。

続いて37ページになりますが、8目土木費では5千9万5千円の追加計上となっております。主な内容としまして、1目土木総務費の比嘉公民館建設事業において実施設計業務委託で100万円の追加して、解体設計業務委託として460万円、解体撤去工事費として3千940万円を計上して、用地購入費2千130万円減

額しております。

また38ページの1目道路維持管理事業では町内各道路のガードレールや転落防止柵等の修繕にかかる費用として1千30万円、その他道路の補修工事費として100万円、原材料費として50万円、計上しております。また2目道路新設改良費では水産加工施設関連道路整備事業の所管替えにより790万円の追加計上となっております。

次41ページになりますが、1目港湾管理費の兼城港ターミナル管理事業ではターミナルの耐力度調査のための費用として200万円を計上しております。

また42ページの1目飛行場管理費の空港管理事業では空港管理に必要な賃金45万円、旅費23万4千円、消耗品92万9千円、修繕費37万8千円をそれぞれ追加計上しております。

次に44ページの9款、消防費では94万4千円を追加計上しております。主な内容としまして新町長就任に伴う被服費として11万9千円、5目空港消防管理運営事業で修繕費50万円を計上しております。

続いて10款、教育費これは46ページになりますが、4千808万6千円を追加計上しております。主な内容としましては、2目事務局運営事業で久米島高校魅力化に伴う寮の整備のための調査旅費40万円、各学校施設の屋内運動場天井防止対策総点検業務として559万9千円、久米島荘改修設計施工管理業務委託として319万7千円、久米島荘改修工事にかかる工事請負費3千万円を計上しております。

また48ページの小学校管理運営事業では、各小学校の修繕費として382万2千円、そして49ページの中学校管理運営事業では各中学校の修繕費として51万1千円を計上しております。

す。

また52ページになりますが、町史編集事業では嘱託職員報酬として101万8千円。

53ページになりますが、2目学校給食センター管理運営事業では職員の退職に伴う嘱託職員の報酬122万1千円、3目保健体育施設費のパークゴルフ場運営事業では備品購入費16万2千円を追加計上しております。

以上が平成26年度久米島町一般会計補正予算（第2号）の主な概要となっております。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

歳入の8ページ、町債のところ離島航路運行安定化支援事業1億220万円減ですね。辺地債の適用だということですが、今回、減になっているんですが、なぜ辺地債が認められなかったのか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまのご質問なんですけど、辺地債の認められなかった理由に関してはちょっと確認しておりませんので、ちょっと後ほどご説明したと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

これ1億余りの辺地債が認められないと、それだけ予算的に負担が大きくなりますよね。今回、減になって、その変わりの財源として、一般財源、商工費にあるんですけどね、どの一般財源使っているのか、例えば町税なのか、交付税なのか、財産収入なのか、その辺地債で減額されたその金額は、どの一般財源で充当されたのか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

どの一般財源と言っても、具体的に、この一般財源を使いましたという答弁はできないんですが、但し、こういう特殊事情ですので、特別交付税の方で補填されます。パーセンテージについては後ほど報告したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

例年ですと特別交付税12月頃で、今頃、特別交付税が補正予算に従って、もう確定しているんですか。例えば、ちゃんとした特別交付税として認められている財源ですか。例えば、それがそうでないと、またさらに財政負担が課されるわけですよ。今回この特別交付税についてはもう確定した金額として理解しているんですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

8ページの減額分と6ページ地方交付税の特別交付税の5千611万5千円、約支出の半分が特別交付税に入るということで確認されて

おります。

○ 議長 喜久里猛

幸地猛議員の本件に関する質疑は既に3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この35ページの離島航路運行安定化事業、これは今年度だけなのか、次年度もそういった事業が出てくるのか、そうなりますとこれまで予定した辺地債が認められない。例えば特交が認められないと相当な負担になるんですね。ですからこの事業については採択するときには非常に慎重に対応すべきだと思うんですが、担当課長の方から。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今回の離島航路運行安定化事業につきましては、フェリー琉球をリース会社から買い上げるものとなっております。従って今年度限りの事業でございます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

注意したいと思います。まとめて質問していただいて回答もらってから最後にやった方が回数的に効率的な運用ができますので、その点よろしくお願ひしたいと思います。

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝

福祉課長に1点だけ伺います。26ページ、27ページ障害者福祉計画、それと高齢者の福祉計画、この委託料計上されておるんですが、この内容について、ちょっと具体的に説明お願いします。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

この内容と言いますか、町の福祉計画の方が19年度に策定された計画が5年間過ぎまして23年度に切れていたということで、本来でしたら、もっと前に計画策定しないといけない状況だったんですが、今回6期の介護事業計画がまた新たに次年度からスタートするというので、それにもいろいろ支障をきたしておりますので、早急に計画策定しないといけないということで、今の時期にこういうかたちで補正組んでやっている状況です。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝

この計画は早急に取り組まなければいけないということは私も認識しているわけですが、全てコンサルに一任するのか、それとも市町村によっては市町村で煮詰めて、その市町村に似合ったニーズをおっかけて独自で作らせて、その最終的な整理をコンサルに委託しているという市町村もあるわけです。これを全てコンサルに委託するのかどうか、そのところを聞きたいですね。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

全てをコンサルということではなく、そういった協議会も立ち上げて、事業所とか、社協もそうですけど、関係者の意見も聞きながら策定をしていきますので、いろんな資料等はこちらから出しますので、とにかく今回の場合は、もう独自でやるということについて

は時間的な余裕がないものですからどうしてもコンサルの力を借りないといけないものですからこういうかたちになっていますが、町の意見も取り入れながら最終的にはコンサルでまとめてもらうというかたちになります。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝

今の答弁聞いて少し安心したわけですが、全く地域のニーズとそぐわない計画書が作られたりそういうことがよくありますので、できる限りぎりぎりまで早めに関係者でこれを議論し合って作り上げたものを最終的にコンサルに委託していくという方法、そうするんであればいいんじゃないかと思っております。ぜひそうしていただきたい思います。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

総務費の14ページなんですけど、離島の低炭素地域づくり推進事業、それと22番の沖縄離島G空間シティ構築事業、それから15ページ、久米島ロボットモビリティ推進事業、それとその下の国際海洋資源エネルギー利活用推進事業、この4つの事業概要を説明していただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

まず14ページ、20番の離島の低炭素地域づくり推進事業につきましては、現在、久米島町再生可能エネルギー、各海洋温度差発電はじめ太陽光含め、推進しているところなんですけど、将来的に久米島町における年間電力需

要量の70%以上を再生可能エネルギー由来の電力で供給するというのを、目標に立てております。その70%を達成するために、どういった方法があるのか、そのための調査事業になります。この事業につきましては、日本離島センターの100%補助事業を活用して行います。

続きまして沖縄離島G空間シティ構築事業なんですけど、これについては昨年度、地域ICTとか、いろいろなIT機器を使ってのシステムを構築したわけなんですけど、今回のG空間についても、その延長線上にあります。携帯端末1つ持っていれば自分の今いる位置とか、回りのさまざまな情報を知ることができるようなシステム、例えば観光客であれば自分が今いる場所の周辺にどういったものがあるのか、いろいろ情報を集めて情報を活用できるということですね。あと安心・安全な生活基盤ということで、例えば、津波とかそういう災害があった場合に、どのルートを通って避難するかというようなものが携帯端末でわかるようなシステムを構築するためのこれ実験になります。これも総務省の100%事業を活用して行います。

あと15ページ23番の久米島ロボットモビリティ推進事業については、現在、デンソー、NEC、JAXAと連携してやっていますが、奥武島での自動運転実施事業をその全体の組織を運営するための委員報酬とか、そういった会議のための費用等になっています。大学の教授の皆さんも、そのメンバーにいらっしゃるんですけど、委員報酬とか、あと費用弁償とかを計上しております。

続きまして15ページの24番、国際海洋資源エネルギー利活用推進事業ということで7月

21日に、海の日に国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムという組織を設立したわけなんです、2回目から、その会議に各大学の専門の先生方を招聘して、いろいろ今後の久米島の海洋深層水温度差発電を含めた複合利用の事業のアドバイスをいただくということで、この費用を計上しております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

あと1点ですね。35ページ、商工費の観光費の方で多言語観光案内サイン整備事業補助金、これ工事請負費2千万と委託料400万計上されておりますが、この多言語については観光案内板だとは思いますが、何か国語で作成して、この島内の設置箇所、何十カ所ぐらいを予定されているのか、お伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは35ページの観光振興事業の中で多言語観光案内サイン整備事業というのが計上されております。これにつきましては沖縄県の補助事業を活用しまして90%補助で今回実施いたします。

内容といたしましては、主に誘導案内標識で、こういった矢印でその場所まで誘導するもので誘導標識がパークゴルフ場の儀間の入り口、これは仲里給油所の入り口からパークゴルフ場入り口ですよという部分と、あと五枝の松への入り口、これは山里土建の事務所の県道から北側に矢印を付けます。それからおばけ坂の入り口、これは上溝ダムのあるところからおばけ坂の矢印に出ます。これが誘

導案内標識が3カ所になります。あと周辺の観光関連施設の近く付近に周辺案内板というのを設けますが、これは形はさまざまになりますが、これが比屋定バンタ、熱帯魚の家、イーフ情報プラザ、それから泊フィッシャリーナ付近、五枝の松、おばけ坂となっております。それぞれの観光地の説明等が日本語、英語、中国語の3カ国語で表示されます。

それからミーフガーにつきましては、ちょっと形が違って据え置き型、コンクリで向こうは高潮があがりますので、据え置き型の案内板となります。以上の10カ所を予定しております。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

4 番 翁長学議員。

○ 4 番 翁長学議員

1点だけ説明をお願いいたします。19ページの47番です。久米島優良繁殖雌牛自家保留支援振興事業です。この減額の説明をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

これにつきましては、当初予算で計上いたしましたが一括交付金の採択にいたりませんでしたので、これは削除、先の補正で削除すべきでしたが、ちょっと漏れていましたので、これは一般財源で計上されております。

○ 議長 喜久里猛

13番 玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは2点、質疑したいと思います。教育費の46ページと47ページ、今回、久米島荘の改修ということで委託料と工事請負費が上

げられていますが、たぶん久米島高校に伴う寮の改築だと思うんですが、これに一般質問等でもいろいろ寮の建築、質疑、質問したんですが、補正予算計上されて嬉しく思っております。その内容、説明を詳しくお願いしたいと思います。

それと28ページ、戻りますが保育所の運営費2目で児童福祉、そこに旅費がそのまま計上されているんですが、保育所の運営ですが、旅費とは関係ありませんが、昨日、一般質問でちょっと質問漏れがありまして、今ちょっと確認のために関連しますので、聞いておきたいと思います。実は中央保育所の園庭の遊具、今、不具合で使用禁止になっているようですが、これ撤去するのか、補修するのか、そこらへん担当課長に答弁お願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

玉城議員のご質問にお答えいたします。委託料につきましては久米島荘の改修設計施工管理で319万7千円取っております。工事請負費の3千万円についてですが、これにつきまして、字儀間にあります教員住宅を寮に改修するというので、昭和61年度に建築された13号棟と言っていますが、現状は家族世帯で1階部分が2世帯、単身世帯用が2階部分が3世帯あります。それを寮に改修するために2階部分を2名、2名の6名、1階部分の1世帯を3名、そして管理人を1世帯として今考えております。合計が生徒9名プラスの管理人ということになります。床面積にして20㎡、平米単価、約14万9千円で考えております。今現在、それに伴う規定要項等そういう

のを揃えながら、その建築に向けて事業を進めています。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

保育所の遊具についてお答えいたします。現在中央保育所の遊具が一部破損しております。その部分は危険だということで使えないような状況にしておりますが、その他にも周囲も腐食がかなり見受けられますので、その遊具を撤去して、そのあと砂場等に変えるような考えで、保育所とは調整をしております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

遊具については時期的にわかりますか。いつ頃ということ。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

撤去をするにも予算が伴いますので、そのへんまた調整しながら時期は早めにやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

遊具についてはわかりました。寮についてなんですが、今から改築していろいろ寮費とかいろいろ金額とか決まってくると思いますが、そこらへん4月から使うようになると思いますので工期とか遅れのないようにやってください。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

6 ページお願いします。6 ページの総務使用料の中で、具志川改善センターの使用料が13万1千円、収入として入っていますが、25年度の現年度分の滞納と、それと滞納繰越分の滞納のトータルが収入されていると思います。25年度の現年度の分は何月分のものなのか、そして滞納繰越分は何時のものなのか、双方とも何時納められたのか、それをお聞きします。

次に31ページの農地費の中の工事費で先ほど町長からの説明でカンジダムの遊歩道の工事とあります。カンジダムは完成してから数年経ちます。遊歩道が整備されて、その周辺にサガリバナが相当数のサガリバナが植えられました。すばらしい公園ができたんですが、一度も町民に開放されることなく、今日までできています。その間2カ所遊歩道が決壊して非常に危険な状況であります。そして草もぼうぼう生えておりまして、サガリバナも今年、非常に綺麗に咲いたんだけど、草に覆われて人目に気づくことなく、ひっそりと咲いておりました。

今年の夏、各市町村でサガリバナが非常に綺麗に咲いたよという新聞よく載りました。久米島のサガリバナすごい本数のサガリバナ植えています。これ本当に名所になります。すばらしいものになります。

しかし今の状態ではおそらく草に覆われてサガリバナが衰退してなくなっていくのではないのでしょうか。今後のこの開放は何時するのか、そしてこの管理は何処がやるのか、そこをお答えいただきたいなと思います。

それから、観光案内板の設置について、先ほど産業振興課長の方から10カ所予定しているということがありましたが、ヤジヤーガマ

の案内について看板については、以前、町民から非常に貧弱で、ここが観光客がなかなか気づくことなく、通り過ぎて行って、この案内をヤジヤーガマは何処ですかということ、よく畑で働いている人たちによく聞きにきたと、貧弱だからこれをどうにかして改善してくれという要望を出しました。それについては改善されているのかどうか。この3点をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

仲村昌慧議員の質問にお答えします。改善センターの使用料滞納分についてなんですが、13万1千円の内訳としまして平成25年の滞納分が8万円で平成23年分が5万1千円です。合計で13万1千円、平成25年滞納分の8万円については回収済みです。平成23年の滞納分については5万1千円まだ未収入となっております。この未収入につきまして、島外の事業所の方ということで今請求しておりますが、まだ納められていないという状況です。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

カンジダムについてなんですが、今回、補修で工事費の方に計上させてもらっていますが、管理を土地改良区、県から土地改良区に委託は確認し締結はされています。ただ遊歩道とパーゴラ橋は町の観光資源の補助事業でやっているもので、それは町がやらなければいけないということなんで、その管理態勢が今フェンスの中でどういうふうになっているのかというのがちょっと明確な部分が見えなかったものですから、うちと土地改良区と

県南部農林土木と1回それを全部整理して、こういう災害も、もう2、3年放置されている状態でしたので、これを整備して、今言いましたサガリバナ、19年、僕が教育委員会にいたときに宇江原議員から苗木貰って子どもたちに植えさせた。その棚田もちゃんと整備して、そういうふうに入って見学させようということで今進めています。なのでこの歩道を整備して、そういった人間も入れるということで、計画をしていますので調整中です。管理はその部分が決まってから報告したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまの質問のヤジヤーガマの案内標識については、仲地の部落の入り口に誘導案内標識が1本立っていて、あとガマの入り口に簡単な説明板みたいなのがございます。ご指摘のとおり十分ではないと思っていますので、この観光案内については継続して年度年度やっていきたいと思っていますので、ヤジヤーガマについても今年度の入札残が出れば、それに対応できればそれに対応いたします。またできなければ次年度以降の整備計画を入れてやっていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、教育課長の答弁の中では5万1千円がまだ収入されていないと、この13万1千円はこれ収入されている額ではないでしょうか。そこを再確認したいと思います。それと先、僕質問したのはいつ頃の滞納で、何時それが納められたかと、その期間が問題なんですよ。

期間をおくと非常に徴集しにくいということ了指摘しておきますので、そこをちょっと明確に答えていただきたいなと思います。

それからカンジンダムについては先も申し上げましたが、草がぼうぼう生えている中で、サガリバナは綺麗に咲いて、そして水辺に花びらが浮かんで朝早く行くと非常にすばらしい光景でした。このサガリバナの本数ですね。今調べることができなければ決算審査の中でもいいですから、どのぐらいの本数植えているのか、非常に将来可能性があります。すばらしい場所だと思いますので、そこを開放していただきたいなと思います。

そして町民に早めに開放するように、これ僕、何回も一般質問に取り上げたんですが、なかなか開放されていない。早めに開放していただきたいと思います。本数お答えできるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

この使用料につきましては、ちょっと経過等の資料が今手元にないものですから、明日、決算審査の場で細かく経緯等について説明申し上げたいと思いますので、よろしく願います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長

○ 建設課長 大田喜秀

本数は確認できていません。私もすみません。まだ中に入っていない。というのは建設課その鍵自体がないものですから、その管理態が土地改良で、その中に入って行ってやるべきなんです、その棚田も清掃のやり方も、これも土地改良区と、そこは昔か

らボランティア団体が年に2回ぐらい入っていたとい経緯もありまして、そのへん県も交えて管理の仕方、開放の度合いと、どういふふうにやるかというのを南部農林と土地改良区と調整して、そこ非常にいい雰囲気だと思いますので、実施するように向けていきますのでよろしくをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

歳入の方です。ふるさと積立金275万ありますが、これはここからの発信はどのような方法なのか、インターネットで出しているのか、あるいはまたチラシとか、そういうのも送っているのか、それから以前に取り上げたんですが、各全国の市町村がこういうものにお礼、いろんな地元の特産品をお礼として送っていますよね。本町でも、そういうのはどうかというのを提案したんですが、あのときは金額によってその人を呼ぶと、久米島に招聘して観光してもらおうというふうなことも言っていたんですが、皆さんもテレビでよく見ているんじゃないかと思うんですが、もう合戦みたいに市町村が特産品のピーアールも兼ねてやっていますね。そうとうの寄付が入っている状況をよく見るんですよ。今聞きたいのはこの場合、発信をどういうふうにしているのか、それとのお礼はどのようなものでやっているのかお聞きしたいと思います。

それから儀間の教員宿舎を改装して学生寮ということで、そこには管理者、例えば教員、誰か住まないといけないと思うんですよ。ただ子どもたちだけを寮に住ませることはできないんじゃないかなと思うんですね。要

するに1部屋は管理者と教員になるのか、または一般の人なのか、そういうのが入るのかどうかお聞きしたいと思います。

それから今、出ましたカンジダムなんです、私もカンジダムのことは非常に住民からいろいろな声があるんですよ。どうしてそこは入れないのかと、歩道もあるのに入れない。それと湖面、湖を利用したいろいろな活動そういうこともできるんじゃないかということも聞くんですよ。それでお聞きしたいのは、そこは飲料用水として使う場合もあるかもしれませんが、今のところはほとんど飲料用水としては使ってはいないんじゃないかなと思うんです。それでそこをレジャーとか貸しボートとか、それから釣り、あるいはカヌーの練習とか、そういう湖面を利用したものに多いに活用できないのかどうか、その3点をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ふるさと納税のご質問にお答えします。ふるさと納税については、その情報発信については町のホームページ、インターネットで広報しております。あと島外の郷友会等の集まりでチラシを含めて納税のお願いをしております。あとお礼状については現在やっているのが、町広報の定期的な送付とか、会員証の交付、そして5年連続10万円以上納税された方は久米島に招待するというので、今回、予算計上もしております。前回の補正でです。

あと以前に質問のありました特産品等をお礼に送ってはどうかという分については、やはり商工関係の振興の意味も含めて現在、産業振興課の方と調整をしているところです。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

久米島荘、改修工事寮にするときの寮母、若しくは寮長の件ですが、この方は一般の方を予定しております。今の想定では9名の生徒が寮に入る予定ですが、それ以外に寮母さんもしくは寮長さんが、その9名の責任者として見るのではなくて里親制度みたいなかたちで1人ひとりに責任者はおきます。そうしないと寮の中で寮整備をして、そこに住み込みさせることはできないようなことになっています。これは県の方からの指導もありまして、例えば風邪とか、体調が悪いとき、そういうときには寮から里親制度の自宅へ引き取って、そこで面倒を見て貰うようなかたちで進めていきます。そのへんは今後の寮整備があったとしても里親制度で協力して緊急の時に強力して貰える里親というのは必要になってきます。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時54分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時54分)

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

先ほどの里親の件ですが、身元保証人に訂正いたします。よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

カンジダムの湖面利用についてなんです、今現在、島の学校の体験プログラムの中にカヌーがございます。これは今現在、海で行っていますが、海というのはやっぱり天気

が荒れてできない日もかなりありますので、それをカンジダム、あるいは儀間ダムでもいんですが、湖面を使って、そういったカヌーとかの体験プログラムができるようになれば非常にいいなと思っています。そういうことで産業振興課の方としても、その湖面の有効活用を申し出て関係課と調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

いろいろ他にも聞きたいので、暫時休憩願ひします。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時55分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時02分)

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

36ページの路線バス運営事業の中の修繕費、修繕料が164万ですか、計上されているんですが、この修理代金は1台分の修理代なのか車検代も含まれるのか、それともう1つは運転手4名おりますよね。委託という話出ているんですが、その運転手はただバスを運転して操作してあるだけの委託なのか、車に何か障害が生じたとき、それに対しての責任はないのか、ただ僕、これ見たとき、うちの会社の隣にバス営業所があるもんですから、走行しているときに僕がもし覚えているバスであれば、これは大変だなと思ったんですよ。うちの前を走行して行くときに、ものすごい下回りからの音がする。これはサスペンション関係かタイロッド関係ハンドルのアームジョイントとか、そういうものが今でも

砕けそうな音を立てて走行している、何回も聞こえたんですが、そのときに僕自身としては、課長が管理者ですよ。こういうときは僕からあなたへ話しかけてもいいのかな。あのバスはそういう走行してあるのに修理が必要じゃないかなということを感じた場合には、あなたにこういうことができるかなということですね。運転手というのは一従業員ですから、僕も車25台ぐらい持って事業しているわけですから、その中で従業員は車の指導したり運転することは、これは当たり前みたいなことを仕事としてやっているわけですが、車に操作の支障が生じたり、要するにサスペンションにおかしいことがあったりとか、クレーンが効かなくなったりとか、それからハンドルが偏りしたりとか、ブレーキが片ぎきしたりとか、そういうのは一切言いませんよ。

僕があれだけがみ言っても従業員はできるだけ言わないようにすり抜けようとする。ですからバスの運転手自体も、ただ運転手としての委託なのか、そういうところも決算委員会でもう1回聞きたいと思うんですが、僕が今話した中でさっと答えられるだけでいんですから答えてみてください。このバスの修理代というのは168万1台にかかるようであれば、会社としては持ちませんよ、絶対に、どんな会社でも潰れますよ、1台でこんなにかかるんだったらね。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは36ページの路線バス運営費の中に修繕料として164万円を計上していますが、それについてご説明をいたします。今回4台

あるバスの内3台が故障をいたしました。その内容なんですが、その中には1台分の車検の費用も入っております。1台の故障は冷却水ウォーターポンプが故障して、もう完全に動かなくなったという点ですね。そして1台はこれはEVバスの方ですが、クラッチが完全にすれてしまって動かなくなったということですね。これについては那覇まで持ってきました。そしてもう1台については自動ドアが開かなくなったといったような部分で、この3件プラス車検の1台分の修繕料となっております。

今、安村議員がご指摘のとおり今個人委託なんで、バスの運転手は町から個人委託をして、その中に運行管理者、車両管理者それぞれいるわけですが、必ずしも車の管理や運行について、今十分な体制とは言えないと思っております。

これをまとめて何処かの会社に今一括委託すれば常時そこに管理者がいて職員の指導も今よりは上手くいくんじゃないかなと思って、今その方法を次年度に向けていろいろ検討しているところでございます。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

最後のところで、そういうふうには管理者を作った運営方法を考えているということは確かな話ですね。そうですね。そうであれば以上で終わりますが、またもう1回決算委員会で聞かせてください。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第43号、平成26年度久米島町一般会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第43号、平成26年度久米島町一般会計補正予算（第2号）については原案のとおり可決されました。

日程第3 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第44号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

（桃原秀雄副町長登壇）

○ 副町長 桃原秀雄

議案第44号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要について申し上げます。

予算書をめくっていただきまして、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出の予算額にそれぞれ5千212万円を追加し、歳入歳出の総額を13億38万3千円と定めます。

歳入歳出の主な内容についてご説明申し上げます。歳入につきましては5ページになり

ますが、6款、療養給付費等交付金が495万円を減額し。

7款、前期高齢者交付金2千411万8千円。

12款、繰入金207万9千円。

そして13款、繰越金2千765万8千円。

そして14款、諸収入321万5千円を増額するものであります。

続きまして歳出につきましては、6ページになりますが、1款、一般管理にかかる旅費職員給与等219万6千円。

そして7ページの2款、一般被保険者療養給付金231万5千円。

そして8ページの3款、後期高齢者支援金等2千178万2千円。

9ページになります。6款、介護納付金1千283万4千円。

10ページの7款、高額医療拋出金106万6千円および保険財政共同事業拋出金1千133万円。

11ページになりますが、11款になりますが、一般被保険者保険税還付金59万7千円を増額するものであります。

以上が、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要となります。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議よろしく申し上げます。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第44号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第44号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)については、原案のとおり可決されました。

日程第4 平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第45号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第45号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の概要について申し上げます。

予算書をめくっていただきまして、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)は歳入歳出の予算額にそれぞれ169万5千円を追加し、歳入歳出の総額を7千272万8千円と定めます。

歳入歳出の主な内容につきましてご説明申し上げます。歳入につきましては5ページになりますが、歳入、1款、後期高齢者医療保険料において滞納繰越分普通徴収保険料67万2千円。

そして4款、繰越金において前年度繰越金102万3千円を増額するものであります。

歳出につきましては、6ページをお開き下さい。1款、総務費における一般管理費3万1千円を減額し、また7ページの総務費の徴収費8万9千円を増額。

そして8ページの2款、後期高齢者医療広域連合納付金において滞納分67万2千円、そして負担金69万5千円を増額するものであります。

以上が、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の概要となります。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第45号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第45号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第5 平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第5号、議案第46号、平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

議案第46号、平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)の概要についてご説明申し上げます。

平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)(案)の概要について申し上げます。

1 ページの資料、予算書ですね。第3条 予算収益的収入及び支出について、当初予算での執行を予定しておりましたが、水道事業経営におきまして、具志川浄水場のろ過池のろ過砂購入により材料費にさらなる費用を要するため、3条 予算第1項 営業費用 1 目 源水及び浄水費で1千3万1千円の増額。4 目 総係費で職員の人事異動に伴う給与、手当等、儀間ダム共同管理負担金の計上により増額110万1千円の計1千113万2千円の補正予算を計上

するものであります。

平成26年9月9日提出
久米島町長 大田治雄

ご審議よろしくお願います。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第46号、平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第46号、平成26年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第6 平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第6、議案第47号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第47号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の概要について申し上げます。

予算書をめくっていただきまして、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の予算概要は歳入歳出それぞれ698万5千円を増額し、総額3億1千245万6千円と定めます。

主な概要としましては、歳入としまして、6ページになりますが、4款、1項繰越金で698万5千円を増額となっております。

歳出としましては、7ページになりますが、下水道事業の職員給与等で12万3千円を増額そして11節需用費の修繕費で機器及び設備修繕のため447万8千円を増額。12節役務費の手数料で汚水及びくみ取り手数料、口座振替手数料として3万2千円を増額。14節使用料及び賃借料で委託積算システムリースのため4万6千円を増額。13節委託料でイーフ浄化センター改築工事、これは水処理であります、現場技術業務流用分として補填のため75万5千円を増額。

9ページになりますが、2款交際費の23節償還金利子及び割切料で償還金利子として55万1千円を増額。

11ページの3款、予備費で緊急時の機器等修繕に備えるため繰越金充当により100万円の増額となっております。

以上が、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の概要となります。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議よろしくお願ひいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第47号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第47号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時21分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時30分)

日程第7 久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第7、議案第48号、久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第48号、久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例。

上記議案を提出

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例の条文の朗読は割愛して説明をしたいと思えます。

設置条例の第1条に趣旨そして第2条に消防長の資格、第3条に消防署長の資格、第4条に委任を示しております。附則でこの条例は交付の日から施行する。

ページをめくりまして提案理由であります。地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の公布により、消防組織法が一部改正されたことに伴い、当該条例を制定する必要があります。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

消防長と消防署長の違いは、どういうところですか。

○ 議長 喜久里猛

上江洲勝志消防長。

○ 消防長 上江洲勝志

消防長と消防署長の違いにつきましては、階級も勿論違います。久米島町では消防署長は司令、階級の中で、消防長は消防司令長、ということで役割分担もある程度違ってきますので。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第48号、久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第48号、久米島町消防長及び消防署長の資格を定める条例については、原案のとおり可決されました。

日程第8 議決内容の一部変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第8、議案第49号、議決内容の一部変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第49号、議決内容の一部変更について、平成25年第7回久米島町議会臨時会で議案第58号をもって議決された、「鳥島漁港波除堤

整備工事請負契約について」に係る議決内容の一部を次のように変更する。

記

契約金額中「2億4千517万5千円」を「2億3千657万1千840円」に変更する。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由であります。鳥島漁港波除堤整備工事について、設計の一部変更により変更契約を締結して執行する必要があるため久米島町議会の議決にすべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。なお2枚目に改定契約書の写し、そして3枚目に変更箇所を添付しております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

設計の一部変更の具体的な説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

当初契約で今20m80cmの鋼管杭を打つ、その鋼管杭をトラックバンでフェリーで運送してきて陸上で溶接10m、10mをフェリーで持ってきて港で溶接して1本にして打つということで、これはなぜかという鳥島漁港の中

に入れる台船が大きすぎて入れないということ、その台船の確保ができなかったと、それで発注したんですが、その請け負った業者がこの台船を確保できるということと港中まで入れられるぐらいのサイズがあったということで、その分の陸送及び溶接費が無くなってその台船で持ってきた分の差額の減額です。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第49号、議決内容の一部変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第49号、議決内容の一部変更については、原案のとおり可決されました。

日程第9 議決内容の一部変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第9、議案第50号、議決内容の一部変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

それでは議案第50号、議決内容の一部変更について、平成26年第5回久米島町議会臨時

会で議案第40号をもって議決された、銭田橋改修工事（上部工－1）請負契約についてにかかる議決内容の一部を次のように変更する。

記

契約金額中「1億422万円」を「1億974万9千600円」に変更する。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由であります。銭田橋改修工事（上部工－1）請負契約については橋梁用車両防護柵の納品に関与することが想定され、本工事にいて早期に発注する必要がある、請負契約の一部を変更する必要が生じたので、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要があります。

これがこの議案を提出する理由であります。なお、次ページに工事改定契約書の写し、そして3枚目の方に変更部分、平面図、詳細図を添付しております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

請負契約について質疑いたします。まずこの議案につきましては552万円の増額補正、増額というかたちであります。しかしこの提案理由を読みますと、増額についての説明がなされていません。文を読めばある程度

理解はするんですが、この552万9千円の説明、それと増額分、当初の工事数量に入っていなかったのか、それと別途で発注を予定していたのか、なぜ本工事に追加で入れたのか。説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

今回の増額は橋梁用車両保護柵高欄です。橋の両サイド、これは使用する具材が確保するのに非常に難航している。今発注しても早くて3カ月という情報が入りまして、上部工にも発注したんですが、もう先に上部工－1の方で本体P Cの方、発注出しておりますので、そこで、もう資材を調達して製作にかかるといふうに早急な事案として、先に発注させた上部工－1の方で改定契約しています。当初設計では、我々もそういう情報が入って来なかったものですから、今月末ということか、来月初めにということ想定してましたが、先取りして改定契約で、その分も含めて発注といことでの改定契約です。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この上部工の高欄というのはほとんどの工事で別途で上部工仕上がってから発注するかたちになっていますが、間に合わないということで改訂契約で本工事と合わせて追加で出したということで理解しますが、この提案理由についてちょっとわかりにくいんですよ。そこらへんそういうときは前もって議員の皆さんに説明いただければ、もっと親切かなと思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

今回、増額になりましたよね。これ予算についてはどうなっています。要するに予算化しないと、この議決しても発注できないですよ、予算は確保されていますかということなんです。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時42分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時42分)

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

25年度繰越です。その中に議決予算の中に入っています。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第50号、議決内容の一部変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第50号、議決内容の一部変更については、原案のとおり可決されました。

日程第10 動産の買入について

○ 議長 喜久里猛

日程第10、議案第51号、動産の買入についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第51号、動産の買入について。

下記の動産を購入買入することについて、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 買入物件 自走式破砕機
2. 契約の相手方
沖縄県西原町字小那覇1281番地の1
キャタピラーイーストジャパン株式会社
西日本支店 沖縄営業所
所長 上原健
3. 契約の方法
随意契約(公募型プロポーザル方式)
4. 購入価格 21,589,200円
平成26年9月9日提出
久米島町長 大田治雄
提案理由であります、不動産の買入については久米島町議会の議決にすべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要があります。これがこの議案を提出する理由であります。
なお1ページの方に物件売買契約書の写しを添付しております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

この木材破砕機チッパーについて、この運用はどういうような方法でやるのか、もしこれ貸与するんだったら、どういうようなかたちで何処に貸与するのか、そういったことの説明を求めたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

この破砕機については堆肥センターに置いて、堆肥センターを運営するユイファームさんに運営してもらう予定であります。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

この件についてはユイファームに貸与するということですよ。本来ならば、そこが購入してやるべきじゃないか。町の予算でもって対応するのはいかなるもんかと思うんですが、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

この事業につきましては、あくまでも循環型農業、循環型社会を形成するという町の政策的な下で行われるものです。これは台風とか発生すると各家庭から木の枝がたくさん集積されてきます。相当大量におよびますので、それを資源として活用して堆肥化をしてまた農家に還元する。その循環型社会の形成を目指す一つの政策目的の下で行われます。仮にこれを民間での力で整備してやりなさいとい

ったら、これは費用対効果で到底、採算の取れるものではございません。これについては他市町村においても町が回収したこの草木、一般ごみとあるいは草木と分けて回収して、回収したものをキロいくらというようなかたちで処理費を払って、この堆肥化をしている市町村もかなりございますので、そういったことからすれば、民間が自助努力で購入して整備するというのは非常に厳しいかと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

これは久米島町では一般で所持しているものもあるわけですよ。あるのをあえて2千万円余りかけて購入して一般企業者に貸すのかとこういうことを言いたいわけです。これについて答えてください。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

破砕機、1 社保有する会社ございますが、やっぱり常時専用的に使うにはやっぱり堆肥センター付きの設備が必要だろうという判断の元での今回の事業となっております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

今回、動産の購入について自走式破砕機これ契約の方法として随意契約、公募型プロポーザル方式ということでやっております。これ今議会開会する前にこのカタログが配られておりますが、こういう破砕機についてこれは諸岡というメーカーのものですが、他に

もこういう破砕機メーカーがなかったのかどうか。あれば一般競争入札でやるべき事業じゃないかなと思うんですが、その説明をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

この破砕機について特殊な機械で日本国内でも造っているメーカーは知られている範囲内でも3社ぐらいしかございません。そのメーカーによって、その仕様や値段がものすごく違うわけですね。そこで今回は公募型ですから誰でも応募できるわけです。ですから門戸は広く開かれていて誰でも応募できるという元で応募していただいて、その庁内に設置した機種選定委員会で、その機種を決めていくと、これは予算も金額もありますし、能力、性能、それを審査基準を設けて機種選定委員会で機種を決めていくという方法で公募いたしました。結局、応募者がこの1社だけということになっております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

あと1点ですね。この契約書の中に品名、規格及び数量というところがありますが、これ型式はMC2000というカタログにあるものになっていますが、スクリーン50径とスクリーン30径、この数字はどういう内容になっているのか、スクリーン30径、50径、どちらかを選定するというかたちなのか説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

このスクリーン50径、スクリーン30径というのは、排出口にスクリーンがあって、これが5cmと3cm、2種類あるということです。より細かくする場合は、この30径と向き変えて30径をセットする。そうするとより細かくなるということになります。堆肥にする場合、最初50径で荒く出して、もう1回30径に差し替えて再度また細かくするというような作業を想定しています。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

先ほどカタログ資料等をいただいたんですが、この機械の能力、今下から2番目ぐらいの大きさですかね。大きさに導入はしたんですが、小さくて使えないという、そういう状態は起こらないでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

能力については、いろいろ検討したんですが、メーカーさんとも話をしまして、このMC2000で対応できるという判断の元での機種の選定となっております。能力については入れる物によって全然違いますので、この決められた例えば1時間いくらというような性能規定というのはございません。入れる物によって非常に違いますので、想定しているのは、台風の後とか全部運ばれてヤードに積まれている草木程度になります。ですからあまり大きな物については細かくまた切らないと破砕できないかと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今、課長の説明で循環型農業、これは大変良いことだと思うんですが、じゃあ、わざわざ自走式にしたというメリットが何処にあるのか。例えば何か災害の時にあまり一箇所に多く溜まっている材料があるという場合には必要かと思いますが、今の場合、堆肥センターに管理させるということですから逆に固定式の機械を設置したときにはもっと安く設置できたんじゃないかというようなこともあるんですね。わざわざ自走式、これ管理も大変なことだと思うんですよ。自走式、車ですから故障もあるはずですし、そのところを説明してください。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

枯れ木等が持ち込まれるヤードについてはかなり場所的に広いわけですね。それぞれ広い場所に積まれているわけですから、これ移動して破砕機そのものと同時に移動してコンボで掴んで入れるという作業になりますので、どうしても移動しないといけないです。一定の場所に全部、草木がまとめ置かれていたわけではもないわけですから、やっぱり自走して場所を移動して破砕かけていかないといけないということと、それとヤードは1箇所だけじゃございませんので、2カ所あるいは多いときは3カ所にわかれる可能性もございますので、それと場所の移動も当然出てきますので、どうしても自走式じゃないといけないということで自走式にしてあります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

要するに、そこに堆肥センターのところに

ヤードを作って、持ち込んだ方が安上がりじゃないですか。車で運んだ方が、これを移動させてやる作業というのは、たいへんなことだと思うんですよ。運転手も必要だし、ですから両方の単価、工事費用ですね。それを取ったかどうかです。固定式にするか自走式にするか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

固定式となると屋内じゃないと機械ですから厳しいところがあります。屋内に固定式を整備するスペースというのがございません。それと屋内となるとコンボを使うというのは基準とかもありますので、搬入するベルトコンベヤー等も必要となってきますので、やっぱり自走式の方がいいと。コスト的にも場所的にもということで自走式の導入となっています。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

固定式は置かないということじゃ限らないんじゃないですか。今、例えば国洋建設だとかやっている。そのままですよ屋外ですからそういうふうなかたちで造れば、どんどん上から入れて砕かれたやつは室内に送り込まれるような、そういうような方式は考えなかったですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

見た範囲内で固定式はほとんど屋内なんです。それとこの移動式の場合は毎日使うわけではございませんので、使わない場合は屋

内に持って行って屋内の倉庫に保管できるわけですから、やはり機器のメンテナンス考えた場合、どうしても自走式の方が有利だという考え方の元で行っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第51号、動産の買入についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(賛成多数)

○ 議長 喜久里猛

賛成多数です。従って、議案第51号、動産の買入については、原案のとおり可決されました。

日程第11 平成25年度久米島町一般会計 歳入・歳出決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第11、認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算概要についてご説明申し上げます。平成25年久米島町一般会計決算は歳入において82億7千572万3千円で対前年度と比

較すると7億7千272万5千円、10.3%の増。

歳出では78億9千689万8千円で、対前年度と比較すると6億5千133万円、9%の増となっております。歳入歳出、共に増額となりました。

また歳入歳出、差引額は3億7千882万5千円で、その内4千791万6千円が繰越明許となり差額の3億3千9万9千円が実質収支額となり平成26年度の繰越金となります。

財政指標から見ますと、実質収支比率が7.7%と前年度と比べ3.5ポイント上昇しました。

主な要因としましては、扶助費、補助費等の減少によるものと考えられます。

公債費負担比率につきましては22.9%となりました。対前年度と比較すると1.7ポイントの増となりましたが、これは繰上償還を実施した影響によるものと考えます。今後も財政状況を踏まえ繰上償還等を積極的に実施していく必要があります。

経常収支比率は87.6%で対前年度比0.7ポイント減となります。減となった主な要因としましては扶助費が2.5ポイント、補助金が3.2%ポイントそれぞれ減少したことが影響していると考えられます。

主な財政指数について、前年度と比較すると数字は改善されてつつありますが、今後も引き続き適正な財政運営に努めていく必要があります。

それでは平成25年度決算にかかる歳入決算から順に主な概要を申し上げます。

1ページから3ページになりますが、歳入構成から見ますと歳入予算全体の44.2%を占める9款、地方交付税が36億5千850万9千円で対前年度比1億3千712万5千円の減となりま

す。地方交付税の内訳としましては、普通交付税が対前年度比1億2千313万2千円の減で32億9千129万1千円、特別交付税が対前年度比1千399万3千円の減の3億6千721万8千円となります。

次に13款、国庫支出金の歳入予算全体に占める割合は8.1%となっており、対前年度比9千924万1千円の減の6億7千383万円となりました。これは防衛施設周辺民生安定施設整備事業、国庫補助金で1億5千969万1千円の減や災害復旧費、国庫補助金2千278万5千円の減などが影響しております。

続いて15款、県支出金は歳入予算全体に占める割合が22.9%で対前年度比9億5千602万9千円の増の18億9千923万2千円となります。増額となった主な要因は沖縄振興特別調整交付金が対前年度費3億7千188万2千円の増、農業基盤整備促進事業、県補助金の1億9千773万3千円の増の他、国庫支出金から県支出金への振り替え等が影響をしております。

次に21款、町債については、6億1千480万7千円で構成比は7.4%となっております。対前年度比では4千275万9千円の増額となっております。内訳としまして過疎対策事業債が2億6千960万円、合併特例債が8千680万円、辺地対策事業債が2千780万円、公共事業等債が1千30万円、臨時財政対策債が2億2千30万7千円となっております。

その他、18款、繰越金が対前年比9千350万7千円の増の2億5千743万円。

また20款、諸収入は対前年比1千854万8千円の増の1億6千679万5千円となっております。一方、久米島町の自主財源の柱となる町税については、これは1ページになりますが構成比が7.6%で6億3千195万2千円となりま

した。対前年度と比較すると決算額では274万8千円増加しましたが、歳入全体にかかる構成比で0.8ポイント減少し依然、低い状況にあります。増加の要因としましては、市町村たばこ税が667万5千円増加したことが、主な要因であります。依然、厳しい状況についており歳入の大半を依存財源で占めている状況にあり自主財源の確保が今後も重要な課題となります。平成26年度も引き続き徴収率の向上に努めてまいります。

続きまして、歳出決算額の概要を申し上げます。性質別に見ますと義務的経費である人件費、構成比22%となっております。前年度と比較すると730万5千円の減となっております。

次に、公債費が11億5千259万4千円となっており、構成比が15%、対前年度比では6千144万5千円の増額となっております。これは繰上償還金の実施に伴い公債費が増加したことが原因となっております。

次に普通建設事業費について19億2千787万9千円となっており、前年度と比較して7億6千202万8千円の増となっております。全体に占める割合は24%となっております。内容としましては地産水産業強化支援事業で2億5千994万3千円。銭田橋整備事業で1億4千865万1千円、仲里庁舎機能高度化事業で5千867万4千円、漁村地域整備交付金事業で7千921万8千円、それぞれ増額となったことが影響しております。

次に物件費は11億8千479万9千円で前年度と比較しますと、9千395万9千円の増額となっております。構成比は15%となっております。物件費の主な内容としましては臨時職員賃金や公共施設等の管理運営にかかる管理委託費

及び光熱費等となっております。

次に積立金についてですが、1億1千463万1千円と前年度と比較して1億863万4千円の減額となっております。

主な内容としては、財政調整基金への積立金が5千309万1千円の減、庁舎等新改築基金積立金が6千10万9千円の減となっております。

以上が、平成25年度久米島町一般会計の決算概要となっております。

今後、国の動向や社会情勢を注視し、持続可能な行財政運営の推進のため、全職員が一致協力し、地方税や各種使用料等の徴収率の向上とさらなる歳出削減を図り、財政の健全化に向けて取り組んでまいります。

また、試算されている財政計画等を十分に分析し適正な財政運営に努めてまいり所存であります。

平成26年 9月 9日 提出

久米島町長 大田治雄

ご審議よろしくお願いいいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案については、後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくよう、ご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を

設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

お諮りします。本案については、議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第12 平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第12、認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算概要についてご説明申し上げます。

平成25年度久米島町国民健康保険特別会計の決算額は、歳入において13億610万2千372円で対前年度比97千7千58円、これ1%の増。

一方、歳出決算において、12億7千844万3千818円で対前年度比1千743万1千937円、1.01%の増となっております。

歳入決算から歳出決算額を差し引いた2千765万8千554円が翌年度、平成26年度へ繰越額となります。

まずはじめに、歳入の主な概要から説明申

し上げます。5ページになりますが1款、国民健康保険税につきましては、調定額2億1千789万5千217円に対し、1億5千951万1千576円の収入があり、不納欠損処分として278万4千392円、また未収金として5千559万9千249円の結果となり、全体の徴収率は73.21%であります。現年度分徴収率は前年度の89.4%から3.58%上昇し92.98%となりました。

また国庫支出金や県支出金等などの歳入は歳出の療養費や保険事業等によって決定されます。

続きまして、歳出決算額の概要について申し上げます。14ページになりますが、2款、1項1目一般被保険者療養給付費は29,754件で6億270万1千676円、対前年度2千281万8千570円の増。2目退職被保険者等療養給付金は1,208件で2千109万379円、対前年度395万4千902円の減。そして3目、一般被保険者療養費は244件で262万7千925円、対前年度19万6千869円の減、そして4目になりますが、退職被保険者等療養費は24件で7万4千130円、対前年度比3万9千233円の減、5目の国民健康保険団体連合会へのレセプト審査手数料としての支出となっております。

また15ページになりますが2款、2項1目一般被保険者高額療養費は1,212件で9千689万6千958円、対前年度1千84万5千147円の増。そして2目退職者被保険者等、高額療養費は30件で331万5千212円、対前年度143万181円の減となっております。

また2款、3項1目の出産育児一時金は23件、これは1件42万円ではありますが966万円、対前年度比171万円の増となっております。

2款、4項1目の葬祭費は11件これは1件1万5千円ではありますが16万5千円で対前年度

比19万5千円の減となっております。

16ページになりますが3款、1項1目の後期高齢者支援金は支払い基金への負担金として、1億6千643万9千348円、対前年度比884万6千413円の増となっております。

次の18ページの6款、1項1目の介護保険納付金は、支払い基金への負担金として9千218万1千523円、対前年度682万6円の増となっております。

7款、共同事業拠出金は国民健康保険団体連合会への負担金として2億2千394万5千3円、対前年度734万2千439円の減となっております。

次に19ページの8款、1項1目委託金で2項1目の委託金は集団検診個別検診の委託料で受診率は速報値であります、48.5%で対前年度1.9%の増となっております。

以上が平成25年度国民健康保険特別会計の決算概要となっております。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしくお願いたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても、後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く

13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

従って、本案については、議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第13 平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第13、認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算概要についてご説明申し上げます。歳入決算総額6千949万4千760円。

歳出決算額総額、6千847万1千6円となり102万3千754円を翌年度への繰越金といたします。

それでは、歳入決算額から主な概要を申し上げます。3ページになりますが、1款、後期高齢者医療保険料で保険料徴収について年金から天引されます特別徴収2千394万1千620円、納付書払いとなる普通徴収673万4千342

円と平成24年度から滞納繰越分普通徴収75万8千347円で全体での現年度徴収率97.47%、また滞納繰越分徴収率では73.83%になります。

次に2款、手数料では口座督促手数料の3万4千100円となっております。

次に3款、一般会計繰入金では事務費等繰入金として保険証及び納付書督促状等の通信運搬にかかる事務負担費として54万8千円。また保険基盤安定繰入金は、低所得者や後期高齢者医療制度施行前に、被用者保険の被扶養者であった者に対する保険料の軽減に対し、保険料軽減を行うものであります。今年度は9割軽減者が556名、7割軽減者が268名、5割軽減者が316名、2割軽減者が86名の合計1,226名の軽減該当者があり3千612万円となります。

次に4ページになりますが、繰越金では、前年度繰越金130万4千51円となっております。

次に5款、諸収入では預金利息977円となっております。

続きまして、歳出決算額から主な概要を申し上げます。5ページになりますが、1款、総務費で総務費管理費は後期高齢者保険証や納付書、督促状発送にかかる通信運搬費などの事務費が61万9千567円となります。

また、2款の後期高齢者医療広域連合納付金では久米島町が徴収した保険料と一般会計から繰入れされる保健基盤安定繰入金を広域へ納付金として6千723万7千884円となります。

次に、6ページになりますが、3款、諸支出金では被保険者への過年度分保険料還付金61万3千555円になります。

以上が平成25年度久米島町後期高齢者医療

特別会計決算概要となります。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

従って、本案については、議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第14 平成25年度久米島町水道事業会計決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第14、認定第4号、平成25年度久米島町水道事業会計決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

認定第4号、平成25年度久米島町水道事業決算概要についてご説明申し上げます。

平成25年度における久米島町水道事業の業務状況について年度末給水栓数3,848栓、対前年度比、10栓増となっています。給水人口については8,258人、対前年比76人減となっております。生活用水の供給をしております。

営業状況に関しましては水道事業収益は2億1千64万1千124円、2億2千71万4千177円が税込みとなっております。対前年度に比較しますと3.5%の増となっております。

水道事業費は2億1千89万9千831円、内2億1千544万8千162円が税込みとなっております。対前年を比較しますと14.3%の増となっております。当年度純損失は25万8千707円であります。

前年度からの繰越利益剰余金が4千987万2千841円、当年度純損失25万8千707円の計4千961万4千134円を利益剰余金として、翌年度へ繰り越すこととなっております。

一方、資本的収支では資本的収入額が資本的支出額に不足する額5千235万397円は、当年度消費税及び地方消費税、資本的収支調整額503万5千6円、過年度損益勘定留保資金、4千729万7千391円で補填しております。

なお、建設改良工事につきましては、儀間川総合開発事業の儀間ダム建設費負担を国庫補助事業で実施しております。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

ご異議なしと認めます。

従って、本案については、議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第15 平成25年度久米島町下水道事業
特別会計決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第15、認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算概要についてご説明申し上げます。

平成25年度の久米島町下水道事業特別会計決算は歳入につきましては、3億2千653万3千円で対前年度比74万円、0.2%の増。

そして歳出につきましては、3億1千825万6千円で対前年度比31万2千円、0.1%の減。

歳入歳出の差引額827万7千円が繰越額となり翌年度へ繰り越すべき財源、そして繰越明許費、繰越額129万1千円を差し引いた額が実質収支額698万6千円となっております。また繰越明許費に基づき8千679万3千円が翌年度繰越額となっております。

歳入決算を性質別に見ますと一般会計繰入金46%、国庫支出金25%、地方債16%、使用料及び手数料11%、繰越金2%の順となっております。

歳出につきましては請負工事としてイーフ浄化センター改築工事、マンホールポンプ自家発電設備工事、イーフ処理地区マンホールポンプ改築工事、真謝枝線布設工事費となっております。公共下水道污水管布設工事(真謝枝線布設工事)につきましては、字真謝地区の1工区、2工区、3工区の3件で管延長が約764mの工事を行い本事業で計画された真謝地区の工事が全て完了となります。また委託業務として下水道銭田地区実施設計業務委託、清水浄化センター改築実施設計業務委託、仲泊処理区マンホールポンプ改築実施設計、イーフ浄化センター改築工事施工管理、イーフ処理区マンホールポンプ改築工事施工管理及び真謝污水枝線敷設工事施工管理の業務委託となっております。

以上が平成25年度久米島町下水道事業特別

会計の決算概要となっております。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議よろしくお願いたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

本案については議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

ご異議なしと認めます。

従って、本案については、議長を除く13名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

以上で全会計の決算認定の大綱的な質疑は終了します。

お諮りします。

決算診査特別委員会委員長に建設経済委員長の島袋完英委員、副委員長に総務文教民生委員長の安村達明委員を選出したいと思っております。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、決算診査特別委員会委員長に島袋完英委員、副委員長に安村達明委員を選出することに決定しました。

日程第16 久米島町固定資産評価員の選任について

○ 議長 喜久里猛

日程第16、同意第7号、久米島町固定資産評価員の選任についてを議題とします。

本案は上原厚税務課長に関する議案でありますので、上原厚税務課長の退席を求めます。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前12時28分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前12時28分)

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

同意第7号、久米島町固定資産評価員の選任について。

下記の者を久米島町固定資産評価委員に選任したいので地方税法第404条第2項の規定により議会の同意を求める。

記

住 所 島尻郡久米島町字宇根567番地

氏 名 上原厚

生年月日 昭和36年6月20日

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由であります。久米島町固定資産評価委員について税務課長の職にある者を兼

職するため地方税法第404条第2項の規定により議会の同意を得る必要があります。これがこの議案を提案する理由であります。なお次ページの方に略歴書を添付しております。ご審議よろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第7号、久米島町固定資産評価委員の選任についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第7号、久米島町固定資産評価委員の選任については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前12時30分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前12時30分)

日程第17 平成25年度久米島町一般会計
歳入・歳出決算認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第17、報告第4号、平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報

告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

報告第4号、平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、平成25年度決算に基づく算定した健全化判断比率及び資金不足比率について、地方公共団体の財政への健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により別紙のとおり報告する。

平成26年9月9日提出

久米島町長 大田治雄

なお次ページに、それぞれ別紙で詳細資料を添付しております。

ご審議よろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これで報告第4号、平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告を終わります。

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

これで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午前12時32分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号10番） 饒平名 智 弘

署名議員（議席番号11番） 山 里 昌 輝

平成26年（2014年）

第6回久米島町議会定例会

3日目

9月25日

平成26年第6回久米島町議会定例会

会議録 第3号

招集年月日	平成26年9月25日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月25日 午前10時13分	議長	喜久里 猛
	散会	9月25日 午前11時13分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	2番	幸地 猛	3番	平良 義徳
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	上里 浩	
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長	保久村 学	
教育長	吉野 剛	建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	津波 実	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	真栄平 建正	
税務課長	上原 厚	消防長	上江洲 勝志	
福祉課長	田端 智			
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第6回久米島町議会定例会

議事日程〔第3号〕
平成26年9月25日(木)
午前10時13分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	113p
第2	認定第1号	平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	113p
第3	認定第2号	平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第4	認定第3号	平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	113p
第5	認定第4号	平成25年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定について	113p
第6	認定第5号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定について	113p
第7	議案第52号	久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例について	117p
第8	議案第53号	公の施設の廃止について	119p
第9	議案第54号	銭田橋改修工事（上部工一2）請負契約について	122p
第10	議案第55号	鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約について	123p
第11		農業委員の推薦について	126p

(午前 10時13分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、2番幸地猛議員、3番平良義徳議員を指名します。

日程第2号 平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について

日程第3号 平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第4号 平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第5号 平成25年度久米島町水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第6号 平成25年度久米島町下水道事業特別会計決算認定について

○ 議長 喜久里猛

認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第4号、平成25年度久米島町水道事業会計歳入・歳出決算認定について。

認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。を一括議題とします。

本案の審査については、決算審査特別特別委員会に付託してありましたので、決算審査特別委員長の報告を求めます。

島袋完英決算審査特別委員長。

(島袋完英決算審査特別委員長登壇)

○ 決算審査特別委員長 島袋完英

おはようございます。決算審査特別委員長の島袋完英です。

ただいまから、決算審査特別委員会に付託されました認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第4号、平成25年度久米島町水道事業会計認定について。認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出認定について。審査の経過と結果をご報告申し上げます。

決算審査特別委員会が9月10日の本会議で設置され付託された決算認定5議案について、9月10日の午後から11日の2日間にわたり、執行部から各担当課長、課長補佐、班長、主幹、主査及び担当者の出席の元に厳正に審査を行いました。

決算審査特別委員会における質疑の主なものと、それに対する答弁についてご報告いたします。

まず、一般会計について質疑答弁の主な概要を申し上げます。

1、決算審査意見書に定額運用基金に一部不適切な運用状況がある。と記述されているが具体的な指摘内容は。との質問に対しオーランドが他金融機関から融資を受け産業振興基金を返済し、改めて産業振興基金から融資を受けさらに金融機関に返済をしていることに償還の先延ばしではないかと強い指摘を受けました。との答弁でありました。

2、交通安全推進事業の中でガードパイプ、ガードレール、カーブミラー設置工事とあるが、県道に設置されているガードレールなどが歪んだままになっているのが散見される。交通安全と環境美化に良くない、どう考えているか。との質疑に対し県に要請し改善に努めます。という答弁でした。

3、個人税、法人税、固定資産税に多額の不納欠損が出ているが時効にならないように対策取っているか。との質疑に対し、個人の貯金や財産を調査し差し押さえ等の滞納処分を行っている。との答弁でした。

4、公共施設を民間に管理委託することによって諸経費10%、消費税8%、合わせて18%経費が増え、経費削減になっていないのではないか。との質疑に対し、来年に向けて委託方法を検討して行きたい。との答弁でした。

5、堆肥センター運営費が1千万円増えている。農家から集める堆肥に対する還元分はどうなっているのか。との質疑に対し、町からの引き継ぎ分も含めて早めに還元するよう指示しています。との答弁でした。

6、ウミガメ館の運営費と入館料を比較すると1千万以上の赤字になっているが、それでも維持する必要があるのか。との質疑に対し、観光施設の1つとして大事な施設と考えています。との答弁です。

7、泊フィッシャリーナ使用料の滞納額を見ると長期滞納者が存在すると思われるが、担当課において徴収を強化すべきではないか。との質疑に対し、督促などにより徴収を強化しています。との答弁であります。

8、一括交付金の繰越明許費9千200万円余り不用額を出しているが、それでも事業が完了なのか。との質疑に対し、関係機関との調整で計画変更、事業縮小、事業廃止の結果、執行率75%、不用額9千229万円で完了しています。との答弁でした。

9、新規就農支援事業で何名に補助をし、どのような機械が導入されたか、また補助率は何%なのか。との質疑に対し、平成22年度に就農した方1名に対し、トラクターとアタッチメントを導入しています。その補助率は80%で554万4千円を補助しています。との答弁でした。

10、プロ野球応援事業費で1千13万円執行されていますが、久米島における経済効果の資産はどうなっているか。との質疑に対し、2億7千138万1千円と試算しています。との答弁です。

11、町公営施設に設置されている自動販売機は電気メーターから電源を引き込みしているものと、施設から直接電源を取り込んでいるものがあるが、その収入の仕組みはどうなっているか。との質疑に対し、今後直接引き込みで売り上げの20%に業者と契約を進めていき採算の取れないものについては廃止も検討していきます。との答弁でした。

12、給食センター管理事業で需用費5千300万円施行されていますが、食材調達の島内、島外の割合はどうなっているか。との質疑に対し、資料が手元にありませんが、島外から

の調達が多く、島内からはモヤシ、アーサ、サクナなどを調達していますが、島外からの調達についても地元業者をとおしての発注も多くあります。との答弁でした。

13、奨学貸付金の返済に対しての滞納繰越金はいくらあるか。との質疑に対し、返済年度が始まってからということになる。となると把握が難しくなってきます。現在、返済中の方が91名います。また去年1年間全く未納の方が7名います。今後、継続して督促、家庭訪問等を行って償還を呼びかけていきます。との答弁でした。

14、ごみ処分手数料に28万7千500円の滞納繰越があります。これについて個人なのか法人なのか、また何件の滞納になっているのか。との質疑に対し、ほとんどが法人です。と大切な財源ですので、確実に納付させるよう努力をしていきます。との答弁でした。

15、ハブ買い上げにおける数量確認をどのような体制で行っているのか。との質疑に対し、牽制効果が働くように2名で確認のうえ消却処分しています。との答弁でした。

次に、国民健康保険特別会計歳入・歳出決算についてです。

1、葬祭費16万5千円、受給者が11件とありますが、葬祭費はもう申請しないと支給されないのか。との質疑に対し、基本的には申請主義ですが、町民課と連携を取り漏れないように業務を行っています。との答弁でした。

2、平成25年度の町民1人あたり医療費はいくらか。との質疑に対し、まだ分析公表されていませんが、平成24年度は町民1人あたり25万121円となり、県内で26番目の位置にあります。との答弁でした。

次に、後期高齢者医療特別会計歳入・歳出

決算についてであります。

後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算について質疑はありませんでした。

次に、水道事業会計認定について。

1、水道に関する基本計画を非常時のライフライン確保も含め、大きな狙いをもったしつかりとした計画を作ってほしいが、どう考えるか。との質問に対し、何十年に1回の重要な計画になりますので、多くの意見を拝聴しながら計画し、長く町民から喜ばれるような施設を作る考えでいます。との答弁でした。

次に、下水道事業特別会計歳入・歳出決算について。

1、カンジンドムの北側の大岳地区の下水道の接続率が47%と低いが、接続工事費の貸付再度を周知すると共に地域の理解を得られるような努力をすべきではないか。との質疑に対し広報マイク、FM放送などをとおして町民に周知を図り接続率を高めていきたい。との答弁でした。

以上が認定第1号、認定第2号、認定第3号、認定第4号、認定第5号の決算審査特別委員会における審議及び答弁の概要であります。

全会計とも質疑終了後、討論に入りましたが賛成・反対の討論はなく、討論を終結し、続いて採決に入りました。

認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第4号、平成25年度久米島町水道事業

会計決算認定について。

認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

原案に対し、賛成の挙手を求めたところ付託を受けた全てにおいて、賛成に全員挙手でした。よって、決算認定については全会計とも原案のとおり認定すべきものと決定されました。

委員長報告で質疑、答弁、多くの面、割愛させていただきましたことをご容赦下さい。以上をもちまして決算審査特別委員会審査の委員長報告を終わります。

(島袋完英決算審査特別委員長降壇)

○ 議長 喜久里猛

以上で委員長の報告を終わります。

委員長報告に対する質疑を省略したいと思います。ご意義ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、委員長に対する質疑は省略します。

日程第2、認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから認定第1号、平成25年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。本案は委員長報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、本案は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 喜久里猛

日程第3、認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから認定第2号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長、報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、本案は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 喜久里猛

日程第4、認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから認定第3号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長報告のとおり認定することに

賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、本案は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 喜久里猛

日程第5、認定第4号、平成25年度久米島町水道事業会計決算認定について。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから認定第4号、平成25年度久米島町水道事業会計決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、本案は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 喜久里猛

日程第6、認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから認定第5号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定で

す。

本案は委員長報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、本案は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

日程第7 久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第7、議案第52号、久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第52号、久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年9月15日提出

久米島町長 大田治雄

久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例。

久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を次のように改正する。

なお大枠の中の左が改正前、右が改正後となっております。

大枠の中の下線が引かれている部分が今回改正となります。

附則、この条例は公布の日から施行し、改正後の久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例、第2条第2項の規定は、平成26年4

月1日から適用する。

提案理由であります。地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の交付及び地方公務員法の一部改正により本条例の一部を改正する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番 幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

改正前の期間は5年とする。改正後の年齢は55才にする。この具体的な違いですね。説明求めます。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄副町長。

○ 副町長 桃原秀雄

ただいまの質問にお答えいたします。改正前は5年とするということなんですが、これは地方公務員法が改正されて、各団体の条例に従って、ということでありまして、町の条例には年齢の明記がなくて、今回の条例で年齢を55歳と明記したということになっております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

聞いているのは、期間は5年とする。何歳から5年なのか。例えば、次の改正後、年齢を55歳とすると。55歳から何歳までなのかということが具体的な説明がないものですが。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄副町長。

○ 副町長 桃原秀雄

法第26条の3第1項の条例ということは、これが高齢者部分休業ということでありまして、これが高齢者として条例に達した職員というのは、これは定年退職の日からさかのぼって5カ年ということになります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

もうちょっと具体的に聞きたいんですが、期間は5年とすることになりますと定年60歳ですよ。65歳までということと理解していいですか。そしてその次の改正後55歳とする。この55歳も65歳までは勤めることができるんですか。といいますと10年間になりますよね。そのへんの具体的な違い、例えばこの改正後も55歳で退職して65歳までなのか、そのへんのことをお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時34分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時36分)

桃原秀雄副町長。

○ 副町長 桃原秀雄

今回の改正の主な理由としまして、退職日から5カ年前の55歳からを適応するということが60歳以上ではなくて60歳までということになります。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第52号、久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例についてを裁決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案52号、久米島町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第8 公の施設の廃止について

○ 議長 喜久里猛

日程第8、議案第53号、公の施設の廃止についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第53号、公の施設の廃止について。

下記の施設を廃止したいので地方自治法第244条の2項第2項の規定により、議会の同意を求めます。

記

名称 仲里農村環境改善センター

位置 久米島町字比嘉97の4

平成26年9月25日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由であります。公の施設を廃止したいので、久米島町議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例第3の規

定により、議会の同意を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。ご審議のほどよろしくお願います。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

現在の仲里農村環境改善センター、撤去するんですが、撤去した後の施設の具体的な跡利用計画はどうなっているか、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまの質問にお答えいたします。ひとつは改善センターが老朽化してる関係、それと比嘉の公民館の建設、当初は敷地を購入して建設する予定でした。ところが予算がだいぶかかるのと、改善センターをどうしても今後、撤去しないと老朽化でだいぶ剥離とか、安全面が問われていて危険な状況です。それを基地交付金、9条の交付金を使いまして、今ある改善センターの部分で被せればその9条の交付金が使えるということで調整いたしまして、撤去した後の詳細の計画はまだやっております。比嘉の公民館を建設する際にも真ん中の方じゃなくて、なるべく跡地を残すよう、今の敷地の角を中心にして建設してもらおうということで、残りに関しては更地にして当面の間は公園的な位置づけでやっていきたいと思っております。

低地ですので公共施設の建設に関しては、以前、議員の皆さんからもご指摘がありまし

た。今後の跡地利用に関しては、どういう目的に使うかというのは、皆さんのご意見を頂きながらやっていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

撤去後のその管理運営といたしましうか、施設管理、これは町なのか地域なのか、そういったことまで具体的に決まっているのかどうかですね。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

撤去後の管理ですか。公民館も含めての管理ですか。それに関しては、建物に関しては宇江城とか、兼城の公民館の例になると思います。町の予算としまして、町が他の公民館のように管理していくことになるだろうと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この場所は、旧仲里村時代から中心的な施設として活用してまいりました。地域の声としては、ぜひ撤去後、そういった具体的にみんな活用ができるような施設という声が強いですよ。せつかくこれだけの大きな敷地があるんで、公民館は必要ですので、その敷地に建設してもらいますが、全体として具体的に計画してもらいたいと思っています。幸い第二次振興計画は、これからですので、その中に取り組んでいただいて、しっかりした計画をしてもらいたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

先ほど総務課長からも説明受けたんですが、これは宇比嘉部落の勝ちかなというふうに私は思うんですが、例えば土地を交換するというような説明がありました。比嘉公民館の土地と、今のセンターの土地を交換すると、だいたい交換というのは同じ面積づつの交換が普通ですよ。しかし交換は、その面積分ですと言いつながらも、その周囲にはたくさん面積残るわけですよ、土地が。結局そこも全部、比嘉の公民館みたいなものになるわけですよ。実際は、町が施設造らん限りは、ただ私は、できるだけ公有地というのは、あちこちにある小さな土地をできるだけ民間と交換して一カ所に大きくまとめるのが公有地じゃないかと思うんですよ。しかし今場合は逆に大きい所の一部を交換して、そこに公民館を造らすというふうな考えなんです、それは非常に施設としては良い場所だと思うんですが、そういう考え方は町としてはなかったのか、いや公共施設の将来のためにやっぱり土地は多く確保していた方がいいんだというそういう議論はなかったんですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ご指摘のように確かに町が財産を持つということはやるべきことだと思うんですが、ただ合併して、いろいろな類似施設とか老朽化公共施設を持っています。昨年町有地に関しても、どんどん町民に買って貰うということで処分すべきものは処分していこうと、ただ今の仲里改善センターの土地がそうかという、そういう土地ではないと思うんです

が、他の部落に関しても今後また公民館建設が予定されていると思います。できる限り近くにそういう公有地があるんでしたら、公有地と交換して、またその土地は町が処分したことによって、自主財源の確保に繋げるという考えのもとでやっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

あと1つ、じゃあ今の比嘉の公民館の撤去工事があると思うんですが、さっき総務課長が説明していたようなんですが、ちょっとよくわからなかったの、聞きますけど、その比嘉の公民館の撤去費用は比嘉が持つわけですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

当初は字の方からも撤去については町で持つてもらえないかという要望がありました。ただこれは撤去に関しては字負担ということで、但し、撤去した際に産業廃棄物で今島内で処分できない、アスベストが出てくる可能性がありますので、その分に関しては町が負担していくということで、但し、完成後に移転、その後取り壊しですので、28年に完成、29年撤去というスケジュールになると思いますので、そのへんの産廃物とか、アスベストが出るのか等平行して調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

最後にですが、これは注文になります、やはりこういう施設一地域の施設を造るのに

対して、不公平さがないようにやっていただきたいと、今後も、例えば、別の所が造るときに何で比嘉はこんなこんなやってくれたのにみたいだね。そういう不公平感が生まれなような仕組みを絶対作って進めていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいま島袋議員がご指摘ありましたように、確かに不公平感があってはならないということで、重々その点は気を付けながらやっています。公民館建設に関しては過去にいろいろな事業を導入しましたが、最近では会計検査が厳しくなって農林水産省の事業とかでできないような状況になっております。また法人化して事業を取り込めないとか、先進地の糸満市で、そういう取り組みやっていますが、地元負担がきつくてその事業がつかえない状況です。できる限り字の負担を少なくしながらも受益者負担はあるべきですので、不公平がないように進めていくつもりです。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今に対して質問します。先ほどの議運において副町長は、土地交換によって現在の比嘉の公民館の解体撤去については覚え書きで町と地元の折半だよということを回答をしておりましたが、今の総務課長の答弁と違いますので、そこをちょっと確認したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄副町長。

○ 副町長 桃原秀雄

確かに先ほど議運の方では、覚え書きで部落と町と折半ということを説明したんですが、今、総務課長が答弁したとおり、取り壊しに関しては部落が、そして産業廃棄物の処理については町がということで、先ほどの説明はちょっと訂正したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第53号、公の施設の廃止についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案53号、公の施設の廃止については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時49分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時53分)

日程第9 銭田橋改修工事(上部工-2)
請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第9、議案第54号、銭田橋改修工事(上部工-2)請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第54号、銭田橋改修工事(上部工-2)請負契約について。

銭田橋改修工事(上部工-2)請負契約について、銭田橋改修工事(上部工-2)について、次のように工事請負契約を締結したいので地方自治法第96条第1項5号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 銭田橋改修工事
(上部工-2)

2. 契約の方法 指名競争入札

3. 契約の金額 73,980,000円

4. 契約の相手方

沖縄県島尻郡久米島町字大田565番地

久米建設株式会社

代表取締役 宇禄弘

平成26年9月25日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由

銭田橋改修工事(上部工-2)請負契約締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

なお後ろの方に工事請負契約の写し、そして3枚目の方に平面図を添付しております。

今回の入札につきましてはAクラス6業者を指名しまして、久米建設株式会社さんが請負率99.27%で落札をしております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第54号、銭田橋改修工事（上部工－2）請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第54号、銭田橋改修工事（上部工－2）請負契約については原案のとおり可決されました。

日程第10 鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第10 議案第55号、鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

（桃原秀雄副町長登壇）

○ 副町長 桃原秀雄

議案第55号、鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約について、鳥島漁港B波除堤の整備工事について、次のように工事請負契約を締結したいので地方自治法96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 鳥島漁港B波除堤整備工事

2. 契約の方法 指名競争入札

3. 契約金額 163,836,000円

4. 契約の相手方

沖縄県島尻郡久米島町字仲泊641番地

株式会社 ひらた産業

代表取締役 平田青太郎

平成26年9月25日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由

鳥島漁港B波除堤整備工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

なお次ページの方に工事請負契約の写し、そして3枚目に平面図を添付しております。なお、今回の入札につきましてもAクラス6社を指名しまして、株式会社ひらた産業さんが請負率99.5%で落札をしております。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

先ほどの全協の場でも建設課長の方から、この25年度で終わった波除堤、それから26年度の今期の事業の説明がありましたが、この波除堤を設置することによって、構内の静穏度が高まると思うんですが、先ほど同僚議員からも意見がありましたように、この地区

に関しては漁船の保全修理施設、それからふれあい公園の背後地について、大きい台風がある度に周辺一帯が冠水すると、そういう事例が何件も起きています。その意味で今回、波除堤設置について、地域の漁民の方々が集まってもらって説明なされたということなんです。この従来ある防波堤の内側に今回波除堤が2カ所とも設置されます。その外側に波除堤を設置して、ふれあい公園とか地域の冠水防止の、そういう要望、意見等がなかったのかどうか。お尋ねしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

ただいまの質問ですが、先だって一応、鳥島漁民集まっていたいただいて、今回の波除堤の計画の説明をいたしました。その中においては、今のおっしゃっている外側への計画というより要望というのはありませんでした。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

やっぱり漁民だけ集めて説明するとやっぱり港内の静穏度の問題だけが取り上げられると思うんですよ。この大田地区、いつも冠水している地域ですね、その地域の方々の意見も聞いて、この現在あるガラサー山ですか、その前面とか、そこら辺に波除堤を設置することによって、この冠水の問題、それから港内の静穏度、両方とも解決できる部分があったんじゃないかなと思うんですが、今後、冠水問題については、今後、大田地区、ふれあい公園を含めて、その後背地もやっぱり解決策も考えていかないといけないと思うんですが、これについて町として将来計画でやって

いく考えがあるか、町長、副町長からの答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

今、棚原議員からありました一着島の、この防波堤については、今の大田地区を利用している漁民の皆さんから依然にも、この繫留施設と一体型の整備をしてもらいたいという要請があります。今後については港湾課と、その具体的な計画について調整をしていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ほぼ似たような質問ですが、本件について波除堤についてであります。いつも言っている5年前から言っていることなんです。このふれあい広場については、越波が何回もあるわけです。それによつての被害は甚大なものがあります。その一帯の防波堤と漁港それから川、橋、そういったものの全体的なものについて皆さん方考査したことがありますか。まずこれから伺う。

そしてまず私は5、6年ほど前からずっと言ってきたんですが、そのふれあい公園の防波堤については、その斜めに石積みして、そこに築山を造って植栽をする。そういうこと。それからガラサー山の一帯についても、どのようにしたら川の水が流れるか、そしてこれはおそらく向こうは浦地橋だと思うんですが、浦地川の交番の横、これについて皆さん方見たことありますか？ ボトルネックになっていますよ。向こうも大雨と高潮が混ざった場合には必ず越波します。こういうようなも

のをハザードマップにして全体的に根源療法というなかたちで、全体的に町として計画をする。そして国県に要望すべきもの、そういうかたちでやる。こういうことをしていないと根源療法、これをしていかないと、皆さん方の今までの考え方本当に縮んだ考え方なんです。対処療法、風邪ひいたら風邪薬だけ飲ます。その風邪をひかないような根源療法をどうしてやるのかと、こういうようなことをやらないと、いつまでたっても、久米島全体がいろいろな無駄な予算を出すということになるわけです。

もちろん、後々のイーフの砂の問題も根源的に全体で考えないとどうするかということ。これを一応は伺います。どういう考え方を持っているのか、非常に縮んだ考え方を持っているんだけど、ふれあい公園、全体的なものをどう考えているか、建設課長と町長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの議案とちょっとそれのような質問になりますが、全体的な見直しについては、これからまた専門的な立場の皆さんと意見交換しながら、それを判断したいと思います。ただこの案件については、地域の利用者の皆さんからの要望があって事業するわけですから、私としては執行して当然のことと思っています。

今の浦地川については、私も現地、県は何回か現場を見ております。当時、村時代にも、この一着島に繋がる防波堤をトンネルを開けてやって欲しいという要望もあれば、逆にそこは閉めた方がいいという、これも地域の皆

さんの2通りの意見があります。そのへんは今後どうすべきかというのをもっと専門の意見を聞いて判断していきたいと思います。

それからイーフについては、これからの議論になりますので、また後ほど機会がありましたら議論していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

建設課は事業を採択されて、国から予算が下りていわゆる計画執行です。なので私の立場から何も言えないんですが、鳥島漁港の整備計画はもう既に固まっています。これを年次的に1億なり2億なり予算は振られて、そのためにこの波除堤A、Bを造りなさいと言う指示が、もう年次的に30年まで、そういうものの中において今一応整備しています。宇江原議員が言ったイッチャチとか、港湾ですね。港湾護岸と水産護岸はその中間ぐらいが、ふれあい公園の方だとは認識はしていますが、この阿里川も含めて、今言ったハザードマップ的なものは必要かなとは思いますが、これはまた防災担当は総務課なので協力してなんとかできるかなとは思いますが。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が前から言っているのは、独自の町としての案を持って、その案の中の部分的な堤防を造るとか、改修をするのかと、こういうことならいんですが。ですから最初から自分としての町としての案を持っていて、その一部分の改修ということならばいいですよ。ところがそれも持たないままに、この部分部分をやっている対処療法でやっていくとい

うのはいかなものかと、こういうことを申し上げているわけです。

そして以前にも読谷の都屋漁港のことも話しました。こういう今の国の指導の港のあり方については、本当に継ぎ接ぎな工事をやらざるを得ない。彼なんか現場わからんですよ。だから町独自で精査して考案して大きなマップを作ってくれと、こういうことですが、もう一度、町長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

今、宇江原議員がおっしゃることもよく理解しているつもりですが、非常にこれ専門的な技術を有する案件だと思います。我々の今のスタッフの中で、こういう潮流の流れとか、潮の干満のいろんな水位とか、そういうのも非常に専門的な判断が必要になると思いますので、そのへんはまた時間かけて検討して行きたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は、これを専門的なものでやれとは言っていないです。もちろん、その部分については専門的なものもありますけれども、町そして大まかなハザードマップを作ってくれと、こういうことなんです。だから地元は地元の方で計画をして国県に要求する。それが地方自治の本質なんです。それを忘れてる。今まで国県から下がってきたのをお下りの計画を執行するだけの力しかない。それは残念だなとこういうふうに思っていますが、もうちょっとそういったところを自身をもって対応できるような処置を取ってほしいという

ことであります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第55号、鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第55号、鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約については原案のとおり可決されました。

日程第11 農業委員の推薦について

○ 議長 喜久里猛

日程第11、農業委員の推薦についてを議題といたします。

お諮りします。

議会推薦の農業委員は2名とし、宇真謝36番地の吉永博之さん。宇大原1209番地の仲村渠勝枝さん。

以上の方を推薦したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、議会推薦の農業委員は2名とし、宇真謝36番地の吉永博之さん。宇大原1209番地の仲村渠勝枝さん。

以上の方を推薦することに決定しました。

日程第12 閉会中の議員派遣について

○ 議長 喜久里猛

日程第12、閉会中の議員派遣について、お諮りします。

本件については県外視察研修及び沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員職員研修会に閉会中の議員を派遣したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと求めます。よって、閉会中の議員派遣については決定されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本日の議事日程は全て終了しました。9月9日から開会しました本定例会は予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により無事終了することができました。ここに感謝申し上げます。

これにて平成26年第6回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前11時13分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号2番） 幸地 猛

署名議員（議席番号3番） 平良義徳